



Avaya Aura[®] での Avaya J139 SIP IP 電話機の使用方法

リリース 4.1.9
第 1 版
2025 年 7 月

Notices

© 2026 Avaya LLC. All Rights Reserved.

You may, at your own risk, assemble a MyDocs collection solely for your own internal business purposes, which constitutes a modification to the original published version of the publications. Avaya shall not be responsible for any modifications, additions, or deletions to the original published version of publications. You agree to defend, indemnify and hold harmless Avaya, Avaya's agents, servants and employees against all claims, lawsuits, demands and judgments arising out of, or in connection with, your modifications, additions or deletions to the publications.

A single topic or a collection of topics may come from multiple Avaya publications. All of the content in your collection is subject to the legal notices and disclaimers in the publications from which you assembled the collection. For information on licenses and license types, trademarks, and regulatory statements, see the original publications from which you copied the topics in your collection.

Except where expressly stated by Avaya otherwise, no use should be made of materials provided by Avaya on this site. All content on this site and the publications provided by Avaya including the selection, arrangement and design of the content is owned by Avaya and/or its licensors and is protected by copyright and other intellectual property laws including the sui generis rights relating to the protection of databases. Avaya owns all right, title and interest to any modifications, additions or deletions to the content in the Avaya publications.

注意

本ドキュメントに記載する情報を作成時点で完全かつ正確なものにするために十分な注意を払っておりますが、Avaya はいかなる誤りに対しても責任を一切負いません。Avaya は個人や団体に対し、事前の許可なく本ドキュメントに記されている情報を変更・修正する権利を保有しています。

本ドキュメントにおける免責事項

「ドキュメント」とは、さまざまな媒体で公開している情報を意味します。なおこの情報には、製品のユーザーに通常提供している製品情報、サブスクリプションまたはサービス説明書、取扱説明書、および性能仕様書が含まれる場合があります。ドキュメントに販売用資料は含まれません。Avaya は、ドキュメントの初版に対するいかなる変更、追加、削除に対しても、それらが Avaya により、または明確に Avaya の代理として実行されたものでない限り、責任を負いません。エンドユーザーは、エンドユーザーの範囲内で本ドキュメントを修正、追加、削除したことによって生じる、またはそれに関連するいかなる申し立て、訴訟、請求、判決に対しても、Avaya、Avaya 代理人、従業員を免責することに同意するものとします。

リンクに関する免責事項

Avaya は、サイト内および Avaya が提供しているドキュメントにおいて参照されているリンク先の Web サイトのコンテンツや信頼性について一切責任を負いません。また、そのようなリンクで説明、提供された製品、サービス、情報の正確性は、必ずしも Avaya の保証の対象になるものではありません。Avaya は、これらのリンクが常に機能することを保証しておらず、リンク先のページの可用性を管理することはできません。

保証

Avaya は、Avaya のハードウェアおよびソフトウェアに対し、限定保証を提供しています。お手持ちの Avaya の契約書を参照して限定保証の条項をご確認ください。また、Avaya の標準保証規約、およびこの製品の保証期間中に Avaya カスタマーおよび関係者が利用可能なサポート情報は、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com/helpcenter/getGenericDetails?detailId=C20091120112456651010>) の「[Warranty & Product Lifecycle]」リンク内)、または Avaya が指定する後継サイトに掲載されています。米国およびカナダ以外の Avaya 認定チャネルパートナーから本製品をご購入された場合は、保証の提供元は Avaya ではなく、この Avaya チャネルパートナーとなることに注意してください。

「[ホステッドサービス]」とは、Avaya または正規の Avaya チャネルパートナー（いずれか該当するもの）のいずれかからお客様が入手する Avaya ホステッドサービスサブスクリプションであって、該当のホステッドサービスに関するホステッド SAS またはその他のサービス説明書に詳述されるもののことです。ホステッドサービスサブスクリプションを購入する場合、お客様には前述の限定保証は適用されない場合がありますが、当該ホステッドサービスに付随するサポートサービスは、該当ホステッドサービスのサービス説明ドキュメントの詳述に沿って受け取ることができます。詳しくは、Avaya または Avaya チャネルパートナー（いずれか該当するもの）にお問い合わせください。

ホストサービス

以下はお客様が Avaya または Avaya チャネルパートナー（該当する場合）よりホステッドサービスサブスクリプションをご購入した場合にのみ適用されます。ホステッドサービス利用規約は Avaya Web サイト [HTTPS://SUPPORT.AVAYA.COM/LICENSEINFO](https://support.avaya.com/licenseinfo) の「Avaya Terms of Use for Hosted Services」(Avaya ホステッドサービス利用規約) または Avaya の指定する後継サイトに記載されており、Avaya ホステッドサービスにアクセスする、またはこれを利用するすべてのユーザーに適用されます。ホステッドサービスにアクセスする、またはこれを利用する、あるいは他者にアクセスまたは利用を許可することで、お客様は、お客様ご自身ならびにお客様が代理となってこれらの行為を行う団体（以下、状況に応じて適宜「お客様」および「エンドユーザー」）を代表し、利用規約に同意するものとみなされます。お客様が会社またはその他法人を代表して利用規約に同意した場合、お客様は当該団体を利用規約に従わせる権限を有することを表明したことになります。そのような権限をお持ちでない場合、または利用規約に同意することを希望しない場合、お客様はホステッドサービスにアクセスしたり当該サービスを利用したりすることはできず、他者にホステッドサービスへのアクセスまたは利用を許可することもできません。

ライセンス

グローバルソフトウェアライセンス条件（以下「ソフトウェアライセンス条件」）は、Web サイト (<https://www.avaya.com/en/legal-license-terms/>) または Avaya が指定する後継サイトでご覧いただけます。本ソフトウェアライセンス条件は、本ソフトウェアおよび/または関連ドキュメントをインストール、ダウンロード、および/または使用するすべての人に適用されます。本ソフトウェアをインストール、ダウンロード、もしくは使用すること、または他者にその権限を与えることで、エンドユーザーは、本ソフトウェアライセンス条件がエンドユーザーと Avaya との間に拘束力のある契約を形成することに同意するものとします。エンドユーザーが会社またはその他の法人を代表して本ソフトウェアライセンス条件を受諾する場合、エンドユーザーは、当該事業体を本ソフトウェアライセンス条件を遵守させる権限を自身が有していることを表明するものとします。

著作権

別段に明記される場合を除き、Avaya が提供する本サイトのコンテンツ、ドキュメント、ソフトウェア、ホステッドサービス、ハードウェアを使用することはできません。Avaya が提供する本サイトのコンテンツ、ドキュメント、ホステッドサービス、製品（コンテンツの選択、配置、デザインを含む）の所有権は Avaya またはそのライセンス供与者が保有しており、著作権法や他の知的財産権法（データベース保護に関する独自の権利を含む）によって保護されています。Avaya による明示的な許可がない限り、内容の全部または一部（コードやソフトウェアを含む）を、手法を問わず、修正、模写、複製、再版、アップロード、投稿、転送、配布することはできません。Avaya の書面による明示的な同意なく、これらを複製、転送、配布、保存、使用することは、適用法のもとで刑事上および民事上の犯罪になる場合があります。

仮想化

以下の規定は、製品が仮想マシンに配置される場合に適用されます。各製品には独自の注文コードとライセンスタイプがあります。別段の定めがある場合を除き、製品の各インスタンスについてそれぞれライセンスを取得し、発注する必要があります。例えば、エンドユーザーカスタマーまたは Avaya チャネルパートナーが同じ種類の製品のインスタンスを 2 つインストールする場合、その種類の製品を 2 つ注文する必要があります。

サードパーティコンポーネント

次の規定は、H.264 (AVC) コーデックが製品と共に配布される場合のみ適用されます。本製品は、AVC 特許ポートフォリオライセンスにもとづき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(i) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること（以下、「AVC ビデオ」）、および/または (ii) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコードすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。いかなるライセンスも供与または黙認されません。詳細については、MPEG LA, L.L.C.: [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) を参照してください。

サービスプロバイダ

コーデックについて、Avaya のチャネルパートナーが H.264 または H.265 コーデックを使用する製品をホスティングしている場合、当該パートナーは、自己がすべての関連手数料およびロイヤリティに責任を負うことを認識し、同意します。H.264 (AVC) コーデックは、AVC 特許ポートフォリオライセンスにもとづき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(i) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること（以下、「AVC ビデオ」）、および/または (ii) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコードすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。いかなるライセンスも供与または黙認されません。H.264 (AVC) codec および H.265 (HEVC) codec の詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手することができます。 [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) を参照してください。

法令遵守

お客様は、Avaya 製品が使用される国または法域で適用される法律および規制（通話記録、データプライバシー、知的財産、営業秘密、不正、演奏権に関する法律および規制を含みますが、これらに限定されません）を遵守する自己の責任を認識し、これに同意します。

不正利用を防止するために

「不正使用」とは、お客様の電話通信システムへの利用に際して正規の認可を受けていない当事者（例えば、貴社の従業員、エージェント、下請け業者、または貴社の代理人以外）が通信システムを不

正に使用することを意味します。お客様のシステムに関連した不正利用のリスクがあるということ、さらに不正利用が行われた場合、お客様の通信サービスに対して相当額の追加請求が生じる結果になりますのでご注意ください。

Avaya 通信不正利用防止ライン

通信不正利用の被害を受けている疑いがあり、技術的な支援またはサポートが必要な場合は、Avaya の営業担当者にお問い合わせください。

セキュリティ脆弱性

Avaya のセキュリティサポートポリシーに関する情報は、<https://support.avaya.com/security> の「Security Policies and Support」セクションに記載されています。

Avaya 製品の疑わしいセキュリティ脆弱性は、Avaya 製品セキュリティサポートフロー (<https://support.avaya.com/css/P8/documents/100161515>) に従って処理されます。

ドキュメントのダウンロード

ドキュメントの最新版については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトをご覧ください。

Avaya サポートの連絡先

製品またはクラウドサービスの案内や記事を確認したり、Avaya 製品またはクラウドサービスに関する問題を報告したりするには、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) を参照してください。サポートの電話番号およびお問い合わせ先については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトにアクセスし、ページの下までスクロールして、「Avaya サポートに連絡」を選択してください。

Note

Using a cell, mobile, or GSM phone, or a two-way radio in close proximity to an Avaya IP telephone might cause interference.

Regulatory Statements

Australia Statements

Handset Magnets Statement :



危険

The handset receiver contains magnetic devices that can attract small metallic objects. Care should be taken to avoid personal injury.

Industry Canada (IC) Statements

RSS Standards Statement

This device complies with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause interference, and
2. This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

1. L'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
2. L'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Radio Transmitter Statement

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada. To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (EIRP) is not more than that necessary for successful communication.

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC & IC RSS102 radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISÉDétablies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps.

This product meets the applicable Innovation, Science and Economic Development Canada technical specifications.

Japan Statements

Class B Statement

This is a Class B product based on the standard of the VCCI Council. If this is used near a radio or television receiver in a domestic environment, it may cause radio interference. Install and use the equipment according to the instruction manual.

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

Denan Power Cord Statement



危険

Please be careful of the following while installing the equipment:

- Please only use the connecting cables, power cord, and AC adapters shipped with the equipment or specified by Avaya to be used with the equipment. If you use any other equipment, it may cause failures, malfunctioning, or fire.
- Power cords shipped with this equipment must not be used with any other equipment. In case the above guidelines are not followed, it may lead to death or severe injury.



警告

本製品を安全にご使用頂くため、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブル、電源コード、ACアダプタなどの部品は、必ず製品に同梱されております添付品または指定品をご使用ください。添付品指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因となることがあります。
- 同梱されております付属の電源コードを他の機器には使用しないでください。上記注意事項を守らないと、死亡や大怪我など人身事故の原因となることがあります。

México Statement

The operation of this equipment is subject to the following two conditions:

1. It is possible that this equipment or device may not cause harmful interference, and
2. This equipment or device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation.

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Brazil Statement

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados

Power over Ethernet (PoE) Statement

This equipment must be connected to PoE networks without routing to the outside plant.

U.S. Federal Communications Commission (FCC) Statements

Compliance Statement

The changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

To comply with the FCC RF exposure compliance requirements, this device and its antenna must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference, and
2. This device must accept any interference received, including interferences that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designated to provide reasonable protection against harmful interferences in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interferences to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 8 in or 20 cm between the radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

ENERGY STAR® compliance statement



As an ENERGY STAR partner, Avaya LLC has determined that this product meets the ENERGY STAR guidelines for energy efficiency. Information on the ENERGY STAR program can be found at www.energystar.gov. ENERGY STAR and the ENERGY STAR mark are registered trademarks owned by the U.S. Environmental Protection Agency.

EU Countries

General Safety Warning

- Use only the Avaya approved Limited Power Source power supplies specified for this product.
- Ensure that you:
 - Do not operate the device near water.
 - Do not use the device during a lightning storm.

- Do not report a gas leak while in the vicinity of the leak.
- For Accessory Power Supply in Avaya J100 シリーズ IP 電話機– Use Only Limited Power Supply Phihong Technology Co. Ltd. Model: PSAC12R-050, Output: 5VDC, 2.4A.

Trademarks

本サイトおよび Avaya 提供のドキュメント、ホステッドサービス、製品に表示されている商標、ロゴ、サービスマーク（以下、「マーク」）は、Avaya およびその関連会社、ライセンサー、サプライヤ、もしくはその他サードパーティの登録/未登録商標です。ユーザーは、Avaya またはマークを所有している可能性があるサードパーティの書面による事前の許可なく、これらのマークを使用することはできません。本サイト、ドキュメント、ホステッドサービス、および製品には、Avaya または該当するサードパーティの明確な書面による同意なく、マークのライセンスまたは権利を黙示、禁反言などにより付与する内容は一切含まれないものとします。

Avaya は、Avaya LLC の登録商標です。

Avaya 以外のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Device Usage Consent

By using the Avaya device, you agree that Avaya, from time to time, may collect network and device data from your device and may use such data in order to validate your eligibility to use the device.

目次

第 1 章: はじめに	11
目的.....	11
変更履歴.....	11
第 2 章: Avaya J139 IP 電話機 概要	13
J139 IP 電話機の物理レイアウト.....	14
J139 IP 電話機の接続ジャック.....	16
オプションのコンポーネント.....	18
サポートされる機能.....	18
第 3 章: 基本的な操作	20
プロビジョニングサーバーの詳細を入力する.....	20
電話機の起動中にデバイスタイプを識別する.....	21
シングルサインオンでのログイン.....	21
SSO QR コードまたは URL で電話にログインする.....	22
SSO ログインでゲストユーザーとして電話にログインする.....	23
会社の資格情報を使用して電話にログインする.....	24
ゲストログインを使用する.....	24
電話機からログアウトする.....	25
電話ロック PIN.....	25
電話で PIN を設定する.....	25
電話機をロックする.....	26
電話機のロックを解除する.....	26
第 4 章: ナビゲーション	28
カーソルナビゲーション.....	28
ナビゲーションクラスター.....	28
テキスト入力.....	29
ラインキー.....	29
メインメニュー.....	30
一般的な電話アイコン.....	30
プレゼンスアイコン.....	32
Multiple Level Precedence and Preemption アイコン.....	33
第 5 章: 着信通話	34
通話に応答する.....	35
通話中に別の通話に応答する.....	35
コールピックアップ.....	36
コールピックアップグループメンバーの通話に応答する.....	36
同じコールピックアップグループの通話に応答する.....	37
内線番号を使用して通話に応答する.....	37
不在着信を表示する.....	38
着信ポップアップを無効にする.....	38
通話の不应答.....	39
通話を拒否する.....	39
第 6 章: 発信通話	41

手動ダイヤルモードを使用して発信する.....	41
オートダイヤルモードを使用して発信する.....	41
強調表示された番号に自動発信する.....	42
番号をリダイヤルする.....	42
発信前に番号を編集する.....	43
スピードダイヤルを使用して通話を発信する.....	43
ローカルの連絡先リストから発信する.....	44
企業データベースの連絡先リストから電話をかける.....	44
国際通話を行う.....	44
優先通話をかける.....	45
優先通話.....	45
メインメニューを使用して優先通話を発信する.....	46
ダイヤル計画設定を使用して優先通話を発信する.....	46
あらかじめ割り当てられた番号に自動ダイヤルをする.....	46
URI ダイヤルで電話をかける.....	47
ダイヤルインターコムを使用してインターコムグループに発信する.....	47
自動インターコムを使用してインターコムグループに発信する.....	48
緊急通話.....	48
緊急通話を発信する.....	49
第 7 章: 通話関連機能	50
通話をミュート/ミュート解除する.....	50
通話を保留にする/通話を再開する.....	50
オフフック警告.....	51
第 8 章: 連絡先	52
新しい連絡先を追加する.....	52
履歴通話リストから連絡先を追加する.....	53
連絡先を検索する.....	53
連絡先のクイック検索を実行する.....	54
LDAP ディレクトリ.....	54
LDAP ディレクトリを連絡先検索ソースとして設定する.....	54
LDAP コンタクトを検索する.....	55
企業ディレクトリ.....	56
企業ディレクトリを連絡先検索ソースとして設定する.....	56
連絡先検索モードを設定する.....	57
会社用連絡先を検索する.....	58
企業ディレクトリの制限.....	58
連絡先の詳細を表示する.....	59
連絡先を編集する.....	59
連絡先を結合する.....	60
連絡先を削除する.....	60
ローカルの連絡先グループを作成する.....	61
ローカルグループに連絡先を追加する.....	61
ローカルグループから連絡先を削除する.....	62
連絡先に着信音を割り当てる.....	62
第 9 章: プレゼンス	64
連絡先のプレゼンスステータスを表示する.....	64

プレゼンスステータスを変更する.....	64
応答不可がアクティブの場合に通話を転送する.....	65
第 10 章: 応答不可および不在転送	67
応答不可.....	67
応答不可を有効/無効にする.....	67
不在転送.....	68
通話を別の内線番号に転送する.....	68
拡張不在転送を設定する.....	69
携帯内線を使用した携帯電話への不在転送.....	71
通話を携帯電話に転送する.....	71
第 11 章: 通話履歴	72
履歴.....	72
通話履歴.....	72
履歴から通話を開始する.....	73
履歴の詳細を表示する.....	73
履歴から通話記録を削除する.....	74
履歴リストをクリアする.....	75
第 12 章: 会議通話	76
アクティブな通話に相手を追加する.....	76
保留中の相手を会議通話に追加する.....	76
会議通話を保留および再開する.....	77
会議通話から最後の参加者をドロップまたは切断する.....	77
会議の詳細を表示する.....	77
保留なしの会議.....	78
保留なしの会議に参加者を追加する.....	78
第 13 章: チームボタンと話中表示	80
チームボタン.....	80
モニター中の内線番号でアクティブ通話に応答する.....	81
電話機の状態を表示する.....	81
モニター中の内線番号にスピードダイヤルする.....	81
モニター対象電話に通話を転送する.....	82
他の内線を一括で監視する.....	82
チームボタンアイコンと LED ステータス.....	83
話中表示.....	83
監視対象のユーザーに発信する.....	84
モニター中のユーザーと会議通話を行う.....	84
監視対象のユーザーに通話を転送する.....	84
監視対象のユーザーをブラインド転送する.....	84
監視対象のユーザーに仲介転送を行う.....	85
話中表示アイコンと LED ステータス.....	85
第 14 章: カレンダーと Avaya Spaces	87
カレンダー.....	87
カレンダーにアクセスする.....	87
Microsoft® Exchange Server カレンダーを設定する.....	87
カレンダーイベントを確認する.....	88
Avaya Spaces カレンダー統合.....	89

ダイレクトダイヤルイン電話番号を使用して Avaya Spaces 会議に参加する.....	90
Avaya Spaces アプリケーションでオーディオストリームが重複しないようにする.....	90
第 15 章: 拡張機能	92
機能画面にアクセスする.....	92
アクティブな通話ショートカットキー.....	92
ショートカットキーで通話を転送する.....	93
ショートカットキーを使用して会議通話を行う.....	93
自動コールバック.....	94
自動コールバックを設定する.....	94
通話中の内線番号表示を防ぐ.....	95
外線発信通話で内線番号を表示する.....	95
ブリッジコールアピランス.....	96
ブリッジ回線で電話をかける.....	96
ブリッジ回線の通話に応答する.....	96
ブリッジ回線のコールに参加する.....	97
他の人からのブリッジコールを拒否する.....	97
機能ターゲットを使用して転送先番号を選択する.....	98
着信通話のブロック.....	99
電話がロックされているときに着信通話を処理する.....	99
コールパーク.....	100
通話をパークする.....	100
通話をパーク解除する.....	100
コールピックアップ.....	101
コールピックアップグループメンバーの通話に応答する.....	101
同じコールピックアップグループの通話に応答する.....	102
内線番号を使用して通話に応答する.....	102
通話転送.....	103
打ち合わせ付き転送を行う.....	103
ブラインド転送を行う.....	103
危機アラート電話機.....	104
危機アラートを確認する.....	104
緊急通話発信者情報.....	105
危機アラートを停止する.....	105
最初の確認でのエラー発生後に危機アラートを確認する.....	106
ハントグループビジー.....	106
ハントグループビジーの使用.....	106
ウィスパーページで通話に割り込む.....	107
インターコム.....	108
自動インターコム.....	108
自動インターコム通話の自動応答.....	108
マルチデバイスアクセスの自動インターコム機能.....	109
マルチデバイスアクセスを使用した自動インターコム通話の自動応答.....	109
着信制限.....	110
着信制限をアクティブにする.....	110
着信制限を非アクティブにする.....	110
Send-NN.....	111
Send-NN 一時モードを使用する.....	111

Send-NN 固定モードをアクティブにする.....	112
Send-NN 固定モードを非アクティブにする.....	112
マルチデバイスアクセス.....	113
マルチデバイスアクセスアクセスを使用して通話と会議を処理する.....	113
マルチキャストページング.....	113
マルチキャストページを送信する.....	114
キーの事前設定.....	114
SLA Mon™.....	115
共有コントロール.....	115
共有コントロールプロンプトに応答/拒否する.....	116
悪意のある通話を追跡する.....	117
ボイスメール.....	117
ボイスメールを聞く.....	117
WML ブラウザ.....	118
WML ブラウザにアクセスする.....	118
第 16 章: カスタマイズ	119
電話.....	119
ダイヤルモードを設定する.....	119
オフフックでの通話機能を有効/無効にする.....	119
現在の CA を保持機能を有効/無効にする.....	120
通話時間を表示する.....	120
キーリピート遅れの設定.....	121
リダイヤルオプションを設定する.....	121
スピードダイヤルエントリを割り当てる.....	122
ミュート通知を設定する.....	122
着信ランプ表示.....	123
コールピックアップ通知の設定.....	123
カスタマイズモード.....	124
電話キーをカスタマイズする.....	124
カスタマイズキーをデフォルトに戻す.....	125
アプリケーション.....	126
ダイレクト番号のプロンプトを有効または無効にする.....	126
退席タイマを有効にする.....	126
電話機の自動ロックを有効にする.....	127
通話履歴を有効にする.....	127
Microsoft® Exchange アカウント統合.....	128
Microsoft® Exchange 統合のベーシック認証を使用する.....	128
Microsoft® Exchange 統合で OAuth 認証を使用する.....	128
Microsoft® Exchange の連絡先の統合を有効/無効にする.....	129
カレンダー設定.....	129
音声.....	133
オートマチックゲインコントロールをオン/オフにする.....	133
音声パスを選択する.....	133
ボタンのクリック音をオン/オフにする.....	133
エラートーンをオン/オフにする.....	134
ワイヤレスヘッドセットの双方向シグナリングを有効にする.....	134
HAC の設定.....	135

ヘッドセットプロファイルを設定する.....	135
長期音響保護.....	136
ヘッドセットマイクレベルを設定する.....	137
カスタマイズ着信音を設定する.....	138
ハンドセットまたはヘッドセットのサイドトーン.....	138
表示.....	138
表示モード.....	138
背景画像を変更する.....	139
スクリーンセーバーをアクティブにする.....	140
スクリーンセーバーの詳細を設定する.....	140
スクリーンセーバーを変更する.....	141
バックライトタイマーを設定する.....	141
電話画面の明るさを調整する.....	142
表示言語を設定する.....	142
電話画面の横幅を設定する.....	142
時刻フォーマットを設定する.....	143
日付フォーマットを設定する.....	143
タイムゾーンを表示する.....	143
GMT オフセットを設定する.....	144
テキストサイズの設定.....	144
第 17 章: 電話の更新	146
電話機を更新する.....	146
電話機の定期自動更新を確認する.....	146
第 18 章: メンテナンス	147
電話を再起動する.....	147
フェイルオーバー中のアクセス制限.....	147
オーディオパラメータを記録する.....	148
製品 ID を表示する.....	149
デバイスタイプを表示する.....	149
セカンダリプロビジョニングサーバーアドレスを表示する.....	149
サーバータイプを表示する.....	150
Avaya Spaces アプリケーションのステータスを確認する.....	150
規制情報を表示する.....	150
第 19 章: リソース	152
ドキュメント.....	152
Avaya サポート Web サイトでドキュメントを検索.....	154
Avaya ドキュメントセンター のナビゲーション.....	154
Avaya Mentor ビデオを表示する.....	155
サポート.....	156

第 1 章: はじめに

目的

このドキュメントでは、Avaya J139 IP 電話機 の機能と、この電話機の使用方法について説明します。

このドキュメントはエンドユーザーを対象にしています。

変更履歴

発行	日付	変更内容
リリース 4.1.2	2023 年 10 月	機能パック4.1.2 がリリースされています。次のトピックを追加および更新しました。 • 表示モード • 電話ロック PIN • 発信者 ID 検証 • SSO の改善 • チームボタン LED の動作 • 不在着信理由 • 話中表示 LED の動作 • Send-NN • アイコンの更新
リリース 4.1.3	2024 年 1 月、第 1 版	次のトピックを追加および更新しました。 • ゲストユーザー SSO ログイン。 • ハントグループビジー

次のページに続く...

発行	日付	変更内容
リリース 4.1.4	第 1 版 2024 年 4 月	次のトピックを追加および更新しました。 • ネットワークモードを設定する • ネットワーク構成を設定する • 企業ディレクトリ • 企業ディレクトリを連絡先検索ソースとして設定する • 連絡先検索モードを設定する • 会社用連絡先を検索する • WML ブラウザ • コールパーク • 通話をパークする • 通話をパーク解除する • セカンダリプロビジョニングサーバーアドレスを表示する
リリース 4.1.5	2024 年 7 月、第 1 版	次のトピックを追加および更新しました。 • チームボタンと話中表示 • スクリーンセーバーを変更する • スクリーンセーバーの詳細を設定する • JEM24 モジュールディスプレイのスクリーンセーバー画像を設定する • セカンダリディスプレイのスクリーンセーバーを変更する
リリース 4.1.6	2024年10月、第1号	次のトピックを更新しました： • 着信制限 • 着信制限をアクティブにする • 着信制限を非アクティブにする • WML ブラウザ
リリース 4.1.7	2025 年 1 月、第 1 版	次のトピックを追加および更新しました。 • 電話機をロックする • 着信 • 着信通話のブロック
リリース 4.1.8	第 1 版 2025 年 4 月	次のトピックを更新しました： • ゲストログインを使用する • 電話機をロックする • 電話がロックされているときに着信通話を処理する • 電話機の自動ロックを有効にする

第 2 章: Avaya J139 IP 電話機 概要

Avaya J139 IP 電話機 は、ビジネスコミュニケーション向けの電話です。

電話機にはカラーディスプレイが搭載されています。

物理仕様

- 赤と緑のデュアル LED を備えた 4 つのボタン
- 320x240 ピクセル表示機能
- 2 ポジションスタンド、オプションの壁掛けスタンド
- ギガビットイーサネット（10/100/1000 Mbps）回線インターフェイス
- セカンドギガビットイーサネット（10/100/1000 Mbps）インターフェイス
- PoE クラス 1、802.3 az、オプション AC - 5V アダプタをサポート
- 4 つのコールアピアランス
- 4 つのソフトキー
- 電話のハードボタン：
 - 連絡先
 - 履歴
 - ナビゲーションクラスタ
 - ヘッドセット
 - スピーカー
 - 音量
 - ミュート
 - メインメニュー
 - 電話キー
- 電話の LED ボタン：
 - 履歴
 - ヘッドセット
 - スピーカー
 - ミュート

J139 IP 電話機の物理レイアウト



番号	名前	説明
1	ビーコン LED	次の着信通知を表示します。 - 着信通話 - ボイスメール
2	電話画面	次の 2 つのエリアが表示されます。 1. トップバー：常に表示されており、通信およびデバイスの状態、時間と日付が表示されます。 2. アプリケーションエリアには、次の内容が表示されます。 - アプリケーションヘッダー：コンテキスト固有のアプリケーションタイトルと、1 つ以上のサブタイトルが表示されます。アピアランスタイプと通話状態に応じて、ヘッダーに通話の詳細が表示されます。 - アプリケーションコンテンツエリア：メニュー、リスト、ポップアップウィンドウ、画像、その他のアプリケーションコンテンツが表示されます。 - ソフトキーラベルエリア：[ソフトキー] ボタンの状態に関する情報を示すラベルが表示されます。
3	ラインキー	対応する行を選択するために使用します。各ラインキーには、次の着信ランプを表示する LED が付いています。 - 赤いランプ：無効な機能。 - 緑のランプ：着信と有効な機能。 - 赤と緑のランプ：電話がオフフックになっています。
4	ソフトキー	状況に応じたアクションに対応するラベルを選択するために使用します。
5、7	ナビゲーションクラスタ	[電話] 画面を移動するために使用します。 [上] および [下] 方向キー：上下にスクロールします。 [右] および [左] 方向キー：テキスト入力フィールドではカーソルを移動し、選択フィールドでは値を切り替えます。 [OK] ボタン：最初のソフトキーに割り当てられた操作を選択します。
11	ボイスメール	設定されたボイスメール番号にダイヤルして、ボイスメッセージを受信するために使用します。
12	ヘッドセット	通話をスピーカーからヘッドセットに切り替えるために使用します。
13	スピーカー	スピーカーをオンにするために使用します。
14	音量	ハンドセット、スピーカー、着信音の音量を調整するために使用します。 ([+])：音量を上げます。 ([-])：音量を下げます。
15	ミュートボタン	発信音声をミュート/ミュート解除するために使用します。
16	ハンドセット	通話の応答・発信に使用します

アプリケーションキーを使用すると、次のように対応するアプリケーションに直接アクセスできます。

番号	アプリケーションキー	説明
6	電話キー	[電話] 画面を表示します。
8	メインメニュー	機能、アプリケーション、設定、ネットワーク情報、管理、詳細情報など、オプションのリストを表示します。
9	連絡先	[連絡先] リストのエントリを表示します。
10	履歴	通話履歴のリストを表示します。

J139 IP 電話機の接続ジャック

次の図に Avaya J139 IP 電話機 の背面パネルにある接続ジャックを示します。

この図は、どのデバイスをどのジャックに接続するかを概略的に示しています。



番号	名前	説明
1	5V DC ジャック	電源を接続します。
2	ネットワークポート	イーサネットケーブルを接続します。
3	PC ポート	コンピューターを接続します。
4	ヘッドセットジャック	ヘッドセットを接続します。
5	ハンドセットジャック	ハンドセットを接続します。

オプションのコンポーネント

電話に次のコンポーネントを使用できます。これらのコンポーネントは電話のパッケージには含まれていないため、別途注文する必要があります。次のいくつかのアイテムを設置するには、システム管理者のサポートが必要になる場合があります。

- PSAC12R-050 – 5V DC 電源アダプタ。
- PoE 電源。
- ハンドセットアダプタ。

★ 注

Avaya ではハンドセットアダプタを提供していません。

サポートされる機能

次の表に、Avaya J139 IP 電話機 でサポートされる機能を示します。

機能	対応
仲介転送	はい
自動コールバック	はい
ブリッジコールアピランス	はい
不在転送	はい
長期音響保護	はい
コールパーク/コールパーク解除	はい
コールピックアップ	はい
コンタクトセンター (CC Elite)	いいえ
連絡先	はい
会議通話	はい
会議参加者リスト	はい
ダイヤルインターコム	はい
ダイヤルモード	はい

次のページに続く...

機能	対応
プレゼンスを表示	はい
応答不可	はい
携帯内線	はい
EHS（ヘッドセットコントロール）	はい
拡張不在転送	はい
含まない	はい
ユーザーがログインしていないときの緊急ダイヤル	はい
ゲストログイン	はい
ハントグループビジー	はい
悪意のある通話の追跡（MCT）	はい
MLPP	はい
マルチデバイスアクセス（MDA）	はい
LNCC	はい
プレゼンス	はい
優先通話	はい
リストからリダイヤル	はい
共有コントロール	はい
短縮ダイヤル	はい
チームボタン	はい
ブラインド転送	はい
ウィスパーパーページ	はい

第 3 章: 基本的な操作

プロビジョニングサーバーの詳細を入力する

このタスクについて

電話が Device Enrollment Services、DHCP SSON、LLDP からプロビジョニングサーバー URL を取得できない場合、ユーザーはプロビジョニングサーバーの詳細を手動で入力するよう求められます。

前提条件

プロビジョニングサーバーのアドレスがあることを確認します。システム管理者にプロビジョニングサーバーのアドレスについて問い合わせてください。

手順

1. 電話機の初回起動時、[自動プロビジョニング] 画面に「オートプロビジョニングを再度有効にしてよろしいですか？」が表示されたら、次のいずれかを押します。

- [はい] : Device Enrollment Services サーバーに接続してプロビジョニングサーバーアドレスを取得し、DHCP のプロビジョニングサーバーアドレスを無視します。
- [いいえ] : DHCP サーバーからプロビジョニングサーバーアドレスを取得します。

タイムアウトの場合に、DHCP からプロビジョニングサーバーアドレスが発行されていない場合は、電話機で [はい] が選択されています。

Device Enrollment Services への接続が成功し、電話機がプロビジョニングサーバーアドレスを受信している場合、電話機は起動を続行し、プロビジョニングサーバーアドレスの入力は要求されません。

Device Enrollment Services への接続が成功し、電話機が Device Enrollment Services からプロビジョニングサーバーアドレスを受信していない場合は、電話で番号登録コードの入力が求められます。番号登録コードについては、管理者に問い合わせてください。有効な番号登録コードを入力すると、電話機は起動を続行し、プロビジョニングサーバーアドレスの入力は求められません。

番号登録コードがない場合は、[キャンセル] を押します。電話機は DHCP を使用して起動を続行します。

電話機に起動中というメッセージが表示されます。Device Enrollment Services または DHCP サーバーからプロビジョニングサーバーアドレスが発行されていない場合は、電話機に [プロビジョニングの詳細を入力] 画面が表示されます。

2. [プロビジョニングの詳細を入力] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [設定] : プロビジョニングサーバーアドレスを入力します。
 - [無効にする] : プロビジョニングサーバーアドレスを要求しません。

- [キャンセル] : プロンプトをキャンセルし、[ログイン] 画面を表示します。
3. [設定] を押したら、[アドレス] フィールドにプロビジョニングサーバーのアドレスを入力します。

アドレスは英数字の URL です。例 : `http://myfileservers.com/j100/`。

ヒント

ドット記号 (.) を入力するには、英数字ソフトキーを押して ABC モードに切り替えます。

スラッシュ記号 (/) を入力するには、[/] ソフトキーを押します。

4. (オプション) [グループ] 番号を入力します。

システム管理者からグループ番号を取得します。指定できる値範囲は、0 ~ 999 です。値を入力しないと、電話ではデフォルト値の 0 が使用されます。

5. [保存] を押します。

電話が起動プロセスを続行し、プロビジョニングサーバーに接続します。

電話機の起動中にデバイスタイプを識別する

このタスクについて

Avaya J100 シリーズ IP 電話機 画面には、電話機の起動中にデバイスタイプが表示されます。この機能は、電話のソフトウェアバージョン 4.0.3 以降でのみサポートされます。

手順

1. 電話機のハードウェアを設定します。
2. イーサネットケーブルを電話機に差し込みます。

電話機の電源がオンになり、起動が始まります。

電話のバックスプラッシュ画面に Avaya というテキストが表示されます。

シングルサインオンでのログイン

シングルサインオン (SSO) 機能を使用すると、会社のログイン資格情報を使用して Avaya J139 IP 電話機 にログインできます。電話管理者が内線番号に SSO 機能を設定します。QR コードまたは URL を使用して電話にログインできます。QR コードと URL から、組織の SSO ログインページにリダイレクトします。SSO 認証後、電話に自動的にログインします。

SSO ログイン機能を使用すると、次のいずれかのユーザーとして電話にログインできます。

- プライマリユーザー : SSO 認証を使用して電話にログインできます。このログインモードでは、ゲストログインは使用できません。

- ゲストユーザー：SSO 認証を使用してゲストとして電話にログインできます。電話のプライマリユーザーは、強制認証または手動認証を使用して電話にログインする必要があります。

電話管理者が内線番号の SSO ログイン機能をアクティブにすると、次のログインの変更が行われます。

- 電話でプライマリユーザーのゲストログイン機能が無効になる。
- 最大同時デバイス数を超えると、ゲストユーザーは電話からログアウトされ、プライマリユーザーは自動的にログインされる。
- 電話は設定した PIN でのみロック解除できる。

内線番号で SSO およびマルチデバイスアクセスアクセス（MDA）機能がアクティブになっている場合は、すべての MDA デバイスで SSO ログインが使用されます。

関連リンク

[SSO QR コードまたは URL で電話にログインする](#) (22 ページ)

[SSO ログインでゲストユーザーとして電話にログインする](#) (23 ページ)

SSO QR コードまたは URL で電話にログインする

このタスクについて

モバイルデバイスまたはコンピュータを使用して、シングルサインオン（SSO）資格情報で電話にログインできます。電話管理者が内線番号に SSO 機能を設定します。SSO 認証後、電話に自動的にログインします。

前提条件

次のことを確認してください。

- 電話管理者が SSO 機能を設定している。
- モバイルデバイスで QR コードをスキャンできる。

手順

1. [シングルサインオン] 画面で、[ログイン] を押します。

電話画面に QR コードとタイマーが表示されます。タイマーが切れて QR コードの有効期限が切れた場合は、[再試行] をタップします。

2. 選択したデバイスに応じて、次の操作を行います。

- モバイルデバイスを使用している場合は、QR コードをスキャンします。QR コードをスキャンすると、モバイルデバイスに URL が表示されるので、その URL をタップします。
- コンピュータを使用している場合は、[リンク] を押します。コンピュータのブラウザに URL を入力し、プロンプトに従います。

画面に組織の SSO ログインページが表示されます。

3. SSO ログイン画面で、会社のユーザー名とパスワードを入力します。

電話画面に認証成功のメッセージが表示されます。

4. 画面のプロンプトに従います。

電話にログインしています。

関連リンク

[シングルサインオンでのログイン](#) (21 ページ)

SSO ログインでゲストユーザーとして電話にログインする

このタスクについて

ゲストユーザー SSO ログイン機能を使用すると、指定した期間、SSO 認証を使用してゲストユーザーとして電話にログインできます。

前提条件

管理者がゲストユーザー SSO ログイン機能を設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [ゲストログイン] までスクロールして、[選択] を押します。
4. シングルサインオンゲストログイン画面で、次のいずれかを押して期間を時間単位で設定します。
 - [右] 矢印キー：時間の値を増やします。
 - [左] 矢印キー：時間の値を減らします。
5. [Enter] キーを押します。

電話画面に QR コードとタイマーが表示されます。タイマーが切れて QR コードの有効期限が切れた場合は、[再試行] をタップします。

6. 選択したデバイスに応じて、次の操作を行います。
 - モバイルデバイスの場合は、QR コードをスキャンします。QR コードをスキャンしたら URL が表示されるので、その URL をタップします。
 - コンピュータの場合は、[リンク] を押します。コンピュータのブラウザに URL を入力し、プロンプトに従います。

画面に組織の SSO ログインページが表示されます。

7. SSO ログイン画面で、会社のユーザー名とパスワードを入力します。

電話画面に認証成功のメッセージが表示されます。

8. 画面のプロンプトに従います。

電話にログインしています。

関連リンク

[シングルサインオンでのログイン](#) (21 ページ)

会社の資格情報を使用して電話にログインする

このタスクについて

シングルサインオン（SSO）機能がアクティブになっていない場合、電話管理者が指定した内線番号とパスワードを使用して電話にログインできます。

手順

1. [ログイン] 画面の [ユーザー名] フィールドに、内線番号を入力します。
2. [入力] を押します。
3. [パスワード] フィールドに、パスワードを入力します。
4. [入力] を押します。
5. 内線番号またはパスワードを変更するには、[バックスペース] を押します。

ゲストログインを使用する

このタスクについて

ゲストログイン機能を使用すると、別の電話でゲストとしてログインして、制限時間内に限り、アプリケーションと通話履歴にアクセスできます。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. プライマリユーザーが電話をロックまたはロック解除したかどうかに応じて、次の操作を行います。
 - プライマリユーザーが電話をロックしていない場合は、[メインメニュー] を押して [アプリケーション] に移動し、[ゲストログイン] を選択して、[選択] を押します。
 - プライマリユーザーが電話をロックしている場合は、ロック画面の [ゲストログイン] ソフトキーを押します。
2. 内線番号とパスワードを入力します。
3. 次のいずれかを押して、期間を時間単位で設定します。
 - [右] 矢印キー：値を増やします。
 - [左] 矢印キー：値を少なくします。
4. [Enter] キーを押します。

関連リンク

[電話機からログアウトする](#) (25 ページ)

電話機からログアウトする

このタスクについて

シングルサインオン（SSO）または SIP ログインからログインしている場合、プライマリ内線番号からログアウトできます。SIP ログインからゲストユーザーとしてログアウトすることもできます。

★ 注

ゲストユーザーがログアウトすると、電話はプライマリユーザーを再ログインさせます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [ログアウト] までスクロールして、[選択] を押します。
4. 確認ウィンドウで、[ログアウト] を押します。

関連リンク

[ゲストログインを使用する](#) (24 ページ)

電話ロック PIN

PIN を使用して電話をロック解除できます。ユーザーまたは管理者は PIN を設定できます。シングルサインオン（SSO）ログインでは、PIN を設定する必要があります。SSO がアクティブな場合、設定した PIN でのみ電話をロック解除できます。

SIP ログインでは、設定した PIN、管理者定義済み PIN、SIP パスワードを使用できます。PIN は数字で構成する必要があります。

間違った PIN を入力すると、電話をロック解除できません。

電話で PIN を設定する

このタスクについて

電話メニューから PIN を設定して、電話をロック解除できます。PIN は数字で構成する必要があります。

シングルサインオン（SSO）がアクティブな場合は、設定した PIN でのみ電話をロック解除できます。電話メニューから PIN を設定しないと、電話のロックを試みたときに PIN を設定するように求められます。PIN を設定しないと、電話のロック機能がブロックされます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。

3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [ロック] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [ロック PIN コードの設定] までスクロールして、[選択] を押します。
6. PIN を入力します。
7. [Enter] キーを押します。

電話機をロックする

このタスクについて

ログイン中に電話をロックすると、不正使用を防止できます。電話をロックしてもログアウトされません。すべての着信通話を受信し、緊急電話番号に発信できます。

注

管理者が着信通話のブロック機能を有効にしている場合、電話がロックされている状態では着信通話に応答することはできません。

電話でシングルサインオン（SSO）機能がアクティブになっている場合、PIN を設定しないと電話をロックできません。

前提条件

[アプリケーション] メニューに [ロック] オプションが表示されない場合は、電話管理者にお問い合わせください。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] > [ロック] を選択します。

電話機のロックを解除する

このタスクについて

PIN またはパスワードを使用して電話のロックを解除できます。設定に応じて、電話に PIN またはパスワードを入力するフィールドが表示されます。

シングルサインオン（SSO）機能がアクティブな場合、設定した PIN でのみ電話をロック解除できます。SSO が非アクティブの場合、設定した PIN、管理者定義済み PIN、SIP パスワードを使用して電話をロック解除できます。

SSO が非アクティブのときに電話管理者が PIN を設定していない場合、電話にパスワードを入力するフィールドが表示されます。SSO が非アクティブのときに電話管理者が PIN を設定するか、SSO がアクティブまたは非アクティブのときに PIN を設定すると、電話に PIN を入力するフィールドが表示されます。PIN の値は数字のみですが、パスワードの値は英数字も使用できます。

間違った PIN またはパスワードを入力すると、電話をロック解除できません。電話管理者は、不正な試行の最大回数を設定します。最大回数を超えた場合、電話は管理者が指定した期間、ユーザーの電話ロック解除操作を一時的にブロックします。

SSO 機能が非アクティブなときに PIN またはパスワードが思い出せない場合は、電話管理者に問い合わせてください。SSO 機能がアクティブなときに設定した PIN を思い出せない場合は、電話で管理者定義済みパスワードを入力するように求められます。

手順

1. [ロック解除] を押します。
2. 電話画面で、PIN またはパスワードを入力します。

間違った PIN を入力すると、無効な PIN というメッセージが表示されます。

3. (オプション) 設定した PIN を思い出せない場合は、次を実行します。

- a. [忘れた場合] を押します。

電話に新しい PIN を設定するには再ログインする必要がありますというメッセージが表示されます。

- b. [ログアウト] を押します。
- c. 管理者定義済みユーザー名とパスワードを入力します。

第 4 章: ナビゲーション

カーソルナビゲーション

ナビゲーションクラスタを使用すると、[電話] 画面またはその他のメニューでカーソルの移動やオプションの選択ができます。ナビゲーションクラスタでは、電話機で次のキーを利用できます。

- [左矢印]
- [右矢印]
- [上矢印]
- [下矢印]
- [OK]

関連リンク

[ナビゲーションクラスタ](#) (28 ページ)

ナビゲーションクラスタ

ナビゲーションキーを押した後の表示は、現在のアプリケーションとコンテキストによって異なります。

キー名	説明
[左矢印] および [右矢印]	次の操作を行います。 • テキスト入力フィールドでカーソル位置を移動する。 • 選択フィールドでフィールド値を切り替えたり、リストやメニューでオプションを選択する。 • 半角表示で選択範囲の左または右に移動する。 • ページ間をスクロールして、電話画面に移動する。システム管理者がページスクロールモードを有効にしている必要があります。 方向キーはコンテキストに依存します。
[上矢印] および [下矢印]	リスト、メニュー、ポップアップウィンドウで上下にスクロールします。
[OK]、ナビゲーションクラスタの中央のボタン。	特に指定がない限り、最初のソフトキー操作または左端のソフトキー操作に使用します。 ソフトキーのページが 2 ページ以上ある場合、[OK] キーは電話画面にソフトキーの最初のページが表示されている場合にのみ有効になります。

関連リンク

[カーソルナビゲーション](#) (28 ページ)

テキスト入力

ダイヤルパッドまたはテキスト入力ソフトキーを使用して、電話機のテキスト入力フィールドでテキストを編集したり入力したりできます。

入力フィールド

テキスト入力フィールドは、現在のメニューとコンテキストに対応するラベル付きのテキストボックスです。ユーザーインターフェイスには、テキストボックスの左側またはテキストボックスの前のラインにラベルが表示されます。入力フィールドは空白にすることも、変更可能な現在の値を表示することもできます。ユーザーインターフェイスには、現在の値の右側に入力カーソルが表示され、入力フィールドが空白の場合は、テキストボックスの左側に入力カーソルが表示されます。

ヒントテキスト

現在のメニューとコンテキストに応じて、テキストボックスにヒントテキストが表示されます。ユーザーインターフェイスには、テキストボックスの左側にヒントテキストが灰色の斜体フォントで表示されます。テキストを入力すると、ヒントテキストは入力した実際のテキストに置き換えられます。入力したテキストを消去すると、インターフェイスにヒントテキストが再び表示されます。フィールドに値が入力されている場合は、インターフェイスにはヒントテキストは表示されません。

テキスト切り捨て

入力領域のスペースに現在のすべての値が表示できない場合、ユーザーインターフェイスではテキストが切り捨てられます。インターフェイスではテキストの左側が切り捨てられ、新たに入力する場合は、入力フィールドの右側にカーソルが置かれた空白のスペースが表示されます。新たに文字を入力すると、インターフェイスでは既存の文字が表示画面の左側から切り捨てられます。

アクティブ言語のテキストの方向

アクティブ言語のテキストの方向が右から左になっている場合は、テキスト入力規則が逆になります。ユーザーインターフェイスでは次のようになります。

- テキストボックスの右側にヒントテキストが表示される。
- 現在の文字の左側に入力カーソルが表示されるか、入力フィールドが空白の場合は右側にカーソルが表示される。
- 現在の文字の左側に新しい文字が表示される。
- [バックスペース] を押すとカーソルの右側の文字が削除される。

ラインキー

ラインキーはコンテキストに依存します。ラインキーを押すと、次の操作を実行します。

- 全角リストでは、ユーザーインターフェイスで対応するラインまたはオブジェクトが選択される。

- 半角リストでは、インターフェイスにおけるキーに隣接するリスト項目が選択される。
- ページスクロールモードで次のページまたは前のページにスクロールすると、選択した項目が強調表示されたままになる。

入カライン

入カラインに対してラインキーを押すと、ユーザーインターフェイスは次のようになります。

- ユーザー入力可能なラインに対応するラインが選択される。
- ラインが入カラインの場合は、既存のコンテンツの最後の文字の後ろにカーソルが表示される。エントリを入力すると、カーソルがラインの中央にある場合でも、電話は操作を実行しない。
- 入カラインがアクティブになっている場合でも、ユーザー入力を受け付けられないラインでは最初のソフトキーの操作を実行する。

たとえば、[連絡先] のラインキーを押すと、インターフェイスでは最初のソフトキーが [通話] キーとなるため、連絡先への発信が開始されます。

メインメニュー

次の表に、Avaya J139 IP 電話機で使用するメインメニューアイコンを示します。

アイコン	名前	説明
	[機能]	管理している機能にアクセスします。
	[アプリケーション]	• 連絡先、履歴、カレンダー、プレゼンス、スクリーンセーバーの有効化などの電話アプリケーションにアクセスします。 • 電話機の内線番号からログアウトして、設定を保護したり、別のユーザーがログインできるようにしたりします。
	[設定]	電話機の設定の変更、ボタンラベルのカスタマイズ、明るさの調整、オーディオ設定、スピードダイヤルエントリの割り当てなどを行います。
	[ネットワーク情報]	ネットワーク設定を確認します。
	[管理]	管理設定にアクセスします。
	[詳細情報]	電話機のソフトウェアバージョンを表示します。

一般的な電話アイコン

次の表に、Avaya J139 IP 電話機 で使用されるアイコンを示します。

アイコン	説明
	マイクはミュート状態です。
	未応答の通話があります。不在着信アイコンは、最近使用したアプリケーションに表示されます。
	電話の不在着信理由。履歴では、通話の詳細を表示できます。不在着信の場合、追加のテキスト不在着信の理由を表示できます。
	着信通話でこの通話が応答済みであることを示します。着信アイコンは、最近使用したアプリケーションに表示されます。
	発信通話でこの通話が発信されたことを示します。発信アイコンは、最近使用したアプリケーションに表示されます。
	ブリッジ通話でこの回線が別の電話での通話に使用されていることを示します。
	着信について知らせています。
	発信通話でこの通話が発信されたことを示します。
	通話がアクティブです。
	通話が保留中です。
	会議通話の設定中は通話が保留されます。
	会議通話がアクティブです。
	会議通話が保留中です。
	右または左のナビゲーション矢印を使用して、その他のページ/画面/オプションを表示します。
	左にスクロールして他のオプションを表示します。
	右にスクロールして他のオプションを表示します。
	電話機が Session Manager に接続されておらず、[フェイルオーバー] モードで動作していることを示します。機能によっては利用できない、または正しく動作しない場合があります。 アピアランスラインにこのアイコンが表示されている場合は、電話機にエラーが発生し、近くのユーザーが電話を切るまでメディアセッションが保持されることを示します。 このアイコンでは、電話機が通話サーバーに接続されていても機能が利用できないことも示しています。
	応答不可機能がオンになっています。
	離席機能がオンになっています。

次のページに続く...

アイコン	説明
	不在転送機能がオンになっています。
	通話が広帯域コーデックを使用し、優れた音質が得られることを示します。
	ネットワーク性能が低い、またはローカルネットワークの問題が存在するため、通話の品質が低下する可能性があります。
	SLA Mon™ エージェントによって電話機が制御されていることを示します。
	SLA Mon™ で通話が録音されていることを示します。
	この通話の音声セキュアであることを示します。
	着信の音声通知がオフになっていることを示します。
	不在着信があることを示します。アイコン内の数字は不在着信の数を示します。
	不在着信があることを示します。アイコンの + は不在着信の数が 9 件より多いことを示します。
	自動ダイヤル機能。
	市外通話。
	フリーダイヤル通話。

プレゼンスアイコン

次の表に、Avaya J139 IP 電話機 のプレゼンスアイコンとその説明を示します。

アイコン	状態	説明
	応答可能	連絡先は対応可能であり、通信できます。
	通話中	連絡先は通話中です。
	話中	連絡先は話中です。
	退席中	連絡先は離席しています。
	応答不可	連絡先は通話では使用できません。
	外出中/オフライン	連絡先が外出中、オフライン、または非表示にされています。

次のページに続く...

アイコン	状態	説明
	不明	連絡先のプレゼンスステータスが不明か、電話機が登録されていません。
	自動	プレゼンスステータスは、電話の現在のアクティビティに基づいて自動的に設定されます。

Multiple Level Precedence and Preemption アイコン

次の表に、Avaya J139 IP 電話機 で使用されるアイコンを示します。

アイコン	優先レベル	説明
	優先順位	優先コール用の [優先コール] アイコン。
	ルーチン	通常の通話用の [ルーチン] アイコン。
	即時	[優先コール] よりも優先レベルが高い優先コール用の [即時] アイコン。
	フラッシュ	[即時] よりも優先レベルが高い優先コール用の [フラッシュ] アイコン。
	フラッシュオーバーライド	優先レベルが最も高い優先コール用の [フラッシュオーバーライド] アイコン。

第 5 章: 着信通話

電話へのインバウンドコールは、着信通話です。着信通話では、電話で着信音が鳴り着信通知が表示されます。電話画面に着信通話のアイコンまたは発信者番号/名前が表示されます。設定に応じて、電話画面に組織名や部門名などの着信通話の詳細が表示されます。電話画面をスクロールすると、すべての詳細を表示できます。電話管理者が設定を行うことで、発信者 ID の詳細を表示できます。発信者 ID の詳細を有効にするには、管理者にお問い合わせください。

管理者が着信通話のブロック機能を有効にしている場合、電話がロックされている状態では着信通話に応答することはできません。

電話のローカルの連絡先に LDAP ディレクトリから LDAP 連絡先を保存すると、電話にローカルの連絡先から発信者名が表示されます。

複数の通話を同時に受信すると、電話画面の次のページに 2 番目の通話の詳細が表示されます。

発信者 ID 検証

着信プライベート通話またはブリッジ通話を受信すると、電話に検証ステータス情報が表示され、発信者 ID のなりすましを防止できます。着信通話の発信者 ID 検証ステータスを表示して、発信元を信頼できるかどうかを確認できます。電話で着信ポップアップ機能がアクティブになっている場合、ポップアップに発信者 ID 検証ステータスを表示できます。[通話の詳細] 画面と CA/BCA ラインにもステータスを表示できます。検証ステータスは次のとおりです。

- 合格：発信者表示が正常に検証されました。
- 失敗：発信者表示が失敗しました。
- 不明：通話表示が検証されませんでした。

電話管理者が発信者 ID 検証ステータスを表示する設定を行います。

関連リンク

- [通話に応答する](#) (35 ページ)
- [通話中に別の通話に応答する](#) (35 ページ)
- [コールピックアップ](#) (36 ページ)
- [不在着信を表示する](#) (38 ページ)
- [着信ポップアップを無効にする](#) (38 ページ)
- [通話の不应答](#) (39 ページ)
- [通話を拒否する](#) (39 ページ)

通話に応答する

このタスクについて

この手順を使用して、通話に応答します。通話に応答すると、電話機は次を行います。

- 音声着信通知を作成します。
- 発信者の名前または番号を表示します。

注

〔着信〕ポップアップウィンドウが表示されると、着信通知ではビーコン LED のみが点滅します。〔不応答〕を押すと、ビーコン LED とラインキー LED の両方が点滅し始めます。

手順

以下のいずれかを行います。

- ハンドセットを持ち上げます。
- [スピーカー] を押します。
- [OK] ボタンを押します。
- [応答] ソフトキーを押します。
- [ヘッドセット] を押します。

関連リンク

[着信通話](#) (34 ページ)

通話中に別の通話に応答する

このタスクについて

コールアピアランスが応答可能な場合にのみ、2 番目のコールアピアランスで通話を受信できます。

手順

以下のいずれかを押します。

- [応答] ソフトキー
- [OK ボタン]

最初の通話が保留になり、2 番目の通話に接続されます。

関連リンク

[着信通話](#) (34 ページ)

コールピックアップ

コールピックアップ機能を使用すると、ピックアップグループのメンバーの代わりに、着信に応答できます。ユーザーがグループメンバーの着信を自分の電話機にリダイレクトできるようにするには、管理者はそのユーザーを、コールピックアップグループの内線番号に追加する必要があります。コールピックアップ機能が電話機で有効化されている場合、お使いの電話機のコールアピランスラインにグループメンバーの着信が表示されます。

Avaya J100 シリーズ IP 電話機 では Avaya Aura® Communication Manager での 3 つのコールピックアップの方法がサポートされます。

管理者が内線番号にコールピックアップ機能を設定していることを確認します。

コールピックアップ機能がアクティブになっている場合、Avaya Aura® Communication Manager では、関連付けられたグループの着信通話を自動的に検出して、通話を接続します。

関連リンク

[着信通話](#) (34 ページ)

[コールピックアップグループメンバーの通話に応答する](#) (36 ページ)

[同じコールピックアップグループの通話に応答する](#) (37 ページ)

[内線番号を使用して通話に応答する](#) (37 ページ)

コールピックアップグループメンバーの通話に応答する

このタスクについて

コールピックアップ機能を使用すると、別のコールピックアップグループのメンバーの代わりに、着信に応答できます。この手順を使用して、グループメンバーの通話に応答します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [コールピックアップ] までスクロールして、[選択] を押します。
4. 通話に応答するには、次のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げます。
 - [応答] を押します。
 - [OK] を押します。
 - [スピーカー] を押します。

関連リンク

[コールピックアップ](#) (36 ページ)

同じコールピックアップグループの通話に応答する

このタスクについて

コールピックアップ機能を使用すると、ピックアップグループのメンバーの代わりに、着信に応答できます。同じコールピックアップグループの通話に応答するには、この手順を使用します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [拡張コールピックアップ] までスクロールして、[選択] を押します。
4. 同じピックアップグループの通話に応答するには、呼び出し中の電話の内線番号を入力します。
5. [Enter] キーを押します。

関連リンク

[コールピックアップ](#) (36 ページ)

内線番号を使用して通話に応答する

このタスクについて

コールピックアップ機能を使用すると、ピックアップグループのメンバーの代わりに、着信に応答できます。内線番号を使用して別のピックアップグループの通話に応答するには、この手順を使用します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [指定コールピックアップ] までスクロールして、[選択] を押します。
4. 別のピックアップグループの通話に応答するには、呼び出し中の電話の内線番号をダイヤルします。
5. [Enter] キーを押します。

関連リンク

[コールピックアップ](#) (36 ページ)

不在着信を表示する

このタスクについて

通話に応答しなかった場合、電話の[履歴] ボタンが点灯し、電話画面に不在着信アイコンが表示されます。[履歴] 画面に不在着信に関する次の詳細を表示できます。

- 不在着信アイコン
- 発信者名（発信者が連絡先に追加されている場合）
- 不在着信理由
- 内線番号
- 不在着信の日時

注

ボイスメール機能が有効の場合、[履歴] ボタンは点灯しません。電話は未応答の通話をボイスメール番号にリダイレクトします。

手順

1. [履歴] を押します。
2. 目的の不在着信までスクロールします。
3. [詳細] を押します。

不在着信の詳細を表示できます。

関連リンク

[着信通話](#) (34 ページ)

着信ポップアップを無効にする

このタスクについて

着信ポップアップには、着信通話の発信者名や ID などの情報が表示されます。デフォルトでは、着信ポップアップ機能は電話で利用できるようになっています。着信通話の受信時にコールアピアランスを確認するには、着信ポップアップを無効にします。

プライマリ、ブリッジ、共有コールアピアランスで着信通話の着信ポップアップを無効にすることができます。

要件に応じて、電話管理者は着信ポップアップを無効にしたり、電話の設定を変更するためのアクセス権を付与したりできます。

着信ポップアップを無効にすると、次のようになります。

- 着信通話を受信すると、コールアピアランスが強調表示されます。
- 別の通話中に着信を受信した場合、コールアピアランスは変化しません。設定に応じて、電話はこの着信通話を音声と LED アラートで通知します。

前提条件

電話管理者がこの機能を有効または無効にするためのアクセス権を付与していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話] > [アラート] に移動します。
2. [着信ポップアップ] までスクロールして、[切り替え] ソフトキーを押して、次のいずれかを選択します。
 - [有効]：着信ポップアップを有効にします。
 - [無効]：着信ポップアップを無効にします。
 - [デフォルト]：管理者が設定した設定を使用します。
3. [保存] ソフトキーを押します。

関連リンク

[着信通話](#) (34 ページ)

通話の不応答

このタスクについて

通話に応答したくない、または別の通話が進行中の場合は、新しい着信通話を見逃すことができます。通話を見逃すと、電話の呼び出しアラートは停止しますが、呼び出し時間内にナビゲーションクラスターを使用して通話を選択し、この通話に応答することもできます。

手順

[着信] 画面で、次のいずれかを押します。

- [不応答] ソフトキー
- [+] 音量ボタン
- [-] 音量ボタン

音声アラートがオフになります。

関連リンク

[着信通話](#) (34 ページ)

通話を拒否する

このタスクについて

通話に応答しない場合は、着信通話を拒否できます。着信通話は管理者が設定した通話拒否ポリシーに応じて拒否されます。内線番号でこの機能を有効にするには、管理者に連絡してください。また、通話拒否ポリシーについても管理者に確認してください。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

[着信] 画面で、[拒否] ソフトキーを押します。

結果

通話が拒否されます。通話拒否ポリシーに応じて、発信者は次のいずれかの通知を受け取ります。

- 音声メッセージ通知
- ビジートーン通知

関連リンク

[着信通話](#) (34 ページ)

第 6 章: 発信通話

手動ダイヤルモードを使用して発信する

このタスクについて

手動ダイヤルモードでは、ダイヤルされた入力を編集し、既存のダイヤルされた文字列を使用して通話を発信できます。通話が開始されても、ダイヤルトーンはなく、ダイヤルされた文字列を完了するためのタイムアウトもありません。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げます。
 - [スピーカー] を押します。
 - [ヘッドセット] を押します。
2. 番号をダイヤルし、[通話] ソフトキーまたは [OK] ボタンを押します。

システム管理者が番号マッピング機能を有効にしている場合、電話で間違ってダイヤルされた番号を自動的に修正したり、特定の番号へのダイヤルを禁止したりできます。

関連リンク

[ダイヤルモードを設定する](#) (119 ページ)

オートダイヤルモードを使用して発信する

このタスクについて

オートダイヤルモードでは、オフフックで発信すると、ダイヤルパッドの数字を押すまでダイヤルトーンが鳴ります。発信した後、入力されたダイヤル入力を部分的に編集できます。ダイヤルパッドで押された数字の DTMF フィードバックトーンが聞こえます。電話でダイヤル文字列が完了したことが検出された場合、またはタイムアウトになった場合に自動的に発信されます。

すぐに発信するには、ダイヤルの終了を示す # キーを押すと、電話で通話を開始できます。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げます。
 - [スピーカー] を押します。

- [ヘッドセット] を押します。
2. 番号をダイヤルします。

関連リンク

[ダイヤルモードを設定する](#) (119 ページ)

強調表示された番号に自動発信する

オフフックでの自動通話機能を使用すると、[発信] ソフトキーを押さずに直接発信できます。電話画面で発信する番号を選択し、オフフックで通話できます。オフフック状態にするには、次のいずれかを実行します。

- 受話器を上げる
- ヘッドセットデバイスを押す
- スピーカーボタンを押す

この機能は、電話に [発信] ソフトキーが表示される電話画面で使用できます。

電話管理者がオフフックでの通話機能を有効にします。管理者がアクセス権を付与している場合は、電話からこの機能を有効または無効にできます。

関連リンク

[オフフックでの通話機能を有効/無効にする](#) (119 ページ)

番号をリダイヤルする

このタスクについて

直近にダイヤルした番号にリダイヤルできます。

前提条件

通話履歴に少なくとも 1 件の発信通話があることを確認します。

手順

1. [リダイヤル] ソフトキーを押します。
直近にダイヤルした番号にダイヤルされます。
2. (オプション) ダイヤルした番号のリストを表示するには、次を行います。
 - a. リダイヤルする番号までスクロールします。
 - b. [通話] を押します。

発信前に番号を編集する

このタスクについて

ダイヤルした電話番号が正しくない場合は、通話ログから通話を発信する前に編集できます。

* 注

電話でオフフックでの通話機能がアクティブになっている場合、ダイヤル番号を編集することはできません。

前提条件

通話ログに通話リストがある必要があります。

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. 電話画面で、[コールログ] ハードキーを押します。
電話に最近ダイヤルした番号のリストが表示されます。
2. リストをスクロールし、発信する番号を選択します。
3. [発信] ソフトキーを押します。
電話にダイヤルダイアログボックスが表示されます。
4. (オプション) [コールログ] > [詳細] に移動し、[発信] ソフトキーを押します。
5. 番号を編集します。

* 注

選択した通話ログエントリでプライバシーが有効になっている場合は、番号を編集できません。その場合、電話画面に「発信者の内線は制限されています」というメッセージが表示されます。

6. [発信] ソフトキーを押します。

スピードダイヤルを使用して通話を発信する

前提条件

スピードダイヤル番号が連絡先に割り当てられていることを確認します。

手順

電話をかける番号に割り当てられたダイヤルパッドキーを長押しします。

関連リンク

[スピードダイヤルエントリを割り当てる](#) (122 ページ)

ローカルの連絡先リストから発信する

手順

1. [連絡先] を押します。
2. スクロールして、電話をかける連絡先を選択します。
3. (オプション) ダイヤルパッドで、発信先の名前の文字に対応する番号を押します。
たとえば、Smith という名前を検索する場合、76484 を押します。
4. [通話] を押します。

企業データベースの連絡先リストから電話をかける

このタスクについて

管理者の設定によっては、他のリモート連絡先リストまたはディレクトリから連絡先を検索して呼び出すことができます。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. [検索] を押します。
3. ダイヤルパッドで、発信する相手の名前の番号を入力します。
たとえば、Smith という名前を検索する場合、76484 を押します。
4. もう一度 [検索] を押します。
企業データベースに保存されている連絡先が表示されます。
5. [発信] を押します。

関連リンク

[連絡先を検索する](#) (53 ページ)

国際通話を行う

手順

1. [0] キーを長押しして、プラス記号 (+) を入力します。
2. 電話をかけたい番号をダイヤルします。

優先通話をかける

このタスクについて

優先コール機能を使用して、特殊な内線通話アラートでユーザーに通知します。発信者が優先コールを使用すると、着信者には特別な呼び出し音が聞こえます。

応答不可が有効になっている内線番号でも呼び出し音が鳴ります。

前提条件

管理者が機能実行ターゲットの選択を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [選択] を押します。
3. [優先コール] までスクロールして [OK] を押すか、対応するラインボタンを押します。
[転送先を選択] ダイアログボックスが表示されます。
4. 次のいずれかを実行して、優先順位として設定する番号を入力します。
 - [ダイヤル] ソフトキーを押してダイヤルパッドを使用し、番号を手動で入力します。
 - [連絡先]、[履歴]、[電話] ボタンを押して、リストから番号を選択します。
 - [ブラウザ] ソフトキーを押して、ブラウザアプリケーションから転送先番号を選択します。
 - [自動ダイヤル]、[話中表示]、[チーム] ラインキーを押して、転送先の番号を選択します。

[優先順位] 機能が有効になります。
5. 手動でダイヤルする場合は、[Enter] または [OK] を押して機能を有効にします。
6. (オプション) 優先コールをキャンセルするには、[キャンセル] ソフトキーを押します。

関連リンク

[機能ターゲットを使用して転送先番号を選択する](#) (98 ページ)

優先通話

優先順位が設定された優先通話を発信すると、その他の通話をオーバーライドできます。内線番号を手動でダイヤルするか、[連絡先] または [履歴] から内線番号を選択します。優先レベルは1つのコールセッションにのみ有効です。通話の優先レベルは次のとおりです。

- FO：フラッシュオーバーライド。最も高い優先レベルです。
- FL：フラッシュ。
- IM：即時。
- PR：優先通話。

- ルーチン：最も低い優先順位です。5 分以内に通話が発信されない場合は、[ルーチン] がコールセッション回線でハイライト表示されます。

メインメニューを使用して優先通話を発信する

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [コール優先度] を選択します。
4. [優先順位の選択] 画面で、優先レベルを選択します。
5. 次のいずれかから内線番号をダイヤルします。
 - [連絡先]
 - [履歴]
 - ダイヤルパッド

ダイヤル計画設定を使用して優先通話を発信する

このタスクについて

この手順を使用して、内線番号をダイヤルし、優先通話を手動で発信します。

前提条件

ローカルセッションコントローラーまたはエンタープライズセッションコントローラーで、機能特番（FAC）を使用してダイヤル計画を設定しておく必要があります。

手順

1. ハンドセットを持ち上げるか、次のいずれかを押します。
 - [スピーカー]
 - [ヘッドセット]
 - 対応する回線ボタン
2. 内線番号に続いて FAC をダイヤルします。

あらかじめ割り当てられた番号に自動ダイヤルをする

このタスクについて

自動ダイヤル機能を使用すると、あらかじめ割り当てられた番号にすばやく発信できます。電話機がオフフック、オンフックになっているときでも、ラインキーからでも利用できます。システム管理者は IT ヘルプデスクなど頻繁に使用するいくつかの発信先番号を自動ダイヤルに設定できます。これらの番号は電話画面に表示されます。

前提条件

システム管理者が頻繁に使用する発信先番号にこの機能を設定していることを確認します。

手順

次のいずれかを実行して、オートダイヤルする番号を選択します。

- 電話がオンフックの場合は、電話画面に表示される番号を選択し、[通話] ソフトキーを押すか [OK] ボタンを押します。
- 電話機がオフフックの場合は、オートダイヤル画面が表示されるので、使用するラインキーを押します。

URI ダイアルで電話をかける

前提条件

- 内線番号の URI があることを確認します。
- 電話機で [発信前に番号を編集] 機能が有効になっていることを確認します。

手順

1. 発信する電話番号を入力します。

[abc] または [123] ソフトキーを押すと、入力方法が切り替わります。

★ 注

入力した文字を削除するには、[バックスペース] ソフトキーを押します。

2. 発信する完全な URI を入力します。
3. [発信] ソフトキーを押して電話をかけます。

ダイヤルインターコムを使用してインターコムグループに発信する

このタスクについて

この手順を使用して、インターコムグループの任意の内線番号に発信します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [ダイヤルインターコム] までスクロールして、[選択] を押します。
ダイヤルインターコム機能の横に、インターコムグループ番号が表示されます。
4. 宛先の内線に一致する番号を押してください。

5. [Enter] キーを押します。

自動インターコムを使用してインターコムグループに発信する

このタスクについて

この手順を使用して、インターコムグループの特定の内線番号に発信します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [自動インターコム] までスクロールして、次のいずれかを押します。
 - [選択]
 - 機能ラインキー

電話は自動インターコム通話を事前定義済みの内線番号に発信します。

緊急通話

緊急通話は、あらかじめ設定された緊急サービス番号に接続するために使用します。緊急サービス電話番号は、管理者により設定されます。

次の画面から緊急通話を開始できます。

- [ログイン] 画面
- [電話] 画面
- [ロック] 画面
- [再起動] 画面

IP Office 環境では、電話にログインしている場合にのみ緊急通話を開始できます。

システム管理者が緊急通話をお使いの電話機に設定している場合は、[電話] 画面に [緊急] ソフトキーが表示されます。

[緊急] ソフトキーを使用すると、システム管理者によって最優先順位に設定された番号にのみダイヤルできます。または、次の場合にダイヤルパッドを使用して緊急通話番号にダイヤルすることもできます。

- [緊急] ソフトキーを使用できない場合。
- [緊急] ソフトキーは使用可能だが、システム管理者によって設定されていない緊急電話番号にダイヤルする場合。

IP Office 環境では、[緊急] ソフトキーは使用できません。ダイヤルパッドを使用して緊急電話番号にダイヤルする必要があります。

IP Office の詳細については、<https://support.avaya.com/> の IP Office ドキュメントを参照してください。

緊急通話を発信する

前提条件

[緊急] ソフトキーが管理者によって割り当てられていることを確認します。

手順

以下のいずれかを行います。

- [電話] 画面で、[緊急] ソフトキーを押して、電話に確認メッセージが表示されたら、[緊急] をもう一度押します。
- ダイヤルパッドを使用して緊急電話番号をダイヤルします。

第 7 章: 通話関連機能

通話をミュート/ミュート解除する

このタスクについて

通話中に、ミュートボタンを使用すると、電話のすべての音声通信を切断できます。この機能を有効にすると、電話の「ミュート」ボタンが点灯し、発信者の声は聞くことができますが、発信者にはあなたの声は聞こえません。しばらくミュート機能がアクティブになっていると、会話の際に音声のミュートアラート通知が再生され、電話画面の上部バーにミュートアイコン



が点滅します。ミュートをアクティブにして会話を続けると、最初は音声と着信ランプ表示で通知され、その後、通話のミュートを解除するまで着信ランプ表示のみが表示されます。

手順

1. 通話中にミュートするには、「ミュート」ボタンを押します。
電話の「ミュート」ボタンがすぐに点灯します。
2. 通話をミュート解除するときは、もう一度「ミュート」ボタンを押します。

通話を保留にする/通話を再開する

このタスクについて

通話中に、通話を保留できます。通話を保留にすると、自分と発信者の両方が通話でお互いの声を聞くことができなくなります。通話の保留中、他の連絡先に発信できます。複数の通話が保留されている場合、上下の矢印キーを使用して必要な通話までスクロールして、保留中の通話に戻ることができます。

手順

1. アクティブな通話を保留するには、「保留」ソフトキーを押します。
2. 保留された通話を再開するには、「再開」ソフトキーを押すか、保留された通話のラインキーを押します。

オフフック警告

システム管理者がこの機能を有効にすると、ユーザー側でアクションが行われずに電話が一定時間オフフック状態になっている場合に、監視対象電話にアラートを送信できます。電話は次の場合にアラートを送信します。

- 一定時間ハンドセットがオフフック状態で番号もダイヤルされず、失敗したセッションが終了されていない場合。
- ハンドセットがオフフックにされ、不完全または無効な電話番号や内線番号がダイヤルされて、一定時間が経過しても失敗したセッションが終了されていない場合。

電話からオフフックアラート送信先内線番号にダイヤルすると、通話を選択して、監視対象との双方向通話パスを使用できます。

第 8 章: 連絡先

新しい連絡先を追加する

このタスクについて

この手順を使用して、電話機に連絡先を追加します。最大 250 件の連絡先を保存できます。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. 以下のいずれかを行います。
 - [連絡先] リストが空の場合は、[新規] を押します。
 - [連絡先] リストが空でない場合は、[次へ] > [連絡先] を押します。
4. ダイヤルパッドを使用して、連絡先の氏名を対応するフィールドに入力します。
 - 入力する文字または数字に該当するテンキーを押します。
 - 文字が同じキーにある場合、次の文字を入力する前に一時停止してください。
 - スペースを入力するには、[0] を押します。
 - 残りの文字または数字を入力します。
 - 記号を入力するには、[次へ] > [記号] を押します。ナビゲーション矢印を使って入力する記号を強調表示し、[挿入] を押します。
 - 最後の文字を削除するには、[バックスペース] ソフトキーを押します。
5. 内線番号を入力します。

連絡先の内線番号には、大文字小文字、0 ～ 9 の数字、コンマ (,)、プラス (+)、ドット (.) などの特殊記号を使用できます。
6. [保存] を押します。

関連リンク

[ローカルグループに連絡先を追加する](#) (61 ページ)

履歴通話リストから連絡先を追加する

このタスクについて

この手順を使用して、通話履歴から [連絡先] リストに番号を追加します。

手順

1. [履歴] を押します。
2. 必要な番号までスクロールして、[+連絡先] を押します。
3. [名] および [姓] フィールドに、該当する情報を入力します。
4. [保存] を押します。

連絡先を検索する

このタスクについて

この手順を使用して、次から連絡先を検索できます。

- 連絡先リスト：追加した連絡先。
- Exchange リスト：Exchange アカウントの連絡先。
- グローバル Exchange：会社の Exchange ディレクトリの連絡先。
- LDAP ディレクトリ：LDAP ディレクトリの連絡先。
- システム連絡先：Avaya Aura 連絡先。

前提条件

管理者が連絡先設定を設定していることを確認します。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. ローカル連絡先の連絡先の場合は、連絡先の名前を入力します。
入力内容に応じて、連絡先が表示されます。
4. (オプション) ローカルの [連絡先] リストに連絡先を追加するには、[+連絡先] を押します。

関連リンク

[企業データベースの連絡先リストから電話をかける](#) (44 ページ)

連絡先のクイック検索を実行する

このタスクについて

電話機のクイック検索機能を使用すると、連絡先の名前全体を入力しなくても、[連絡先] リストに保存された連絡先をすばやく検索できます。

前提条件

[連絡先] リストに 1 件以上の連絡先が保存されていることを確認します。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. ダイヤルパッドで連絡先の姓または名の最初の文字に該当するキーを押します。

結果

電話機には、押したキーに関連付けられた文字で始まる姓または名のすべての連絡先が表示されます。

LDAP ディレクトリ

LDAP ディレクトリ機能を使用すると、利用可能な LDAP ディレクトリで連絡先を検索できます。LDAP ディレクトリオプションが [連絡先] アプリケーションリストの上部に表示されます。

LDAP ディレクトリを連絡先検索ソースとして選択することもできます。これを選択すると、他の検索ソースが無効になります。LDAP ディレクトリがアクティブな検索ソースの場合、別の検索ソースを選択すると LDAP ディレクトリ検索が無効になります。

複数の検索キーワードを入力して、個人名、住所、役職、電話番号など、各一致で最大 49 個の属性を表示できます。

[+連絡先] ソフトキーのヘルプを使用すると、頻繁に使用する LDAP コンタクトをローカルの [連絡先] に追加できます。

[結合] ソフトキーのヘルプを使用すると、検索した LDAP コンタクトを既存のローカル連絡先と結合できます。

LDAP ディレクトリを連絡先検索ソースとして設定する

このタスクについて

LDAP ディレクトリを連絡先検索ソースとして選択して、[連絡先] アプリケーションから検索可能にすることができます。これを選択すると、[連絡先] アプリケーションでその他の使用可能な検索ソースが無効になります。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [LDAP ディレクトリ] を連絡先検索のソースとして選択するには、[検索] > [次へ] > [ソース] の順に押します。
4. [LDAP コンタクト] までスクロールして、[切り替え] を押します。
 [LDAP ディレクトリ] に連絡先検索ソースが表示されます。その他のソースは無効になります。電話機に次のメッセージが表示されます：LDAP 選択済 - その他のソースは無効。
5. [保存] を押します。

LDAP コンタクトを検索する

このタスクについて

電話の連絡先アプリケーションを使用して LDAP ディレクトリを検索し、LDAP ディレクトリを検索ソースとして指定できます。また、ユーザーは LDAP ディレクトリアプリケーションを開いて、LDAP ディレクトリの検索を直接絞り込むことができます。

LDAP 連絡先検索結果フィルタを設定できます。

前提条件

LDAP ディレクトリを連絡先検索ソースとして設定します。

管理者が番号なしの連絡先のフィルタ機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] リスト間を移動するには、次のいずれかを行います。
 - [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. LDAP ディレクトリから検索する場合は、[LDAP ディレクトリ] までスクロールして [選択] を押します。
 電話機に最大 1000 件の LDAP コンタクトのリストが表示されます。[上] と [下] ラインキーを使用すると、リスト間をスクロールできます。電話機が LDAP サーバーから連絡先を取得できない場合、電話機に次のメッセージが表示されます。
 グループに連絡先がありません。
4. [検索] を押します。
5. [検索タイプ] オプションまでスクロールして、[で始まる] と [を含む] 間を切り替えます。
 [で始まる] を選択すると、電話は最初にクエリがある一致のみを返します。[を含む] を選択すると、電話はクエリを含むすべての一致を返します。

6. ダイアルパッドを使用して、空白またはコンマで区切られた複数のキーワードを [検索] フィールドに入力し、[検索] を押します。

電話機に一致する結果のリストが表示されます。LDAP ディレクトリに一致するものが見つからない場合、電話機には「見つかりません」というメッセージが表示されます。

管理者が [番号なしの連絡先のフィルタ] パラメータを有効にしている場合、LDAP ソースの検索結果には、指定した番号の連絡先のみが表示されます。

LDAP ディレクトリに 20 件以上の一致が見つかった場合、電話機には次のメッセージが表示されます。「一致する項目が多すぎます。検索結果を絞るには、次のリストから選択します。」

7. (オプション) 選択した項目と一致する連絡先情報を表示するには、[詳細] を押します。
8. (オプション) LDAP コンタクトをローカル連絡先のリストに追加するには、[詳細] ビューから [+連絡先] を押します。
9. (オプション) 既存のローカル連絡先を選択し、選択した LDAP コンタクトと結合するには、[詳細] ビューから [結合] を押します。

企業ディレクトリ

企業ディレクトリを使用すると、Avaya Aura® Device Services (AADS) から連絡先のエンタープライズ検索を実行できます。電話の管理者が AADS を電話の連絡先ソースとして設定すると、検索ソースの名前がシステム連絡先から企業ディレクトリに変わります。

次の検索モードで連絡先を検索できます。

- 基本：組織の連絡先を名前または内線番号で検索できます。
- 詳細：名前または内線番号で連絡先を検索し、連絡先の場所や部門などの追加の検索オプションを使用できます。

企業ディレクトリの連絡先の追加、編集、削除ができます。追加、編集、削除された連絡先は AADS 連絡先管理システムに保存され、変更は複数デバイスアクセス (MDA) 設定の他のデバイスに反映されます。

関連リンク

[企業ディレクトリを連絡先検索ソースとして設定する](#) (56 ページ)

[連絡先検索モードを設定する](#) (57 ページ)

[会社用連絡先を検索する](#) (58 ページ)

企業ディレクトリを連絡先検索ソースとして設定する

このタスクについて

企業ディレクトリを連絡先検索ソースとして選択して、[連絡先] アプリケーションから検索することができます。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [企業ディレクトリ] を連絡先検索ソースとして選択するには、[検索] > [次へ] > [ソース] を押します。
5. [企業ディレクトリ] までスクロールして、[切り替え] を押します。
6. [保存] を押します。

結果

[企業ディレクトリ] に連絡先検索ソースが表示されるようになりました。

連絡先検索モードを設定する

このタスクについて

連絡先検索モードを設定して、基本検索オプションまたは詳細検索オプションを選択できます。連絡先検索モードでは、基本または追加の検索条件を指定して、組織の連絡先を検索できます。

前提条件

電話管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [検索モード] までスクロールして、[切り替え] を押して [基本] モードと [詳細] モードを切り替えます。
 - 検索モードが [基本] の場合、[連絡先] > [検索] 画面で、電話に [名前] または連絡先名を入力するフィールドが表示されます。
 - 検索モードが [詳細] の場合、[連絡先] > [検索] 画面で、次の詳細を入力します。
 - [名前] : 組織から検索する連絡先の名前または内線番号を入力します。
 - [場所] : 連絡先の場所を入力します。
 - [部門] : 連絡先の部門を入力します。
6. [保存] を押します。

関連リンク

[企業ディレクトリ](#) (56 ページ)

会社用連絡先を検索する

このタスクについて

企業ディレクトリを連絡先検索ソースとして有効にすると、電話の「連絡先」アプリケーションを使用して組織の連絡先を検索できます。

前提条件

企業ディレクトリが連絡先の検索ソースとして設定されていることを確認します。

手順

1. 「メインメニュー」を押します。
2. 「アプリケーション」までスクロールして、「選択」を押します。
3. 「連絡先」までスクロールして、「選択」を押します。
4. 「検索」を押します。

電話機に一致する結果のリストが表示されます。企業ディレクトリに一致が見つからない場合、電話に他のソースの連絡先リストが表示されます。

* 注

市外局番で、部門別で連絡先を検索すると、電話に「一致なし」と表示されます。ただし、部門に名前と場所を含める場合、検索条件として名前と場所に基づいた検索がアクティブになります。市内局番とローカルの連絡先検索では、名前、場所、部門などの各フィールドを検索条件として個別に使用できます。

5. 「詳細」を押すと、選択した一致の連絡先情報を表示します。
6. 頻繁に使用する会社用連絡先をローカルの連絡先に追加するには、「+連絡先」を押します。
7. 見つかった会社用連絡先を既存のローカルの連絡先と結合するには、「結合」を押します。

関連リンク

[企業ディレクトリ](#) (56 ページ)

企業ディレクトリの制限

コンタクト詳細

連絡先に AADS を使用する場合、コンタクト詳細フィールドの編集時に次の制限が生じます。

- 企業ディレクトリの連絡先の電子メールアドレスは編集できません。
- 企業ディレクトリから連絡先を追加する場合、Avaya Workplace クライアントを使用して詳細フィールドを編集できません。J100 電話を使用して変更することもできますが、変更は、Avaya Workplace クライアントではなく、MDA 設定の他の J100 電話に反映されます。

連絡先グループ

企業ディレクトリに連絡先グループを保存すると、ローカルの連絡先からその連絡先グループが表示されます。ただし、マルチデバイスアクセス (MDA) 設定では、J100 電話に保存された連絡先グループは Avaya Workplace クライアントには反映されません。

連絡先の同期

Avaya Aura® Device Services (AADS) の連絡先の同期を有効にすると、次の制限が生じます。

- スピードダイヤルエントリを割り当てることができません。
- スピードダイヤルエントリが割り当てられ、機能している古いリリースの電話の場合、AADS 連絡先の同期をサポートするようにアップグレードすると、以前のスピードダイヤルエントリは表示されません。

連絡先の詳細を表示する

このタスクについて

この手順を使用して、連絡先の詳細を表示します。[詳細] ウィンドウで、連絡先の発信、編集、または削除を行うことができます。

前提条件

[連絡先] リストに 1 件以上の連絡先が必要です。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. 表示したい連絡先を選択します。
4. [詳細] を押します。
 - 連絡先に発信するには、[通話] を押します。
 - 連絡先を編集するには、[編集] を押します。
 - 連絡先を削除するには、[削除] を押します。
 - その他のオプションを表示するには、[次へ] を押します。

連絡先を編集する

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. 連絡先を選択します。

4. [詳細] > [編集] を押します。
5. 編集するフィールドまでスクロールします。
6. ダイアルパッドとソフトキーを使用して、連絡先情報を変更します。
7. [保存] を押します。

連絡先を結合する

このタスクについて

この手順を使用して、現在の連絡先の電話番号を、既存のローカルの連絡先と結合します。

前提条件

[連絡先] リストが空でないことを確認します。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. 結合する連絡先までスクロールして、[詳細] > [次へ] > [結合の] 順に押します。
選択モードでは、現在のコンテンツが特定されていない状態で [連絡先] リストが表示されます。
4. 現在の連絡先を結合するには、既存の連絡先までスクロールして、[選択] を押します。
現在の連絡先が [連絡先] リストから削除され、ローカルの連絡先と結合されます。

連絡先を削除する

このタスクについて

ローカルの連絡先は削除できます。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. 削除する連絡先を選択します。
4. [詳細] > [次へ] > [削除] を押します。

5. 以下のいずれかを押します。
 - [削除]：連絡先を削除します。
 - [キャンセル]：操作をキャンセルします。

ローカルの連絡先グループを作成する

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [次へ] を押します。
4. [グループ] を押します。
5. [新規グループ] を押します。
6. [グループ名を入力] フィールドで、グループ名を入力します。
7. [保存] を押します。

ローカルグループに連絡先を追加する

前提条件

- [連絡先] リストが空白でないことを確認します。
- 連絡先を追加するローカルグループを、少なくとも 1 つ作成します。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [次へ] を押します。
4. [グループ] を押します。
5. 連絡先を追加するグループまでスクロールし、[メンバー] > [メンバー登録] を押します。
6. 追加する連絡先までスクロールして、[追加] を押します。
7. (オプション) さらに連絡先を追加するには、手順 4 と 5 を繰り返します。

関連リンク

[新しい連絡先を追加する](#) (52 ページ)

ローカルグループから連絡先を削除する

前提条件

[連絡先] リストグループに少なくとも 1 名のユーザーが追加されていることを確認します。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [次へ] を押します。
4. [グループ] を押します。
5. グループまでスクロールして、[メンバー] を押します。
グループの連絡先リストが表示されます。
6. 連絡先を選択して、[削除] を押します。
連絡先が [連絡先] リストから削除されます。

連絡先に着信音を割り当てる

このタスクについて

この手順を使用して、着信音を連絡先に割り当てます。着信音は、[連絡先] リストに保存されている連絡先にのみ割り当てることができます。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
3. 連絡先を選択して、[詳細] を押します。
4. アクティブな着信音までスクロールして、[編集] を押します。
[電話] 画面に [着信音を選択] ウィンドウが表示されます。
5. 割り当てる着信音までスクロールして、[選択] を押します。

6. (オプション) 着信音を鳴らすには、[再生] を押します。
7. [保存] を押します。

第 9 章: プレゼンス

プレゼンス機能を使用すると、リアルタイムで連絡先のステータスを監視したり、通信の空き状況に応じて電話のステータスを手動で変更したりできます。

電話画面にプレゼンス情報を表示するには、管理者がこの機能をアクティブにしている必要があります。電話画面の一番上の行にプレゼンスステータスが表示されます。

連絡先のプレゼンスステータスを表示する

このタスクについて

連絡先のプレゼンスステータスをリアルタイムで表示または監視して、連絡先と通信する適切な時間を把握できます。

前提条件

- 管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。
- [連絡先] リストに連絡先があることを確認します。
- [連絡先] リストで連絡先を追加または編集する際に、[プレゼンスの追跡] オプションを [はい] に設定します。

手順

1. [連絡先] を押します。
2. 必要な連絡先までスクロールします。

電話に、連絡先に対応するプレゼンスステータスアイコンが表示されます。

関連リンク

[新しい連絡先を追加する](#) (52 ページ)

プレゼンスステータスを変更する

このタスクについて

電話のプレゼンスステータスは手動で変更できます。電話画面の一番上の行にプレゼンスステータスが表示されます。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [プレゼンス] までスクロールして、[選択] を押します。
4. (オプション) [自動] までスクロールします。
5. スクロールして [選択] を押し、次のいずれかを選択します。
 - [応答可能] : ユーザーが応答可能であり、通信できることを示します。
 - [話中] : ユーザーが話中であることを示します。
 - [退席中] : ユーザーが退席していることを示します。
 - [応答不可] : ユーザーが通信できないことを示します。
 - [外出中] : ユーザーが外出中であることを示します。
 - [オフライン] : 他のユーザーにはオフラインと表示されます。ただし、電話ではプレゼンスサーバーによりアクティブなプレゼンスサブスクリプションが続行されます。電話では、監視対象に登録された連絡先の通知を受信します。
6. [保存] を押します。

関連リンク

[プレゼンスアイコン](#) (32 ページ)

応答不可がアクティブの場合に通話を転送する

このタスクについて

プレゼンスステータスが [応答不可] に設定されている場合、着信通話はボイスメールにリダイレクトされます。この手順を使用して、[離席] 機能と [応答不可] プレゼンスステータス間のリンクを定義します。管理者が行った設定に応じて、電話画面に機能メニューオプションが表示されます。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [プレゼンス統合] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [システム DND リンク] までスクロールします。
6. 要件に応じて、次のいずれかを選択します。
 - [デフォルト (リンクなし)]

- [リンクなし] : [応答不可] を有効にしている場合は、離席機能はアクティブになりません。
- [一方向リンク] : [応答不可] を有効にしている場合は、離席機能はアクティブになります。
- [双方向リンク] : [応答不可] を有効にしている場合は、離席機能がアクティブになり、逆もまた同様です。

7. [保存] を押します。

関連リンク

[応答不可を有効/無効にする](#) (67 ページ)

第 10 章: 応答不可および不在転送

応答不可

応答不可機能を使用すると、すべてのダイレクト着信通話の音声通知を受信しないようにできます。電話は、システム管理者が設定した定義済みカバレッジ番号にこれらの着信通話をリダイレクトします。この機能は離席とも呼ばれています。必要に応じて、電話でこの機能に「離席」という名前を付けるよう、管理者に連絡してください。

応答不可機能がアクティブの場合、次のアクティブな機能から着信通話を受信できます。

- 自動コールバック
- 優先通話
- 不在転送

関連リンク

[応答不可を有効/無効にする](#) (67 ページ)

応答不可を有効/無効にする

このタスクについて

応答不可機能をアクティブにして、通話を受信したときに電話が鳴らないようにすることができます。電話は、システム管理者が設定した定義済みカバレッジ番号にダイレクト着信通話をリダイレクトします。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

手順

1. [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [応答不可] 画面に移動します。
3. [応答不可] を選択すると、機能をアクティブまたは非アクティブにできます。

関連リンク

[応答不可](#) (67 ページ)

[応答不可がアクティブの場合に通話を転送する](#) (65 ページ)

不在転送

不在転送機能を使用すると、通話に応答できない場合に着信を別の番号に転送できます。たとえば、通話の受信時に、電話で不在転送機能がアクティブな場合、不在転送番号にこの通話が転送されます。要件に応じて、システム管理者はこの機能を有効にし、不在転送オプションを設定します。

利用可能な不在転送オプションは次のとおりです。

- 不在転送：すべての着信を別の番号に転送します。
- 話中転送：通話中の場合、着信を別の番号に転送します。
- 不応答転送：指定された時間間隔内に電話に応答しない場合、着信を別の番号に転送します。

電話機ではアクティブなすべての不在転送オプションは同時にサポートされません。不在転送オプションを有効にして、すべての通話を転送するか、話中転送や不応答転送オプションを有効にできます。

拡張不在転送

拡張不在転送機能を使用すると、発信元に応じて着信を異なる番号に転送できます。要件に従ってルールを設定し、内線および外線の着信を転送します。該当する不在転送オプションに、内線および外線の電話番号を入力します。

通話を別の内線番号に転送する

このタスクについて

この手順を使用して、着信通話を該当する内線番号に転送します。

IP Office 環境では、不在転送機能の短縮コードダイヤルを使用します。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

前提条件

管理者がこの機能と使用する不在転送オプションを有効にしていることを確認します。機能ターゲットの選択も有効になっていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [選択] を押します。
3. [不在転送] 機能を有効にするには、次のオプションのいずれかまでスクロールします。
 - [不在転送]：すべての着信通話を別の番号に転送します。
 - [話中転送]：通話中の場合、着信を別の番号に転送します
 - [不応答転送]：指定された時間間隔内に電話に応答しない場合、着信を別の番号に転送します。

話中転送と不応答転送オプションは、管理者が設定した場合に使用できます。

4. [選択] を押します。
[転送先を選択] ダイアログボックスが表示されます。

5. 次のいずれかを実行して、着信通話を転送する番号を入力します。
 - [ダイヤル] ソフトキーを押してダイヤルパッドを使用し、番号を手動で入力します。
 - [連絡先]、[履歴]、[電話] ボタンを押して、リストから番号を選択します。
 - [ブラウザ] ソフトキーを押して、ブラウザアプリケーションから転送先番号を選択します。
 - [自動ダイヤル]、[話中表示]、[チーム] ラインキーを押して、転送先の番号を選択します。

[不在転送] 機能が有効になります。
 6. 手動で内線番号をダイヤルする場合は、[Enter] を押して不在転送機能を有効にします。
- 電話で確認音が鳴り、[機能] 画面に戻ります。
7. (オプション) 機能をキャンセルするには、[キャンセル] ソフトキーを押します。
 8. 不在転送オプションを無効にするには、アクティブな [不在転送] オプションに進み、[選択] を押します。

関連リンク

[機能ターゲットを使用して転送先番号を選択する](#) (98 ページ)

拡張不在転送を設定する

このタスクについて

この機能を使用して、通話のタイプと通話状態に基づき、電話の着信をさまざまな転送先番号に不在転送できます。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [拡張不在転送] までスクロールして、[選択] を押します。
4. 次のリストから必要なルールを選択して、対応する番号を入力します。
 - 無条件転送 :
 - 内部回線 [番号を入力]
 - 外部回線 [番号を入力]
 - 話中時転送 :
 - 内部回線 [番号を入力]
 - 外部回線 [番号を入力]
 - 不応答転送 :
 - 内部回線 [番号を入力]

- 外部回線 [番号を入力]

ルールのいずれかに番号を設定している場合、電話には [番号を入力] というテキストの代わりに、その番号が表示されます。

5. [保存] を押します。

拡張不在転送のルールを編集する

このタスクについて

拡張不在転送機能を使用すると、各要件に応じてルールを設定して、お使いの電話で着信通話をさまざまな転送先に転送できます。すでに設定されているルールを編集するには、次の手順を行います。

前提条件

管理者が拡張不在転送機能をアクティブにしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [選択] を押します。
3. [拡張不在転送] までスクロールして、[選択] を押します。
4. 編集するルールを選択し、[編集] を押します。
5. 転送先番号を入力します。
6. [保存] を押します。

拡張不在転送のルールを解除する

このタスクについて

拡張不在転送機能を使用すると、各要件に応じてルールを設定して、お使いの電話で着信通話をさまざまな転送先に転送できます。すでに設定されているルールをオフにするには、次の手順を行います。

前提条件

管理者が拡張不在転送機能をアクティブにしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [選択] を押します。
3. [拡張不在転送] までスクロールして、[選択] を押します。
4. 以下のいずれかを行います。
 - ルールを解除するには、ルールを選択して [解除] を押します。
 - すべてのルールを解除するには、[全解除] を押します。
5. [保存] を押します。

携帯内線を使用した携帯電話への不在転送

このタスクについて

この手順を使用して、Avaya デスクフォンから個人用電話に通話を転送します。

前提条件

- 管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。
- システム管理者が、自分の個人用電話番号を転送先番号として設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [携帯内線] までスクロールして、[選択] を押します。

通話を携帯電話に転送する

このタスクについて

この手順を使用して、携帯内線機能を使用して、実行中の通話を携帯電話に転送します。携帯電話で転送された通話に応答した場合、その通話はオフィスの電話機でアクティブなままになります。後でオフィスの電話機に再度切り替えて、通話を継続することができます。

前提条件

- 管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。
- 携帯内線が携帯電話に設定されていることを確認します。
- 管理者が、自分の個人用電話番号を転送先番号として設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [携帯転送] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [OK] を押します。

携帯電話で通話を受信して、転送された通話に応答します。

第 11 章: 通話履歴

履歴

履歴アプリケーションは、通話履歴または直近 100 件の通話ログを電話に表示します。電話は発信者からの各通話タイプの通話を集計し、リスト化します。履歴アプリケーションから、次を実行できます。

- 通話履歴の詳細を表示する
- 通話の発信
- 通話履歴のレコードを削除する
- 履歴リストをクリアする
- 連絡先を追加する

通話履歴

通話ログには、電話の直近 100 件の通話のリストが表示されます。通話ログリストはタイムスタンプで並べ替えられ、リストの一番上に最新の通話が表示されます。通話ログの各エントリには次の情報が含まれます。

- 通話タイプアイコン
- 発信者名
- 発信者の番号
- 通話タイムスタンプ
- 通話持続時間

通話エントリを記録するには、内線番号の通話ログオプションを有効にする必要があります。通話ログの集計オプションを有効にすると、各日の通話の集計を表示できます。電話は発信者からの各通話タイプの通話を集計し、[履歴] 画面に一覧表示します。

[不在転送] または [不在転送ビジー] を不在着信として電話機に記録させたくない場合は、管理者に連絡して必要な設定を行います。プライマリ内線番号ユーザーが電話からログアウトしている場合、電話は不在転送または話中転送を不在着信として記録します。

不在着信理由

不在着信の場合、電話には、コールサーバーが提供する不在着信理由が表示されます。電話でオフライン通話ログが有効になっている場合、不在着信理由の不在転送ステータスが失われます。Avaya J100 シリーズ IP 電話機 電話機で次の機能のいずれかがアクティブになっている場合、次に通話が切断された理由が表示されます：

[機能]	[不在着信理由]
不在転送	すべての通話を転送
話中転送	他の通話で話中
すべての回線が話中	すべてのコールピッドランスが話中
同時接続通話数の制限 (LNCC)	着信制限
カバレッジ	応答なし

Avaya J100 シリーズ IP 電話機 では、ソフトウェアバージョン 4.0.3 以降から通話ログファイルのコンテンツが暗号化されます。

電話のソフトウェアを 4.0.3 以前のバージョンにダウングレードすると、通話ログの詳細を保持できません。通話ログの詳細を保持するには、管理者に連絡して、必要な設定を有効にします。

履歴から通話を開始する

手順

1. [履歴] を押します。
2. [上] および [下矢印] キーを使用して、呼び出す連絡先を選択します。
3. (オプション) [詳細] を押します。
4. [発信] を押します。

履歴の詳細を表示する

このタスクについて

[履歴] 画面では、通話タイプと発信者 ID の表示設定に応じて、各通話の詳細を表示できます。以下にいくつかの例を示します。

- 着信アイコン
- 発信アイコン
- 不在着信アイコン
- 名前
- 不在着信理由
- 内線番号
- 時間
- 日付
- 通話時間

★ 注

〔通話時間〕は不在着信には使用できません。

集計済み通話ログ機能がアクティブになっている場合は、その日の発信者の通話の合計数を表示することもできます。

手順

1. 〔履歴〕を押します。
2. (オプション) 〔メインメニュー〕から移動するには、次の操作を行います。
 - a. 〔アプリケーション〕までスクロールして、〔選択〕を押します。
 - b. 〔履歴〕までスクロールして、〔選択〕を押します。〔履歴〕画面にすべての通話が表示されます。
3. (オプション) 〔履歴〕画面で、〔右〕と〔左〕矢印キーを使用して、必要な通話タイプまでスクロールします。
4. 表示する通話を選択します。
5. 〔詳細〕を押します。

選択した通話の詳細が表示されます。

集計済み通話では、電話にサマリーの詳細なビューが表示されます。
6. (オプション) 必要な通話エントリまでスクロールして、〔詳細〕を押します。

履歴から通話記録を削除する

このタスクについて

この手順を使用して、〔履歴〕リストにある特定のコールレコードを削除します。集計済み通話ログビューでは、集計済み通話ログレコードのすべてのエントリや、サマリーの特定のエントリを削除できます。削除オプションは、少なくとも1件の通話ログエントリがある場合に使用できます。

手順

1. 〔履歴〕を押します。
2. (オプション) 〔メインメニュー〕から移動するには、次の操作を行います。
 - a. 〔アプリケーション〕までスクロールして、〔選択〕を押します。
 - b. 〔履歴〕までスクロールして、〔選択〕を押します。〔履歴〕画面にすべての通話が表示されます。
3. (オプション) 〔履歴〕画面で、〔右〕と〔左〕矢印キーを使用して、必要な通話タイプまでスクロールします。
4. 削除する番号を選択します。
5. 〔詳細〕を押します。

選択した通話の詳細が表示されます。

集計済み通話では、電話にサマリーの詳細なビューが表示されます。

6. (オプション) 通話サマリーで、必要な通話レコードを選択します。
7. [削除] を押します。
8. この最近の記録を削除しますか？確認画面で [削除] を押します。
電話で通話レコードが削除されます。

履歴リストをクリアする

このタスクについて

この手順を使用して、[履歴] リストのすべての通話エントリを削除します。

前提条件

[履歴] リストに少なくとも 1 つのコールレコードがあることを確認します。

手順

1. [履歴] を押します。
 2. (オプション) [メインメニュー] から移動するには、次の操作を行います。
 - a. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
 - b. [履歴] までスクロールして、[選択] を押します。
- [履歴] 画面にすべての通話が表示されます。
3. [削除] を押します。
 4. 電話機に確認のメッセージが表示されたら、次のいずれかを選択します。
 - [削除] : すべてのエントリを削除します。
 - [キャンセル] : キャンセルして前のメニューに戻ります。

第 12 章: 会議通話

アクティブな通話に相手を追加する

このタスクについて

参加者をアクティブな通話に追加して、会議通話を設定できます。

前提条件

通話を開始します。

手順

1. 通話中に、[電話] 画面で [次へ] > [会議] を押します。
対応中の通話が保留されます。
2. 参加者に発信するには、次のいずれかの操作を行います。
 - ダイヤルパッドを使用して内線番号をダイヤルします。
 - [連絡先] リストまたは [履歴] リストから相手に電話をかけます。
3. 3 番目の参加者が通話に応答したら、[参加] ソフトキーを押します。
4. 他の参加者を追加する場合は、[追加] を押して、手順 2 と 3 を繰り返します。

保留中の相手を会議通話に追加する

このタスクについて

保留中の通話を会議通話に追加できます。

手順

1. [電話] 画面で、アクティブな通話を選択します。
2. [会議] を押すか、すでに会議中の場合は [追加] ボタンを押します。
3. 保留中通話のリストを表示するには、[保留中] ソフトキーを押します。
4. 会議に追加する保留通話を選択します。
5. 以下のいずれかを押します。
 - [参加]
 - [OK]

保留通話が会議通話に追加されます。

会議通話を保留および再開する

このタスクについて

この手順を使用して、会議参加者を保留し、その他の参加者の会議通話を続行します。

手順

1. 会議通話中に、[保留] ソフトキーを押します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - [再開] を押します。
 - コールアピランスを選択して、会議通話を再開します。

会議通話から最後の参加者をドロップまたは切断する

このタスクについて

管理者が行った設定に応じて、会議通話に参加した最後の参加者を切断できます。最後の参加者の接続を切断した後、他の参加者の接続を切断することはできません。別の参加者を会議通話に追加すると、再度参加者の接続を切断できるようになります。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. 電話画面から、アクティブな会議通話を選択します。
[次へ] ソフトキーが表示されます。
2. 会議がアクティブになったら、[次へ] > [切断] を押します。

結果

最後に追加された参加者が、会議から切断されます。

関連リンク

[保留なしの会議に参加者を追加する](#) (78 ページ)

会議の詳細を表示する

このタスクについて

この手順を使用して、会議通話の参加者の詳細を表示します。

表示できない場合は、内線番号が設定されているサーバーに問題がある可能性があります。システム管理者にお問い合わせください。

手順

1. [電話] 画面で、アクティブな通話を選択します。

2. [会議] ソフトキーを押します。
3. 以下のいずれかを行います。
 - 電話番号をダイヤルします。
 - [連絡先] リストから電話をかけます。
 - [履歴] リストから電話をかけます。
4. 相手が応答したら、[参加] または [OK] を押して、相手を既存の通話に追加します。
5. [追加] を押し、この手順を繰り返して会議に別の参加者を追加します。
6. [詳細] ボタンを押すと、参加者の詳細にアクセスできます。

保留なしの会議

保留なしの会議機能を使用すると、進行中の会話を続行しながら、通話に参加者を追加できます。保留なしの会議機能を使用すると、通話参加者を保留にすることなく会議通話を作成できます。

たとえば、管理された [保留なしの会議] ボタンを押して内線番号をダイヤルすると、通話に応答した参加者が保留なしの会議に追加されます。

[保留なしの会議] ボタンを使用すると、その他の参加者を保留なしの会議に追加できます。

管理者はシステムマネージャで 1 件の番号のみを事前設定できます。[保留なしの会議] ボタンを押すと、参加者が通話に応答したときに事前設定した番号に通話が接続され、保留なしの会議に参加します。

参加者が設定されたタイムアウト時間内に通話に応答しない場合、Avaya J100 シリーズ IP 電話機では電話画面に該当するメッセージが表示されます。

関連リンク

[保留なしの会議に参加者を追加する](#) (78 ページ)

保留なしの会議に参加者を追加する

このタスクについて

会話を中断なく続行しながら、通話に参加者を追加できます。保留なしの会議通話には最大 6 名の参加者を追加できます。

前提条件

管理者が保留なしの会議機能と機能ターゲットの選択を有効にしていることを確認します。

通話中であることを確認します。

手順

1. 通話中に、電話画面で [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [保留なしの会議] を押します。
[転送先を選択] ダイアログボックスが表示されます。

3. 次のいずれかの方法を使用して、ユーザーを保留なしの会議に追加できます。
- 内線番号が管理者によって事前に設定されている場合は、[選択] を押します。
 - 内線番号が事前に設定されていない場合は、[ダイヤル] ソフトキーを押してダイヤルパッドを使用して手動で内線番号を入力し、[OK] を押します。
 - [連絡先]、[履歴]、[電話] ボタンを押して、リストから番号を選択します。
 - [ブラウザ] ソフトキーを押して、ブラウザアプリケーションから転送先番号を選択します。
 - [自動ダイヤル]、[話中表示]、[チーム] ラインキーを押して、転送先の番号を選択します。

保留なしの会議機能が有効になります。

4. 既存の保留なしの会議にその他の参加者を追加するには、手順 2 と 3 を繰り返します。

*** 注**

[キャンセル] ソフトキーを押すと保留なしの会議を終了できます。

5. 手動でダイヤルする場合は、[Enter] または [OK] を押して機能を有効にします。

関連リンク

[保留なしの会議](#) (78 ページ)

[会議通話から最後の参加者をドロップまたは切断する](#) (77 ページ)

[機能ターゲットを使用して転送先番号を選択する](#) (98 ページ)

[マルチデバイスアクセスアクセスを使用して通話と会議を処理する](#) (113 ページ)

[マルチデバイスアクセス](#) (113 ページ)

第 13 章: チームボタンと話中表示

チームボタン

管理者が電話機のチームボタン機能を設定している場合は、次を実行できます。

- 他の電話機を監視して、通話が他の電話機にリダイレクトされているかどうかを確認する。
- 他の電話機を監視して、その電話機にアクティブな通話があるかどうかを確認する。
- モニター対象電話機で呼び出されている通話に応答する。

チームボタンソフトキーを使用すると、次を実行できます。

- モニター対象電話機にスピードダイヤル通話を発信する。モニター対象電話機が使用されていない場合にこの操作を実行できます。
- アクティブな通話をモニター対象電話機に転送する。

コールリダイレクト機能、離席機能、不在転送、ECF は、監視対象の電話機でアクティブになることがあります。モニター対象電話機にスピードダイヤルまたはアクティブな通話の転送を行うときは、モニター実施電話機でコールリダイレクトを上書きできます。オーバーライド機能では、モニター対象電話機に発信されたコールは、必ずモニター対象電話機に着信し、リダイレクトされた番号にルートされることはありません。

コールリダイレクトをオーバーライドするには、管理者が Avaya Aura® Session Manager で次を設定している必要があります。

- モニター実施電話機が、コールリダイレクトを直接またはユーザーに提供される選択肢を通じて、上書きできるようにする、モニター対象電話機の設定。
- モニター実施電話機が、モニター対象電話機でアクティブになっているコールリダイレクト機能を上書きできるようにする、モニター実施電話機の設定。

Avaya Aura® Session Manager でのオーバーライドアクセス権限の設定に関する詳細については、『*Administering Avaya Aura® System Manager*』を参照してください。

関連リンク

[モニター中の内線番号でアクティブ通話に応答する](#) (81 ページ)

[電話機の状態を表示する](#) (81 ページ)

[モニタ中の内線番号にスピードダイヤルする](#) (81 ページ)

[モニター対象電話に通話を転送する](#) (82 ページ)

[他の内線を一括で監視する](#) (82 ページ)

[チームボタンアイコンと LED ステータス](#) (83 ページ)

モニター中の内線番号でアクティブ通話に応答する

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. スクロールして、着信に応答するためのモニター中の内線番号を選択します。
4. [選択] を押します。

関連リンク

[チームボタン](#) (80 ページ)

電話機の状態を表示する

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. スクロールして監視対象の内線番号の状態を表示します。

チームボタン画面は、画面が閉じられるまで、アクティブな状態のままです。

関連リンク

[チームボタン](#) (80 ページ)

モニタ中の内線番号にスピードダイヤルする

このタスクについて

このタスクを使用して、モニター対象電話機に発信します。モニター対象電話機にアクティブな通話リダイレクト機能が設定されており、ユーザーがこの機能をオーバーライドできる場合、モニター対象電話機で 30 秒間着信音が鳴ります。この時間内にコールに応答しないと、コールはリダイレクト番号にリダイレクトされます。

前提条件

発信先となるモニター対象電話機がアイドル状態になっていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. スクロールして、発信先のモニター対象電話機を選択します。
4. [選択] を 2 回押します。

モニター中の内線番号に電話がかかります。

関連リンク

[チームボタン](#) (80 ページ)

モニター対象電話に通話を転送する

このタスクについて

この手順を使用して、モニター対象電話にアクティブな通話を転送します。

前提条件

通話中である必要があります。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. アクティブな通話に転送するモニター対象電話をスクロールして選択し、[選択] を押します。

アクティブな通話は保留にされ、モニター対象電話が呼び出されます。

4. 転送を完了するには、以下のいずれかの操作を実行します。

- [完了] ソフトキーを押します。
- ハンドセットをオンフックにします。
- [スピーカー] ボタンを押します。
- [いますぐ] ソフトキーを押します。
- [通話] ソフトキーを押します。

関連リンク

[チームボタン](#) (80 ページ)

他の内線を一括で監視する

このタスクについて

この手順を使用して、他の電話機を監視します。内線番号がアイドル状態または話中かどうかを一目で確認できます。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [システム番号] までスクロールします。
4. 必要に応じて、確認したい内線のラインボタンまでスクロールします。
5. 対象の内線が使用中の場合、電話機の内線番号の横に [ビジー] が表示されます。

関連リンク

[チームボタン](#) (80 ページ)

チームボタンアイコンと LED ステータス

次の表は、Avaya J139 IP 電話機 のチームボタンアイコンと LED 通知を示しています。

状態	チームボタンの電話アイコン	ラインキーの赤の LED	ラインキーの緑の LED
待機		オフ	オン
話中		オン	オフ

電話の LED ステータスをチームボタンアイコンと同期させたくない場合は、管理者に連絡してください。

関連リンク

[チームボタン](#) (80 ページ)

話中表示

話中表示機能では、次を行うことができます。

- ネットワーク内の他のユーザーのステータスを表示する
- 監視対象のユーザーへの通話を開始する
- 話中表示ラインキーを使用して通話をすばやく転送する
- 監視対象のユーザーとの会議通話を設定する

話中表示ラインキーの横にあるアイコンは、監視対象のユーザーの現在のステータスを示します。監視対象のユーザーは、別の通話でアイドル状態または話中になります。話中表示ラインキーの LED インジケータには、ユーザーのステータスも表示されます。

話中表示ラインキーには、カスタマイズラベルとその後に内線番号が表示されるか、電話管理者が設定したカスタマイズラベルのみが表示されます。

話中表示ラインキーをカスタマイズするには、[電話キーのカスタマイズ] メニューから話中表示ラインキーのラベルを変更したり、移動したりできます。ただし、電話機に設定されている話中表示キーを追加または削除することはできません。話中表示ラインキーを追加する、または既存のキーを削除する場合は、システム管理者に連絡してください。

監視対象のユーザー

状態が監視されているユーザー。

関連リンク

[監視対象のユーザーに発信する](#) (84 ページ)

[モニター中のユーザーと会議通話を行う](#) (84 ページ)

[監視対象のユーザーに通話を転送する](#) (84 ページ)

[監視対象のユーザーをブラインド転送する](#) (84 ページ)

[監視対象のユーザーに仲介転送を行う](#) (85 ページ)

[話中表示アイコンと LED ステータス](#) (85 ページ)

監視対象のユーザーに発信する

このタスクについて

監視対象のユーザーへの通話を開始できます。例えば、すぐに指示を出す場合は、監視対象のユーザーに直接電話をかけることができます。

手順

以下のいずれかを行います。

- [電話] 画面で、該当する話中表示ラインまでスクロールして、[発信] を押します。
- 該当する話中表示ラインキーを押します。

関連リンク

[話中表示](#) (83 ページ)

モニター中のユーザーと会議通話を行う

このタスクについて

この手順を使用してモニター中のユーザーをアクティブな通話に追加して、会議通話を設定します。

手順

1. 通話中に、[次へ] > [会議] を押します。
電話で通話が保留され、参加者を選択という通知が表示されます。
2. [電話] キーを押します。
3. 以下のいずれかを行います。
 - 該当する話中表示ラインまでスクロールして、[発信] を押します。
 - 該当する話中表示ラインキーを押します。
4. モニター中のユーザーが通話に応答したら、[参加] を押します。

関連リンク

[話中表示](#) (83 ページ)

監視対象のユーザーに通話を転送する

進行中の通話は話中表示ラインでユーザーに転送できます。この転送は、電話の内線への着信転送と同様に管理されます。

通話は即時転送（ブラインド転送）するか、モニター中のユーザーへの相談通話（仲介転送）後に転送できます。

関連リンク

[話中表示](#) (83 ページ)

監視対象のユーザーをブラインド転送する

このタスクについて

この手順を使用して、監視対象のユーザーにアクティブな通話を即時転送します。

手順

1. 通話中に「転送」を押します。
 2. 以下のいずれかを行います。
 - 通話を転送するユーザーに対応する話中表示ラインキーを押します。
 - 「電話」キーを押して、該当する話中表示ラインまでスクロールして、「選択」を押します。

いますぐ転送しますか、または「BI 転送番号」と通話しますかウィンドウが表示されます。
 3. 「今すぐ実行」を押します。
- 通話が監視対象の回線に転送されます。

関連リンク

[話中表示](#) (83 ページ)

監視対象のユーザーに仲介転送を行う

このタスクについて

この手順を使用して、まず監視対象のユーザーと会話してから、アクティブな通話をこのユーザーに転送します。

手順

1. 通話中に「転送」を押します。
 2. 以下のいずれかを行います。
 - 通話を転送するユーザーに対応する話中表示ラインキーを押します。
 - 「電話」キーを押して、該当する話中表示ラインまでスクロールして、「選択」を押します。

いますぐ転送しますか、または「BI 転送番号」と通話しますかウィンドウが表示されます。
 3. 「通話」を押します。
- 既存の通話が保留され、監視対象のユーザーへの通話が確立されます。
4. 相談通話を終了して保留通話を転送するには、「完了」を押します。

関連リンク

[話中表示](#) (83 ページ)

話中表示アイコンと LED ステータス

話中表示アイコンは、プレゼンスの「応答可能」アイコンと「通話中」アイコンと似ています。次の表は、Avaya J139 IP 電話機の話中表示アイコンと LED 通知を示しています。

状態	話中表示の電話アイコン	ラインキーの赤の LED	ラインキーの緑の LED
待機		オフ	オン
話中		オン	オフ

電話の LED ステータスを話中表示アイコンと同期させたくない場合は、管理者に連絡してください。

関連リンク

[話中表示](#) (83 ページ)

第 14 章: カレンダーと Avaya Spaces

カレンダー

カレンダー機能を使用すると、電話機で Microsoft® Exchange Server カレンダーにアクセスできます。会議や予定の通知を表示および設定することもできます。

Exchange カレンダーをアクティブにすると、予定が開始時間順に表示され、会議時間が過ぎると削除されます。電話にログインしたり、カレンダー設定を変更したり、カレンダーにアクセスしたりすると、常にカレンダー情報が更新されます。

カレンダーにアクセスする

このタスクについて

この手順を使用して、電話でカレンダーを開きます。

前提条件

管理者が電話機の [Exchange 資格情報] をアクティブにしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [カレンダー] までスクロールして、[選択] を押します。

カレンダーに最初にアクセスすると、Microsoft® Exchange Server にアクセスするための [Exchange 資格情報] 画面が表示されます。

Microsoft® Exchange Server カレンダーを設定する

前提条件

- 管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。
- 管理者から次の詳細情報を入手します。
 - ユーザー名
 - パスワード
 - ドメイン名

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。

3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [Exchange 資格情報] までスクロールして、[選択] を押します。
5. (オプション) [切り替え] を押して、[OAuth] 認証方式と [基本] 認証方式を切り替えます。
 - 認証方法が [OAuth] の場合は、[接続] を押します。

電話画面にデバイス検証 QR コードとユーザーコードが表示されます。

 - モバイルデバイスを使用して QR コードをスキャンし、プロンプトが表示されたらユーザーコードを入力します。
 - [リンク] を押して検証 URL とユーザーコードを生成し、コンピュータブラウザでデバイスを検証します。
 - Microsoft® アプリケーションのプロンプトに従います。
 - 認証方法が [基本] の場合、認証画面で次の詳細を入力します。
 - [Exchange ユーザー名] : 電子メールアドレスを入力します。
 - [Exchange パスワード] : パスワードを入力します。
 - [Exchange ドメイン] : avaya.com などのドメイン名を入力します。
 - カレンダーアプリケーションにアクセスするたびにプロンプトを表示する [名前/パスワードプロンプト] を選択するには、[切り替え] を押します。
 - [保存] を押します。

結果

認証が成功すると、Microsoft® Exchange アカウントのカレンダーと連絡先が電話に同期されます。

カレンダーイベントを確認する

このタスクについて

この手順を使用して、カレンダーの予定を表示します。[Exchange カレンダーを有効にする] および [アラームを有効にする] オプションを [はい] に設定すると、予定されているカレンダーの予定のポップアップ通知を受け取ることができます。

前提条件

電話機に Microsoft® Exchange が設定されていることを確認してください。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [カレンダー] までスクロールして、[選択] を押します。

予定は開始時間の順で電話機に表示されます。
4. ある予定から別の予定にスクロールするには、次のいずれかを押します。
 - [上矢印] キー。

- [下矢印] キー。
5. カレンダーイベントを選択し、次のいずれかを押します。
- [発信] : 予定内の使用可能な内線番号に発信します。
- 予定の場所に Avaya Spaces URL があり、電話で Avaya Spaces 機能がアクティブな状態の場合、Avaya Spaces でホストされている通話に参加できます。
- [通話] を押すと会議にダイヤルされ、ユーザーが入力を行わなくても該当する Space ID とオプションの Space パスワードが自動的に入力されます。
- [詳細] : カレンダーイベントの詳細を表示します。
- 電話がカレンダーイベントを Avaya Spaces 会議として正常に識別すると、Avaya Space ID が表示されます。
- [月で表示] : [月間カレンダーイベント] 画面を表示します。
 - [終了] : イベント画面を終了します。
6. [月間カレンダーイベント] 画面で、次のいずれかを押します。
- [今日] : 本日のカレンダーイベントを表示します。
 - [日で表示] : 選択した日のカレンダーイベントを表示します。

関連リンク

[Exchange カレンダーを有効/無効にする](#) (130 ページ)

[カレンダーアラームを有効/無効にする](#) (131 ページ)

Avaya Spaces カレンダー統合

Avaya Spaces はクラウドを基盤とするチームコラボレーションおよび会議アプリケーションです。インスタントメッセージ、音声およびビデオ通信、コミュニケーションの追跡、タスクの管理に使用できます。Avaya Spaces の詳細については、『Using Avaya Spaces』ガイドを参照してください。

Avaya Spaces カレンダー統合機能を使用すると、電話のカレンダー予定で [通話] ソフトキーを押して、Avaya Spaces でホストされている会議に参加できます。電話が会議電話番号にダイヤルし、ユーザーが入力を行わなくても Space ID と Space パスワードが自動的に入力されます。

Avaya Spaces カレンダー統合機能は、会議主催者が Avaya Spaces Outlook プラグインを使用している場合に機能するように最適化されています。Outlook プラグインの詳細については、Avaya Spaces ユーザーガイドの Microsoft Outlook アドオンセクションを参照してください。

関連リンク

[ダイレクトダイヤルイン電話番号を使用して Avaya Spaces 会議に参加する](#) (90 ページ)

[Avaya Spaces アプリケーションでオーディオストリームが重複しないようにする](#) (90 ページ)

ダイレクトダイヤルイン電話番号を使用して Avaya Spaces 会議に参加する

このタスクについて

ダイレクトダイヤルイン電話番号を使用して、Avaya Spaces の音声のみの会議に接続できます。ダイレクト番号を使用して会議に参加する場合は、ダイレクト番号のプロンプト機能を有効にします。電話に会議の招待状のダイレクト番号が表示されます。国のダイレクト番号を選択します。国がリストにない場合は、お住まいの地域に当てはまる国のダイレクト電話番号を選択できます。電話が番号をダイヤルし、Space ID とオプションのパスワードを入力して会議に参加します。

前提条件

管理者が Avaya Spaces 機能とオプションを有効にし、ダイレクト番号を選択していることを確認します。

ダイレクト番号のプロンプトオプションを有効にします。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [カレンダー] までスクロールして、[選択] を押します。
予定は開始時間の順で電話機に表示されます。
4. ある予定から別の予定にスクロールするには、次のいずれかを押します。
 - [上矢印] キー。
 - [下矢印] キー。

5. Avaya Spaces カレンダーイベントを選択し、[通話] を押します。

6. [国 > ダイレクト番号を選択] 画面で、次のいずれかを押します。

- [選択] : 選択した国で利用可能なダイレクト番号に発信します。

電話が番号をダイヤルし、Space ID とオプションのパスワードを入力して会議に参加します。

- [国] : 別の国のダイレクト番号を選択します。[ダイレクト番号 > 国を選択] 画面に、選択可能な国のリストが表示されます。
- [詳細] : 選択したダイレクト番号の詳細を表示します。[ダイレクト番号 > 詳細] 画面に情報が表示されます。

関連リンク

[Avaya Spaces カレンダー統合](#) (89 ページ)

[ダイレクト番号のプロンプトを有効または無効にする](#) (126 ページ)

Avaya Spaces アプリケーションでオーディオストリームが重複しないようにする

このタスクについて

スムーズなオーディオエクスペリエンスを実現するには、オーディオストリームが重複しないようにします。Avaya J100 シリーズ IP 電話機 を使用して Avaya Spaces にオーディオセッ

ションを確立し、コンピュータの Avaya Spaces アプリケーションを使用してプレゼンテーションを表示できます。Avaya Spaces アプリケーションでオーディオセッションが重複しないようにするには、この手順を使用します。

手順

1. コンピュータで Avaya Spaces アプリケーションにログオンします。
2. アプリケーション画面で、表示名をクリックします。
3. [ユーザー設定] オプションを選択します。
4. 左側のパネルで、[会議のデフォルト] を選択します。
5. 切り替えて、[参加時にプレビューを表示] を有効にします。
6. コンピュータからスペースで会議に参加します。
7. [プレビュー] 画面で、[その他の参加オプション] > [電話による参加] をクリックします。
8. [プレゼンテーションモードで参加] で、画面の指示に従います。

オーディオおよびビデオセッションを使用せずに、コンピュータで表示のみの参加者として Avaya Spaces 会議に参加します。

オーディオセッションは電話で確立されます。

関連リンク

[Avaya Spaces カレンダー統合](#) (89 ページ)

第 15 章: 拡張機能

[機能] 画面と [アプリケーション] 画面から、電話で利用できる高度な機能にアクセスできます。

機能名の横の LED ランプで、その機能が現在オンであるか、オフであるかが示されます。

LED の状態	機能のステータス
緑	オン
赤	オフ

機能画面にアクセスする

このタスクについて

この手順を使用して、[機能] 画面にアクセスします。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. スクロールして、お使いの内線番号に設定された機能を確認します。

アクティブな通話ショートカットキー

アクティブな通話のショートカットキーを使用すると、通話中に、自動ダイヤル連絡先キーをショートカットとして使用したり、場合によっては、通話を必要な操作を実行したりできます。

これらのキーを押すと、次の操作を実行できます。

- 選択したユーザーにアクティブな通話を即時転送するか、最初にこのユーザーと会話した後で転送する
- 選択したユーザーをアクティブな通話に追加して会議通話を設定する

これらのショートカット操作を設定するには、システム管理者に連絡してください。

ショートカットキーで通話を転送する

このタスクについて

発信者が提供できない情報を求めている場合、自動ダイヤルキー連絡先をショートカットとして使用して、進行中の通話を別のユーザーに転送できます。

* 注

ショートカット操作で使用する実際のキーは、現在の設定によって異なります。

システム管理者が設定した設定によっては、[転送] ソフトキーが押されるとすぐにブラインド転送または仲介転送が実行される場合があります。詳しくは、システム管理者までお問い合わせください。

前提条件

次のことを確認してください。

- 設定されたショートカットが BLF キーの場合、該当するユーザーはアイドル状態になる。
- 管理者が通話転送のキーのショートカット操作を設定している。

手順

1. 通話中に、設定に応じて、[電話] 画面で次のいずれかを実行します。

- 自動ダイヤル、または連絡先のラインキーを押します。
- 該当する自動ダイヤルライン、または連絡先までスクロールして、[転送] を押します。

電話に「いますぐ転送しますか、または [BLF 転送番号] と通話しますか」という確認ウィンドウが表示されます。

2. 以下のいずれかを押します。

- [いますぐ]：選択したユーザーに通話を即時転送します。

ユーザーが通話に応答するまで、電話機に [着信] 画面が表示され、通話の転送先の内線番号が表示されます。

- [通話]：通話を保留にして、最初にユーザーと会話します。

3. (オプション) ユーザーが BLF ショートカットで転送された通話に応答しない場合は、[着信] 画面で次のいずれかを押します。

- [ピックアップ]：電話機で通話に応答します。
- [不応答]：通話を終了します。

ショートカットキーを使用して会議通話を行う

このタスクについて

発信者との会話に他のエージェントを含める必要がある場合は、自動ダイヤルユーザー連絡先をアクティブな通話に追加して、会議通話を設定することができます。

前提条件

次のことを確認してください。

- 設定されたショートカットが BLF キーの場合、該当するユーザーはアイドル状態になる。

- 管理者が会議通話のキーのショートカット操作を設定している。詳しくは、システム管理者までお問い合わせください。

手順

1. 通話中に、設定に応じて、[電話] 画面で次のいずれかを行います。
 - 自動ダイヤル、または連絡先のラインキーを押します。
 - 該当する 自動ダイヤルラインまたは連絡先までスクロールして、[会議] を押します。対応中の通話が保留されます。
2. ユーザーが通話に応答したら、[参加] を押します。

自動コールバック

自動コールバック機能を使用することで、現在応答不可な内線番号に発信すると、内線番号が応答可能になりしだいコールバックが自動的に開始されます。

この機能は、次のコールタイプをサポートしています。

- 発信通話
- 通話の転送
- 会議通話

内線番号が話中、未応答、または到達不能であるために上記の通話のいずれかが失敗した場合、電話画面から [AutoCbck] ソフトキーを押すことができます。電話は着信内線番号のステータスを監視します。内線番号が応答可能になると、コールバックを受信します。

自動コールバックを設定する

このタスクについて

自動コールバック機能は、コールアピランス、機能メニュー、またはお気に入りから設定できます。この機能は、通話が応答されていない場合にのみ使用されます。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

以下のいずれかを行います。

- 通話が呼び出し中かつ未応答のときに自動コールバック機能をアクティブにするには、コールアピランスの [AutoCbck] ソフトキーを押します。
- 機能メニューから自動コールバック機能を有効にするには、[メインメニュー] > [機能] > [自動コールバック] に移動します。
- お気に入りから自動コールバック機能を有効にするには、電話画面から直接、割り当てられたお気に入りボタンを押します。

コールバック通話を終了すると、この機能は自動的に無効になります。

通話中の内線番号表示を防ぐ

このタスクについて

外線発信通話において内線番号を表示するシステム（デフォルト）設定を変更することができません。発番非通知機能を使用して、番号が表示されるのを防ぎます。

前提条件

管理者が機能ターゲットの選択を有効にしていることを確認します。

手順

1. [電話] 画面から、[機能] 画面にアクセスします。
2. [発番非通知] を選択します。
[転送先を選択] ダイアログボックスが表示されます。
3. 次のいずれかの方法で番号を入力します。
 - [ダイヤル] ソフトキーを押してダイヤルパッドを使用し、番号を手動で入力します。
 - [連絡先]、[履歴]、[電話] ボタンを押して、リストから番号を選択します。
 - [ブラウザ] ソフトキーを押して、ブラウザアプリケーションから転送先番号を選択します。
 - [自動ダイヤル]、[話中表示]、[チーム] ラインキーを押して、転送先の番号を選択します。機能が有効になります。
4. (オプション) 機能をキャンセルするには、[キャンセル] ソフトキーを押します。
5. 手動でダイヤルする場合は、[Enter] または [OK] を押すと発信者番号が非通知になります。

関連リンク

[機能ターゲットを使用して転送先番号を選択する](#) (98 ページ)

外線発信通話で内線番号を表示する

このタスクについて

この機能を使用すると、発信者番号非通知機能を使用してブロックした番号をブロック解除できます。発信者番号通知を使用すると、お使いの内線番号を発信先に表示できます。

前提条件

管理者が機能ターゲットの選択を有効にしていることを確認します。

手順

1. [電話] 画面から、[機能] 画面にアクセスします。
2. [発番通知] を選択します。
[転送先を選択] ダイアログボックスが表示されます。

3. 次のいずれかの方法で番号を入力してブロックを解除します。
 - [ダイヤル] ソフトキーを押してダイヤルパッドを使用し、番号を手動で入力します。
 - [連絡先]、[履歴]、[電話] ボタンを押して、リストから番号を選択します。
 - [ブラウザ] ソフトキーを押して、ブラウザアプリケーションから転送先番号を選択します。
 - [自動ダイヤル]、[話中表示]、[チーム] ラインキーを押して、転送先の番号を選択します。機能が有効になります。
4. (オプション) 機能をキャンセルするには、[キャンセル] ソフトキーを押します。
5. 手動でダイヤルする場合は、[Enter] または [OK] を押して発信者番号非通知を停止します。

関連リンク

[機能ターゲットを使用して転送先番号を選択する](#) (98 ページ)

ブリッジコールアピランス

ブリッジコールアピランスは、単一のコールアピランスを通じて通信する複数のユーザー間で共有される、一意の内線番号です。ブリッジアピランスを使用することで、所有者の代わりに通話の発信、受信、参加を行うことができます。ブリッジアピランスでは、受信側の表示画面にブリッジの所有者の ID が表示される場合があります。

ブリッジ回線で電話をかける

このタスクについて

この手順を使用して、別のユーザーのブリッジ回線で電話をかけます。

前提条件

必要なブリッジ回線がアイドルになっていることを確認します。

手順

1. 使用するブリッジ番号のラインキーを押します。
2. ダイヤルパッドを使用して、番号を入力します。

インターディジットタイマーがタイムアウトになると、電話機が通話を開始します。

ブリッジ回線の通話に応答する

このタスクについて

ブリッジ回線から通話を受信すると、[電話] 画面にブリッジの所有者の ID が表示されます。複数のブリッジ通話を受信すると、[電話] 画面で最新のブリッジ通話が強調表示されます。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げます。
 - [スピーカー] を押します。
 - [応答] ソフトキーを押します。
2. (オプション) 複数のブリッジコールアピランスに対応するには、次の操作を行います。
 - a. 応答するブリッジ番号のラインキーを押します。
 - b. 手順 1 を続行します。

ブリッジ回線のコールに参加する

手順

電話機で、次のいずれかを行います。

- 通話中にラインボタンを押します。
- アクティブなブリッジ回線番号を選択して [ブリッジ] を押します。

★ 注

ブリッジ回線で通話に参加する場合は、[ヘッドセット]、[ハンドセット]、[スピーカー] ソフトキーは使用しないでください。[ヘッドセット]、[ハンドセット] または [スピーカー] を押すと、[ダイヤル] 画面が開きます。ダイヤルをキャンセルして、該当するラインボタンを押してその通話に参加するには、[ヘッドセット]、[ハンドセット]、[スピーカー] ソフトキーをもう一度押します。

他の人からのブリッジコールを拒否する

このタスクについて

割込み拒否機能を使用すると、特定の通話へのブリッジコールによる割込みを拒否できます。割込み拒否機能はアクティブな通話時にのみ有効です。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [割込み拒否] までスクロールして次のいずれかを押します。
 - [選択]
 - 対応する回線ボタン

通話中に [割込み拒否] 機能を有効にすると、発信者と通話相手以外のユーザーは通話からドロップされます。

機能ターゲットを使用して転送先番号を選択する

このタスクについて

不在転送、話中転送、不応答転送、優先順位、発信者番号非通知、発信者番号通知などの機能を使用すると、転送先番号を入力するオプションが表示されます。この手順を使用して、番号を手動で入力するのではなく、連絡先、履歴、電話ボタンを使用して転送先番号を選択します。

前提条件

機能ターゲットの選択が管理者によって有効されていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して [機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. スクロールして、お使いの内線番号に設定された機能を確認します。
4. [機能] 画面から機能を有効にします。

転送先番号の入力が必要な機能の場合は、[転送先を選択] ダイアログボックスが表示されます。

5. 次のターゲット選択のいずれかを使用して、転送先番号を選択します。
 - [ダイヤル] ソフトキーを押してダイヤルパッドを使用し、番号を手動で入力します。
 - [連絡先]、[履歴]、[電話] ボタンを押して、リストから番号を選択します。
 - [ブラウザ] ソフトキーを押して、ブラウザアプリケーションから転送先番号を選択します。
 - [自動ダイヤル]、[話中表示]、[チーム] ラインキーを押して、転送先の番号を選択します。

機能画面、電話のメインおよびセカンダリディスプレイを使用して、転送先を選択できます。

6. 転送先ダイアログボックスをキャンセルするには、[キャンセル] ソフトキーを押します。

関連リンク

[優先通話をかける](#) (45 ページ)

[通話を別の内線番号に転送する](#) (68 ページ)

[保留なしの会議に参加者を追加する](#) (78 ページ)

[外線発信通話で内線番号を表示する](#) (95 ページ)

[通話中の内線番号表示を防ぐ](#) (95 ページ)

着信通話のブロック

管理者が着信通話のブロック機能を有効にしている場合、および電話機がロックされている場合、着信通話に応答することはできません。電話機は次のように動作します。

- 着信通話ポップアップを電話ディスプレイに表示せずに、アラートトーンを再生し、ビーコン LED を点滅させて着信通話を示します。
- 任意のカスタム着信音を汎用着信音にデフォルトで設定します。
- [履歴] アプリケーションで不在着信を記録し、不在着信アイコンでマークします。

緊急番号にダイヤルした場合、プライマリ、ブリッジ、共有コールアピランスボタンの着信には、発信者の詳細が表示されません。

電話のロックを解除すると、着信ポップアップに発信者の詳細が表示され、通常どおり通話に応答できます。

電話がロックされているときに着信通話を処理する

このタスクについて

管理者が着信通話のブロック機能を有効にすると、電話がロックされている場合、着信通話が制限されます。電話がロックされている間は通話に応答できません。電話に関連メッセージが表示されます。

前提条件

電話がロックされていることを確認します。

管理者が着信通話のブロック機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. 電話画面に次のメッセージが表示されます：
この電話機は緊急通報にのみ使用可能です。
2. アラートトーンとビーコン LED がフラッシュして着信通話を示した場合、次のいずれかの操作を行います。
 - ハンドセットを持ち上げます。
 - [スピーカー] を押します。
 - [ヘッドセット] を押します。

電話には、発信者の詳細は表示されず、電話がロックされましたというダイアログボックスが表示されます。

注

電話がロックされている場合、着信中に音量ボタンを押すと、通話は無視されます。もう一度押すと、アラート音量インジケータが表示され、アラート音量が再生され、調整または保存されます。ユーザーが電話をロック解除した後も、電話の音量は以前に設定した音量には戻されません。

コールパーク

コールパーク機能を使用すると、内線番号からアクティブな通話を保留にし、別の内線番号から通話を取得できます。部門間の通話転送や、現在の通話を中断して別の内線番号から通話を続行する必要がある場合など、複数のシナリオでコールパークを使用します。管理者は Avaya Aura® Communication Manager で内線番号のコールパークをアクティブにする必要があります。通話を取得するには、管理者は他の内線番号でのパーク解除をアクティブにする必要があります。

管理者はオプションで、パーキングロットをコールパークの転送先として設定できます。通話をパークする内線番号の機能ボタンに、パーキングロットの内線番号が表示されます。ユーザーは、パーク通話のパーキングロットの内線番号をダイヤルして通話を取得できます。

通話をパークする

このタスクについて

コールパークを使用して、電話の内線番号からアクティブな通話をパークします。

前提条件

管理者に連絡して、内線番号でコールパークをアクティブにします。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [選択] を押します。
3. [コールパーク] までスクロールして、[選択] を押します。

サーバー設定に応じて、機能 LED に次のいずれかのインジケータが表示できます。

- 緑色の LED が点灯し、コールパークが完了したことを示します。緑色の LED は、通話がパーク解除されるか、通話が戻されるまで点灯したままになります。
- 管理者がパーキングロット表示タイマーを設定すると、緑色の LED が点灯し、コールパーク機能ボタンに特定の時間パーキングロットの内線番号が表示されます。この時間が経過すると、コールパークボタンはパークで使えるようになります。

次のステップ

パーク解除を使用して別の内線番号から通話を取得します。設定された時間内にパーク解除されない場合、パーキングロットは通話をパーク内線番号に戻します。

通話をパーク解除する

このタスクについて

パーク解除を使用してパーク通話を取得します。

前提条件

管理者に連絡して、内線番号でパーク解除をアクティブにします。コールをパークする内線番号を取得します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [選択] を押します。

3. [パーク解除] までスクロールして、[選択] を押します。
4. 内線番号を入力して [選択] を押します。

通話が再開され、パーク内線番号のコールパーク LED がオフになります。

コールピックアップ

コールピックアップ機能を使用すると、ピックアップグループのメンバーの代わりに、着信に応答できます。ユーザーがグループメンバーの着信を自分の電話機にリダイレクトできるようにするには、管理者はそのユーザーを、コールピックアップグループの内線番号に追加する必要があります。コールピックアップ機能が電話機で有効化されている場合、お使いの電話機のコールアピランスラインにグループメンバーの着信が表示されます。

Avaya J100 シリーズ IP 電話機 では Avaya Aura® Communication Manager での 3 つのコールピックアップの方法がサポートされます。

管理者が内線番号にコールピックアップ機能を設定していることを確認します。

コールピックアップ機能がアクティブになっている場合、Avaya Aura® Communication Manager では、関連付けられたグループの着信通話を自動的に検出して、通話を接続します。

関連リンク

[着信通話](#) (34 ページ)

[コールピックアップグループメンバーの通話に応答する](#) (36 ページ)

[同じコールピックアップグループの通話に応答する](#) (37 ページ)

[内線番号を使用して通話に応答する](#) (37 ページ)

コールピックアップグループメンバーの通話に応答する

このタスクについて

コールピックアップ機能を使用すると、別のコールピックアップグループのメンバーの代わりに、着信に応答できます。この手順を使用して、グループメンバーの通話に応答します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [コールピックアップ] までスクロールして、[選択] を押します。
4. 通話に応答するには、次のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げます。
 - [応答] を押します。
 - [OK] を押します。
 - [スピーカー] を押します。

関連リンク

[コールピックアップ](#) (36 ページ)

同じコールピックアップグループの通話に応答する

このタスクについて

コールピックアップ機能を使用すると、ピックアップグループのメンバーの代わりに、着信に応答できます。同じコールピックアップグループの通話に応答するには、この手順を使用します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [拡張コールピックアップ] までスクロールして、[選択] を押します。
4. 同じピックアップグループの通話に応答するには、呼び出し中の電話の内線番号を入力します。
5. [Enter] キーを押します。

関連リンク

[コールピックアップ](#) (36 ページ)

内線番号を使用して通話に応答する

このタスクについて

コールピックアップ機能を使用すると、ピックアップグループのメンバーの代わりに、着信に応答できます。内線番号を使用して別のピックアップグループの通話に応答するには、この手順を使用します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. [指定コールピックアップ] までスクロールして、[選択] を押します。
4. 別のピックアップグループの通話に応答するには、呼び出し中の電話の内線番号をダイヤルします。
5. [Enter] キーを押します。

関連リンク

[コールピックアップ](#) (36 ページ)

通話転送

通話転送機能では、通話を別の転送先番号に転送できます。

要件に応じて、管理者が通話転送タイプを設定します。通話転送の種類は次のとおりです。

- 打ち合わせ付き転送：通話を転送する受信者に接続して通話を転送します。
- ブラインド転送：通話を転送する受信者に接続しないで通話を転送します。

打ち合わせ付き転送を行う

このタスクについて

転送先の受信者と通話を接続して通話を転送します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. アクティブな通話中に、[転送] ソフトキーを押します。
電話に [転送先を選択] ダイアログボックスが表示されます。
最初の通話が保留されます。
2. 次のいずれかを実行してから [通話] ソフトキーを押します。
 - 通話を転送する番号をダイヤルします。
 - [連絡先] または [履歴] で番号を検索します。
 - [チーム] ラインキーを押して、設定したチームボタンに通話を転送します。
ターゲット選択として使用するチームボタンを設定する必要があります。
3. 打ち合わせ付き転送を開始するには、[通話] を押します。
通話転送の受信者の電話が鳴り始めます。
4. 以下のいずれかを行います。
 - 受信者が通話に応答したら [完了] を押します。
通話転送が完了します。これは着信仲介転送とも通話されます。
 - 受信者の番号で着信音が鳴り始めたら [完了] を押します。
通話転送が完了します。これは着信ブランド転送とも通話されます。

ブラインド転送を行う

このタスクについて

この手順を使用して転送先の受信者に通話を接続せずにアクティブな通話を転送します。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. 通話中に、[転送] を押します。
電話機に「転送先を入力」画面が表示されます。
2. 次のいずれかを実行してから「通話」ソフトキーを押します。
 - 転送する通話の番号をダイヤルします。
 - [連絡先] または [履歴] リストで番号を検索します。
3. ブラインド転送を開始するには、[いますぐ] を押します。
通話転送が完了します。

危機アラート電話機

表 1: 危機アラートの参加者

参加者	説明
緊急通話発信者	緊急通話番号に発信する組織内のユーザー。
危機アラート監視者	緊急通話番号への発信直後にアラート通知を受け取る組織内のユーザー。

危機アラート電話機

緊急アラート電話機では、緊急通話発信者が緊急通話番号に発信すると、すべての緊急アラート監視者がこれに関する通知を受信するため、すぐに発信者からの警告に対処できます。システム管理者は、危機アラート監視者を割り当てます。

危機アラート中、危機アラート監視者は次のタイプの通知を受信します。

- 危機アラート表示：ポップアップ画面に、緊急通話発信者の名前と発信元の内線番号が表示されます。画面は監視者が確認するまで表示されます。
- 音声通知：監視者が確認するまで、通知音が継続的に再生されます。
- 着信通知：緑色の機能 LED が点滅します。

システム管理者は、危機アラート機能を設定します。機能の設定に応じて、危機アラート監視者は、次のいずれかのモードで危機アラート通知を受信します。

- シングルユーザーモード：いずれかの危機アラート監視者が緊急事態を確認すると、その他の危機監視者の IP 電話機への通知が停止します。
- すべてのユーザーモード：各危機アラート監視者が通知されている緊急事態を確認すると、それぞれの IP 電話機で通知が停止します。

危機アラートを確認する

このタスクについて

危機アラート監視者として、電話機で次の通知を受け取ったときに危機アラートを確認できます。

- 警告トーン

- LED の点滅
- 画面に緊急通話発信者情報が表示される。

この機能がシングルユーザーモードで設定されている場合、アラートを確認すると、他の監視者の IP 電話機のアラートが停止します。

同じ手順を使用して、電話がロックされている場合でも危機アラートを確認できます。

前提条件

システム管理者によって危機アラート監視者に指定されていることを確認してください。

手順

1. 電話画面に緊急通話発信者の名前と内線番号が表示されます。
2. [OK] を押します。
3. 電話画面に緊急通話発信者の詳細が表示されます。

現在の通知の詳細が表示されている間に新しい危機アラートが発生した場合、電話機で再度通知音が再生されます。新しい危機アラートの詳細を表示するには、[戻る] を押します。

緊急通話発信者情報

[電話] 画面に次の緊急通話発信者の詳細が表示されます。

フィールド	説明
[内線]	緊急通話発信者の内線番号。
Avaya Aura® Communication Manager にこの情報がある場合にのみ、次のフィールドに詳細が表示されます。	
[ユーザー名]	緊急通話発信者の名前。
[日付]	緊急事態の発生日。
[時刻]	緊急事態の発生時間。
[ゾーン]	緊急事態の発生地域。
[緊急時ユーザールーム]	緊急通話が発信された部屋。
[緊急時ユーザーフロア]	緊急通話が発信された階。
[緊急時ユーザービルディング]	緊急通話が発信された建物。

危機アラートを停止する

このタスクについて

危機アラート中、電話機で通知音が再生され、LED が点滅して、画面に緊急通話発信者の情報が表示されます。危機アラート監視者として、すべてのユーザーモードで、電話機のアラートを停止する必要があります。シングルユーザーモードでは、他の危機アラート監視者の 1 人があなたが停止する前にアラートを停止した場合、お使いの電話機でアラートが停止します。

前提条件

システム管理者によってあなたが危機アラート監視者の 1 人に指定されていることを確認します。

- 危機アラート表示 : [OK] ソフトキーを押すとアラート表示が停止します。

- 音声通知：危機アラート表示になっている場合は、[OK] ソフトキーを押し、それ以外の場合は、危機アラート機能のラインキーを押すと音声通知が停止します。
- 着信通知：危機アラート機能のラインキーを押すと LED の点滅が停止します。

最初の確認でのエラー発生後に危機アラートを確認する

このタスクについて

いくつかの技術的な問題により、確認プロセスでエラーが発生した場合、通知音の再生が続行している間、電話機にエラーメッセージが表示されます。このアラートを再度確認できます。

前提条件

システム管理者によって危機アラート監視者に指定されていることを確認してください。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [選択] を押します。
3. [危機アラート] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [電話] 画面に緊急通話発信者の詳細が表示されます。

現在の通知の詳細が表示されている間に新しい危機アラートが発生した場合、電話機で再度通知音が再生されます。新しい危機アラートの詳細を表示するには、[戻る] を押します。

ハントグループビジー

ハントグループビジー機能を使用して、ハントグループに固有の通話をオプトインまたはオプトアウトできます。ハントグループは類似する通話タイプを利用するユーザーのグループです。ユーザーは複数のハントグループに参加できます。

[機能] 画面に [ハントグループビジー] ボタンが表示されます。各 [ハントグループビジー] ボタンは特定のハントグループに対応しています。[ハントグループビジー] ボタンラベルには、各グループに固有の 4 桁のインデックスが付いています。

ハントグループビジーの使用

このタスクについて

[ハントグループビジー] ボタンを [機能] 画面で使用すると、特定のハントグループからの着信を管理できます。電話管理者は、電話でハントグループビジー LED 状態を設定できます。

前提条件

電話管理者がハントグループビジー LED 状態を有効にしていることを確認します。

注

電話管理者がハントグループビジー LED 状態を無効にすると、LED の動作が逆転します。機能を有効にすると緑色の LED が点灯し、機能を無効にすると赤色の LED が点灯します。

手順

1. 特定のハントグループからの着信を停止するには、該当する [ハントグループビジー] ボタンを押します。
[ハントグループビジー] ボタンを有効にすると、赤色の LED が点灯します。
2. 特定のハントグループのハントグループビジー機能をオフにして着信を開始するには、該当する [ハントグループビジー] ボタンを押します。
[ハントグループビジー] ボタンをオフにすると、緑色の LED が点灯します。

ウィスパーページで通話に割り込む

このタスクについて

この手順を使用して、別の内線番号の通話で通話中のユーザーにアナウンスします。連絡されたユーザーのみがアナウンスを聞くことができます。

前提条件

管理者がお使いの電話のウィスパー機能と機能ターゲットの選択を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
 2. [選択] を押します。
 3. [ウィスパーページ] までスクロールして、[選択] を押します。
[転送先を選択] ダイアログボックスが表示されます。
 4. 次のいずれかの方法で番号を入力します。
 - [ダイヤル] ソフトキーを押してダイヤルパッドを使用し、番号を手動で入力します。
 - [連絡先]、[履歴]、[電話] ボタンを押して、リストから番号を選択します。
 - [ブラウザ] ソフトキーを押して、ブラウザアプリケーションから転送先番号を選択します。
 - [自動ダイヤル]、[話中表示]、[チーム] ラインキーを押して、転送先の番号を選択します。
- ウィスパー機能が有効になります。
5. (オプション) 機能をキャンセルするには、[キャンセル] ソフトキーを押します。
 6. 手動でダイヤルする場合は、[Enter] を押して機能を有効にします。
 7. コールが受信されると、メッセージが送信されます。

例

現在、ユーザー A、B、C と通話していますが、ユーザー A に対して緊急メッセージがあります。[ウィスパーページ] 機能を使用してメッセージをユーザー A の内線番号に送信すると、3 人のユーザーすべてにそのページを通知する発信音が聞こえますが、メッセージはユーザー A にのみ聞こえます。

インターコム

インターコム機能を使用すると、定義済みインターコムグループの別のユーザーに発信できます。インターコム通話では、ダイヤルおよび自動インターコム機能を使用できます。電話管理者がインターコムグループと内線番号コードを設定します。

ダイヤルインターコム

同じインターコムグループのユーザーに発信できます。電話管理者がインターコムグループと番号コードを設定します。

自動インターコム

同じインターコムグループで 1 つの定義済み番号に発信できます。電話管理者が必要な発信先の内線番号を設定します。

自動インターコム

自動インターコム機能を使用すると、同じインターコムグループで 1 つの定義済み番号に発信できます。電話管理者が必要な内線番号を設定します。

発信元と発信先の電話内線番号に、互いに発信できる一致する自動インターコムボタンがある場合、電話に次のビジュアル表示が表示されます。

- 発信元の電話：発信インターコム通話では、通話が終了するまで機能ラインの緑色の LED ボタンがオンになります。
- 発信先の電話：着信インターコム通話では、通話に回答するまで、電話のビーコン LED と機能ラインの緑色の LED ボタンが点滅します。通話に回答すると、ビーコン LED がオフになり、通話が終了するまで緑色の LED がオンになります。

複数の自動インターコム通話を同時に受信できます。インターコム通話ですでに通話しているときにインターコム通話を受信した場合、新しい通話に回答すると、既存のインターコム通話が保留されます。最初のインターコム通話のコールアピアランス回線を押すと、保留通話が再開します。

自動インターコム通話の自動応答

自動インターコム通話の自動応答機能では、電話は自動的に着信インターコム通話に回答します。ユーザー操作なしで、発信者の音声を聞き会話できます。

自動ミュート機能を使用すると、電話からの発信音声を自動応答通話に制限できます。インターコム通話が自動応答されると、電話は自動的にミュートされます。ミュートボタンを押すと、通話のミュートを解除して発信者と会話できます。

自動応答、自動インターコム通話、自動ミュート機能を有効にするには、管理者に連絡してください。

自動応答および自動ミュート通話の通話ログ

管理者は、自動応答の自動ミュート通話を次のいずれかのユーザー操作で応答として記録するように電話を設定できます。

- 通話中にミュートボタンを押すと、通話が応答済みとして記録される。
通話中にミュートボタンを押さずに、発信者が通話を終了するか、通話が切断されると、電話は通話を不在着信として記録します。
- 通話中に電話のキーを押すと、通話が応答済みとして記録される。

通話中にキーを押さずに、発信者が通話を終了するか、通話が切断されると、電話は通話を不在着信として記録する。

自動応答インターコム通話の通話ログ設定については、管理者にお問い合わせください。

★ 注

オフライン通話ログが電話でアクティブになっている場合、次の場合に、不在着信のインターコム通話が応答通話に変換されます。

- 同じユーザー資格情報で新しいデバイスにログインする場合。
- ログアウトし、同じユーザー資格情報で再度ログインする場合。
- 電話が再起動した場合。
- 電話に「サービスを取得中」画面が表示されている場合。
- 管理者が既存の MDA ユーザーアカウントに新しい MDA デバイスを追加する場合。

通知

通話中は、通話が終了するまで、発信元と発信先の電話の機能ライン LED は緑色になります。

不在着信のインターコム通話では、電話の「履歴」ボタンが点灯します。

マルチデバイスアクセスの自動インターコム機能

アクティブなマルチデバイスアクセス（MDA）機能で自動インターコム機能を使用すると、電話に自動インターコム通話の視覚的通知が表示されます。発信元内線番号では、電話はすべての MDA デバイスに視覚的に通知します。発信先内線番号では、発信元内線番号に一致する自動インターコムボタンがある場合、電話に視覚的表示が表示されます。以下は、発信元と発信先の電話が互いに発信できる一致する自動インターコムボタンがある場合の自動インターコム通話の視覚的通知です。

- 着信インターコム通話では、すべての MDA デバイスで、通話に应答するまで機能ラインの緑色の LED ボタンが点滅します。通話に应答すると、すべての MDA デバイスで、通話が終了するまで緑色の LED が点灯します。
- 発信インターコム通話では、すべての MDA デバイスで、機能ラインの緑色の LED ボタンが通話が終了するまでオンになります。

通話を受信している MDA デバイスから自動インターコム通話を終了できます。

マルチデバイスアクセスを使用した自動インターコム通話の自動応答

このセクションでは、自動インターコム機能の動作と、電話で次の機能がアクティブな場合の視覚的通知について説明します。

- 自動応答および自動ミュートインターコム通話
- マルチデバイスアクセス（MDA）

以下は、発信元と発信先の電話に互いに発信できる一致する自動インターコムボタンがある場合の、自動インターコム通話の機能の動作と視覚的通知です。

- 着信インターコム通話：直近に登録された MDA デバイスが自動インターコム通話を受信し、自動応答します。自動ミュート機能がアクティブな場合は、通話をミュート解除すると発信者と会話できます。通話を受信しているデバイスから通話を終了できます。

機能ラインの緑色の LED は、通話が終了するまですべての MDA デバイスでオンになります。

- 発信インターコム通話：発信先内線番号で自動ミュート機能がアクティブになっている場合、通話がミュート解除されるまで音声は聞こえません。

機能ラインの緑色の LED は、通話が終了するまですべての MDA デバイスでオンになります。

自動インターコム通話の通話ログ設定については、「自動インターコム通話の自動応答」トピックの「自動応答および自動ミュート通話の通話ログ」セクションを参照してください。

着信制限

同時通話数制限（LNCC）または着信制限機能を使用すると、着信通話の数を 1 回につき 1 通話に制限できます。

この機能を有効にして通話中の場合、次の着信通話には話中音が聞こえます。電話は 2 番目の通話を不在着信として通話履歴に記録します。

着信制限をアクティブにする

このタスクについて

着信制限をアクティブにすると、着信通話の数を 1 回につき 1 通話に制限できます。この機能を有効にして通話中の場合、次の着信通話には話中音が聞こえます。電話機では、2 番目の通話が不在着信として通話履歴に記録され、不在着信の理由が表示されます。管理者は、不在着信の理由が次のいずれかの形式で表示されるように電話機を設定できます：

- 不在着信理由アイコン  と理由着信制限。
- 不在着信アイコン  と理由 2 番目の通話オフ。

前提条件

管理者が電話の着信制限機能を設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [選択] を押します。
3. [着信制限] までスクロールして、[選択] を押します。

着信制限を非アクティブにする

このタスクについて

着信制限機能を無効にすると、着信数の制限を解除できます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。

2. [機能] までスクロールして [選択] を押します。
3. [着信制限] までスクロールして、[選択] を押します。

Send-NN

Send-NN 機能では、電話の元の発信者 ID を Send-NN 通話に設定された発信者 ID でオーバーライドできます。

管理者が電話に Send-NN を設定している必要があります。

Send-NN 機能は、次の 2 つのモードで設定できます。

- 一時：すべての Send-NN 通話で Send-NN 機能ラインキーを押す必要があります。キーを押すと、対応する緑色の LED が 2 秒間点灯し、その後オフになります。
- 固定：機能画面から機能をアクティブにする必要があります。機能がアクティブになっている間に発信されるすべての発信通話は、Send-NN 通話になります。この機能を非アクティブにするには、機能ラインキーを押します。

Send-NN 機能がアクティブになると、緑色の LED が点灯します。

電話には NN <XXXXXXXX> T の形式で Send-NN 機能ラインが表示されます。ここで、NN は機能コード、XXXXXXXX は設定済みの内線番号、T または P は機能がそれぞれ一時モードか固定モードかを示します。

機能画面、電話のメインまたはセカンダリディスプレイを使用して、Send-NN 通話を発信できます。

管理者は電話に複数の Send-NN ボタンを設定できます。複数の Send-NN 固定ボタンが設定されている場合は、一度にアクティブになるのは 1 つのみです。

電話で一時および固定 Send-NN ボタンが同時にアクティブになっている場合、一時モードが固定モードよりも優先されます。

Send-NN 機能は、マルチデバイスアクセス（MDA）設定のすべてのデバイスで同時にアクティブになります。

Send-NN 一時モードを使用する

このタスクについて

Send-NN 一時モードをアクティブにすると、電話の元の発信者 ID を Send-NN 通話に設定された発信者 ID でオーバーライドできます。

前提条件

管理者が電話に Send-NN 機能を設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [OK] を押します。
3. [NN <XXXXXXXX> T] までスクロールして [OK] を押すか、対応する回線ボタンを押します。

4. [発信先] ダイアログボックスに発信する内線番号を入力します。
[NN <XXXXXXXX> T] 機能がアクティブになります。
5. [Enter] を押して発信します。

Send-NN 固定モードをアクティブにする

このタスクについて

Send-NN 固定モードをアクティブにすると、電話の元の発信者 ID をすべての Send-NN 通話に設定された発信者 ID でオーバーライドできます。

前提条件

管理者が電話に Send-NN 機能を設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [OK] を押します。
3. [NN <XXXXXXXX> P] までスクロールして [OK] を押すか、対応する回線ボタンを押します。
対応する LED が緑色に変わり、[NN <XXXXXXXX> P] 機能がアクティブになっていることを示します。
4. [NN <XXXXXXXX> P] を押して発信します。
機能がアクティブなときに発信される通話はすべて Send-NN 通話になります。

Send-NN 固定モードを非アクティブにする

このタスクについて

Send-NN 固定モードを非アクティブにすると、発信通話の元の発信者 ID を表示できます。

前提条件

Send-NN 機能がアクティブになっていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [OK] を押します。
3. [NN <XXXXXXXX> P] までスクロールして [OK] を押すか、対応する回線ボタンを押します。
緑色の LED がオフになり、[NN <XXXXXXXX> P] 機能が非アクティブになっていることを示します。

マルチデバイスアクセス

マルチデバイスアクセス（MDA）機能を使用すると、同じ内線に最大 10 台の SIP デバイスを登録して、デバイス間でアクティブな通話を転送できます。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。マルチデバイスアクセスは Avaya Aura® Session Manager で設定します。

MDA の制限事項

マルチデバイスアクセスアクセスの制限は次のようになります。

- 2 つのコールアピランスがすでに使用されている場合、3 番目の着信の音声または着信ランプ表示はありません。
- MDA 通知を受信した場合、[電話] ボタンを押すと詳細を表示しブリッジ通話に参加できます。

関連リンク

[マルチデバイスアクセスアクセスを使用して通話と会議を処理する](#) (113 ページ)

[保留なしの会議に参加者を追加する](#) (78 ページ)

マルチデバイスアクセスアクセスを使用して通話と会議を処理する

このタスクについて

Avaya Aura® とマルチデバイスアクセス機能を使用すると、同じ内線番号で最大 10 台のデバイスを設定できます。この内線番号を使用して、デバイス間でアクティブな通話を転送できます。

前提条件

システム管理者によってお使いの内線番号でマルチデバイスアクセス（MDA）機能が有効化されていることを確認します。

手順

1. 電話機から通話を開始します。
2. 通話を他の電話機に転送するには、電話機の [ブリッジ] を押します。

通話に参加している MDA 電話機に異なるシグナルモードアドレスファミリが設定されている場合、デバイスに限定されたサービスアイコンが一時的に表示される場合があります。通話に参加している MDA 電話機で、アクティブな通話のシグナルモードアドレスファミリの使用に切り替えると、アイコンが消えます。

関連リンク

[保留なしの会議に参加者を追加する](#) (78 ページ)

[マルチデバイスアクセス](#) (113 ページ)

マルチキャストページング

マルチキャストページング機能を使用すると、電話で自動的に再生されるページを受信できます。システム管理者によって設定されている場合は、マルチキャストページをネットワーク内の電話のグループに送信できます。

着信マルチキャストページが電話のスピーカーで再生されます。ページが再生されると、転送の間中、[電話] 画面にページ元：<グループ名>という通知が表示されます。

ページを送信できるすべての設定済みマルチキャストグループは、[機能] メニューに表示されます。一般的なカスタマイズ手順により、[電話] 画面からマルチキャストページキーを追加、移動、削除できます。

マルチキャストページより優先度の低いアクティブな通話は保留され、優先度の低い着信はすべて無視されます。

エージェントが通話中で、[応答不可] ステータスになっている、または緊急通話を発信している場合、マルチキャストページは無視されます。

マルチキャストページを送信する

このタスクについて

[電話] 画面でマルチキャストページグループをアクティブにすると、ユーザーのグループにマルチキャストページを送信できます。必要なグループがこの画面に追加されていない場合は、[機能] メニューで電話機に設定されているすべてのマルチキャストページグループにアクセスできます。

手順

- 以下のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げます。
 - [スピーカー] を押します。
 - [ヘッドセット] を押します。
- (オプション)** ハンドセットを使用する場合は、[通話の終了] を押すとダイヤルをキャンセルできます。
- [電話] 画面で、必要なマルチキャストページグループまでスクロールして、[選択] を押します。
電話機にページング <グループ名>ボックスが表示されます。
- マルチキャストページを終了するには、次のいずれかを行います。
 - [通話の終了] を押します。
 - ハンドセットをオーディオデバイスとして使用するには、電話を切ります。

キーの事前設定

キーの事前設定機能を使用すると、[電話] 面に、機能、アプリケーション、回線アピアランスにアクセス可能な事前設定済みの電話キーが表示されます。この機能を使用して、自動ダイヤルの内線番号を追加したりアクセスしたりできます。

システム管理者が電話設定を行い、ユーザーは事前設定済みキーのマッピングやラベルを変更することはできません。

事前設定済みキーの置換、移動、ラベル変更をする必要がある場合は、システム管理者に連絡してください。

SLA Mon™

SLA Mon™ テクノロジは、高度な診断を容易にするために Avaya 製品に組み込まれている特許取得済みの Avaya の技術です。電話では Avaya Diagnostic Server with SLA Mon™ エージェントをサポートします。

SLA Mon™ サーバーは SLA Mon™ エージェントを制御し、次のような高度な診断機能を実行します。

- エンドポイントの診断
 - IP 電話機をリモートで制御して、IP 電話機の設定やトラブルシューティングでエンドユーザーをサポートする。
 - IP 電話機間の単一および一括テストコールをリモートで作成する。
 - IP 電話機のネットワークトラフィックをトラブルシューティングおよび診断するために、IP 電話機で制限されたパケットキャプチャをリモートで実行する。
- ネットワーク監視
 - パケット損失、ジッタ、遅延について、複数のネットワークセグメントのパフォーマンスを監視する。
 - 音声と動画のトラフィックのホップバイホップ QoS マーキングを監視する。

共有コントロール

共有コントロール機能を使用すると、Avaya Workplace クライアント から電話を操作し、電話で高音質のオーディオを利用できます。共有コントロール機能はすべての Avaya J100 シリーズ IP 電話機 モデルでサポートされています。

電話が Avaya Aura® に登録され、共有コントロール接続が確立されている必要があります。電話機と共有コントロールモードの Avaya Workplace クライアント にログインしている場合は、Avaya Workplace クライアント を通じて電話機を制御できます。クライアントの実装によっては、同じユーザーに複数のデバイスが登録されている場合、共有コントロールセッションが確立されないことがあります。

システム管理者が共有コントロール機能をアクティブにし、Avaya Workplace クライアント で設定します。

注

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

Avaya J100 シリーズ IP 電話機 では次のタスクを実行できます。

- 発信する
- 通話への応答
- 通話の保留と再開
- 通話のミュート/ミュート解除
- 通話転送

- 会議

通知

電話が Avaya Workplace クライアント から設定または切断されると、[電話] 画面に次のメッセージが表示されます。

- 共有コントロールが起動
- 共有コントロールが無効

Avaya Workplace クライアント のインストールと設定の詳細については、「*Planning for and Administering Avaya Workplace クライアント for Android, iOS, Mac, and Windows*」および「*Using Android 用 Avaya Workplace クライアント, iOS, Mac, and Windows*」(<https://support.avaya.com/>) を参照してください。

共有コントロールプロンプトに応答/拒否する

このタスクについて

Avaya Workplace ソフトクライアントから電話への共有コントロール接続を開始すると、確認ダイアログが表示され、共有コントロールセッションに応答または拒否できます。

これにより、ユーザーがスピーカーを使用してリモートで通話や傍受を確立できる場合のセキュリティの問題を回避できます。

* 注

電話がロックされている状態で共有コントロール接続を開始すると、確認プロンプトは表示されず、電話は共有コントロール接続に応答しません。

前提条件

電話管理者が共有コントロール接続プロンプト機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. Avaya Workplace ソフトクライアントから電話への共有コントロール接続を開始します。
電話画面に「共有コントロールに承認しますか？」という確認ダイアログが表示されます。
2. [了解] ソフトキーを押します。
電話に共有コントロール起動ダイアログボックスが表示されます。
ソフトクライアントに、電話の接続が成功したことが示されます。

* 注

共有コントロールの接続が失われると、ソフトクライアントは自動的に電話に再接続します。ネットワークの停止時間が短い場合、共有コントロールでは確認ダイアログが表示されずに接続が復元されます。管理者は、接続切断の最大時間を設定します。

3. [キャンセル] ソフトキーを押します。
電話に共有コントロール停止ダイアログボックスが表示されます。
ソフトクライアントに、電話の接続が切断されたことが示されます。

悪意のある通話を追跡する

このタスクについて

この機能を使用して、悪意のある通話を追跡します。悪意のある通話の追跡（[MCT 起動]）を有効にすると、コントローラが通話の追跡を開始し、その通話に関する情報が表示されます。この機能は、管理者が電話システムに悪意のある通話の追跡を設定し、着信者または操作者が追跡を管理できるときのみ利用することができます。

手順

1. 通話中に [機能] メニューにアクセスします。
2. 追跡を開始するには、[悪意のある通話の追跡] までスクロールして、次のいずれかを押します。
 - [選択]
 - 対応する回線ボタン

アラート音または LED の点滅は、追跡がアクティブになっていることを示します。電話を切ることで [MCT 起動] が解除されます。

❗ 重要

国、州、地域によって、悪意のある通話の追跡（MCT）の使用可否、あるいはその条件を定めた法律があります。MCT 機能を使用する前に、この法律を理解して従う必要があります。

ボイスメール

Avaya Messaging などのボイスメッセージングサービスでは、電話のボイスメール機能を使用できます。システム管理者はボイスメール機能を有効にし、ボイスメール番号とパスワードを設定します。ボイスメールを受信すると、電話のビーコン LED が点灯します。メッセージを聞いたら、ボイスメールで要求された操作を実行します。

ボイスメッセージングサービスで Web インターフェイス機能が提供されている場合は、コンピュータでボイスメールにアクセスできます。ボイスメールの Web インターフェイス機能の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ボイスメールを聞く

このタスクについて

この手順を使用して、電話のボイスメールを聞きます。

前提条件

- システム管理者によって内線番号のボイスメールが設定されていることを確認します。
- システム管理者からボイスメールのユーザー ID とパスワードを取得します。

手順

1. ボイスメールにログインするには、[メッセージ] ボタンを押します。

2. 音声プロンプトに従ってボイスメッセージを再生します。

WML ブラウザ

Wireless Markup Language (WML) は、Avaya J100 シリーズ IP 電話機 で使用される XML ベースのマークアップ言語です。

WML ブラウザ機能を使用すると、WML Web ページを表示できます。

WML ブラウザ機能を使用すると、[ホーム] ページ、[クリックダイヤル]、[連絡先に追加] アプリケーションにアクセスできます。

システム管理者は、すべての WML ブラウザエレメントを設計します。事前設定済みレイアウトを変更する場合は、システム管理者に連絡してください。

WML ブラウザにアクセスする

このタスクについて

[設定] メニューで、電話機とアプリケーションに追加された事前設定された WML ブラウザアプリケーションにアクセスできます。

前提条件

システム管理者がブラウザアプリケーションを設定していることを確認してください。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [ブラウザ] までスクロールして、[選択] を押します。
4. ブラウザアプリケーションの各項目にアクセスするには、次の制御を使用します。
 - a. [メイン] : WML ブラウザで設定されたページに移動します。
 - b. [ホーム] は [ホーム] ページに移動します。
 - c. [更新] は現在のカードをリロードします。
 - d. [終了] で [アプリケーション] メニューに戻ります。
 - e. [上] と [下] のナビゲーション矢印で [ホーム] ページの上または下にスクロールできます。
 - f. [左] と [右] のナビゲーション矢印で履歴に進みます。

第 16 章: カスタマイズ

電話

ダイヤルモードを設定する

このタスクについて

この手順を使用して、ダイヤルの発信に使用するダイヤル方法を設定します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [ダイヤルモード] までスクロールします。
5. [切り替え] を押して、次のオプションのいずれかを選択します。
 - [手動]: [通話] ソフトキーを押して通話を開始します。
 - [自動]: 通話を開始するには、ダイヤルした番号がダイヤル計画と一致している必要があります。
 - [デフォルト]: [通話] ソフトキーを押して通話を開始します。
6. [保存] を押します。

関連リンク

[手動ダイヤルモードを使用して発信する](#) (41 ページ)

オフフックでの通話機能を有効/無効にする

このタスクについて

オフフックでの通話機能を有効にして、[発信] ソフトキーを押さずに直接発信できます。電話管理者はオフフックでの通話機能をアクティブにし、電話でこの機能を有効または無効にするためのアクセス権を付与できます。

前提条件

管理者がオフフックでの通話機能へのアクセス権を付与していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。

3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [オフフックでの通話] までスクロールします。
5. [切り替え] を押して、次のオプションのいずれかを選択します。
 - [デフォルト]：管理者の設定した値が設定されています。
 - [有効]：オフフックでの自動通話が有効になっています。
 - [無効]：オフフックでの自動通話が無効になっています。
6. [保存] を押します。

関連リンク

[強調表示された番号に自動発信する](#) (42 ページ)

現在の CA を保持機能を有効/無効にする

このタスクについて

現在のコールアピランス (CA) 機能を有効にして、アクティブな通話の終了後に優先順位の高い回線を選択することができます。選択した CA は、通話の終了後も優先順位が付けられたままになります。選択した CA で新しい通話を受信または発信します。優先順位が高い回線は電話画面で強調表示されたままになります。手動で別のラインに切り替えることができます。電話の管理者が強制値を設定していない場合は、電話でこの機能を有効または無効にできます。

前提条件

管理者が現在の CA を保持機能にアクセスできることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [現在の CA を維持する] までスクロールします。
5. [切り替え] を押して、次のオプションのいずれかを選択します。
 - [デフォルト]：管理者の設定した値が設定されています。
 - [有効]：現在の CA の保持を有効にします。
 - [無効]：現在の CA の保持を無効にします。
6. [保存] を押します。

通話時間を表示する

このタスクについて

この手順を使用して、通話時間を表示します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。

2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [下矢印] キーを使って [通話時間を表示] に移動します。
5. [切り替え] を押して通話時間を有効/無効にします。
6. [保存] を押します。

キーリピート遅れの設定

このタスクについて

特定の電話キーを長押しすると、キーの文字が繰り返し入力されます。繰り返しが開始される前にキーを長押しする長さを設定できます。

前提条件

管理者がキーの繰り返し表示間隔設定を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [繰返表示間隔] までスクロールします。
5. [切り替え] を押して次のいずれかを選択します。
 - [デフォルト]
 - [長い]
 - [最長]
 - [オフ]
 - [短い]
6. [保存] を押します。

リダイヤルオプションを設定する

このタスクについて

この手順を使用して、最後にダイヤルした番号を確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [リダイヤル] オプションまでスクロールします。
5. [切り替え] を押して、次のいずれかを表示します。
 - [単一番号] : 最後にダイヤルした番号に発信します。

- [リスト] : 直近にダイヤルした 8 件の番号のリストを表示します。
- [デフォルト] : 最後にダイヤルした番号に発信します。

6. [保存] を押します。

スピードダイヤルエントリを割り当てる

このタスクについて

この手順を使用して、スピードダイヤル番号を連絡先に割り当てます。[連絡先] リストに最大 9 つのスピードダイヤル番号を電話番号に割り当てることができます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [スピードダイヤルの設定] までスクロールして、[選択] を押します。
5. 連絡先を割り当てる未割り当てのダイヤルエントリまでスクロールします。
6. [連絡先] を押します。

電話機には、[連絡先] リストが表示されます。

7. 該当する連絡先までスクロールして、[選択] を押します。

電話機のスピードダイヤルエントリが更新されます。

8. 以下のいずれかを押します。
 - [置換] : 割り当てられたエントリに連絡先を割り当てます。
 - [クリア] : エントリから連絡先を削除します。
9. [保存] を押します。

ミュート通知を設定する

このタスクについて

この手順を使用して、電話がミュート状態で通話に応答しようとしている場合に、通知アラートを受け取ることができます。

前提条件

管理者がこの機能を有効にしていることを確認します。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [ミュート通知] オプションまでスクロールします。

5. [切り替え] を押して次のいずれかを選択します。
 - [音声] : 電話でエラービープ音が再生されます。
 - [表示] : 画面の上部バーにミュートアイコンが表示されます。
 - [両方] : ビープ音に加えて、ミュートアイコンが表示されます。
 - [なし] : 電話でミュート通知がオフになります。
6. [保存] を押します。

着信ランプ表示

ビーコン LED は以下の方法で着信および受信メッセージを知らせます。

- 着信があると、ビーコン LED が点滅します。
- 新しいボイスメールメッセージがある場合、ビーコン LED が点灯したままの状態になります。
- 通話中にスピーカーがオンになっていて、新しいボイスメールメッセージがある場合、ビーコン LED は 15 秒間隔でオフに切り替わります。
- 通話が保留されると、ビーコン LED は点滅を停止します。

着信ランプ表示を設定する

このタスクについて

この手順を使用して、着信通話とメッセージの着信ランプ表示を設定します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [下矢印] キーを使用して [着信ランプ表示] に移動します。
5. [変更] を押して着信ランプ表示を有効/無効にします。
6. [保存] を押します。

コールピックアップ通知の設定

このタスクについて

この手順を使用して、ピックアップグループメンバーの代わりに応答する通話のコールピックアップ通知を設定します。

前提条件

システム管理者が電話機にコールピックアップ機能を設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。

3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [コールピックアップ通知] までスクロールします。
5. [変更] を押して、次のいずれかを選択します。
 - [音声]
 - [着信ランプ]
 - [両方]
 - [なし]
6. [保存] を押します。

カスタマイズモード

管理者は、電話キーをカスタマイズする機能をブロックまたは制限できます。管理者が [ブロック済み] モードを選択した場合、電話キーのカスタマイズは実行できません。[制限付き] モードでは、電話キーのカスタマイズメニューを使用してラベルをカスタマイズできます。[連絡先] と [アプリケーション] のお気に入りも完全に制御できます。[フル] モードでは、管理者は特定の電話キーを事前設定してカスタマイズを制限できます。

関連リンク

[電話キーをカスタマイズする](#) (124 ページ)

[カスタマイズキーをデフォルトに戻す](#) (125 ページ)

電話キーをカスタマイズする

このタスクについて

この手順を使用して、[電話] 画面から連絡先、機能、アプリケーションを追加、ラベル変更、移動、削除します。

前提条件

管理者が [フル] または [制限付き] カスタマイズモードを設定していることを確認します。[ブロック済み] モードでは電話キーをカスタマイズできません。また、[制限付き] モードではラベル、連絡先、アプリケーションのお気に入りをカスタマイズできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [電話キーのカスタマイズ] までスクロールして、[選択] を押します。
[カスタマイズ] メニューは [ブロック済み] モードでは利用できません。
5. [カスタマイズ] キーを押します。
6. [ナビゲーション] キーを使用して、ラインキーを選択します。
7. (オプション) 電話画面で選択したラインが空白の場合は、[追加] を押して、次の操作を行います。
 - 連絡先を追加するには、[連絡先] を押します。

- 機能を追加するには、[機能] を押します。

このオプションは、[制限付き] モードでは利用できません。

- アプリケーションを追加するには、[アプリケーション] を押します。

ナビゲーションキーを使用して該当する機能までスクロールして、[選択] を押します。

8. 選択したラインキーを移動するには、次を行います。
 - a. [移動] を押します。
 - b. [ナビゲーション] キーを使用して、選択したラインキーを移動します。
 - c. (オプション) 新しい場所が空の場合は、[選択] を押します。
 - d. (オプション) 新しい場所にすでにキーが割り当てられている場合は、[切替] を押します。
9. 新しいラベルを設定するには、次を行います。
 - a. [ラベル変更] を押します。
 - b. ラベル名を入力します。
 - c. 母国語で拡張ラテン文字または非ラテン文字を使用する場合は、[次へ] > [記号] ソフトキーを押して [記号] メニューを開き、必要な文字を選択します。[挿入] > [次へ] > [保存] を押します。
10. キーを削除するには、[削除] を押して、削除を確定します。

関連リンク

[カスタマイズモード](#) (124 ページ)

[カスタマイズキーをデフォルトに戻す](#) (125 ページ)

カスタマイズキーをデフォルトに戻す

このタスクについて

この手順で、カスタマイズキーを管理者設定にリストアします。電話内の連絡先、機能、アプリのお気に入りなど、すべてのお気に入りがクリアされ、管理者設定が適用されます。この手順は、カスタマイズされたラベルには影響しません。

前提条件

管理者がカスタマイズモードを [フル] に設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [電話キーのカスタマイズ] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [リストア] までスクロールして、[選択] を押します。
6. 確認ウィンドウで、[リストア] を押します。

関連リンク

[カスタマイズモード](#) (124 ページ)

アプリケーション

ダイレクト番号のプロンプトを有効または無効にする

このタスクについて

Avaya Spaces で会議に参加するために電話をかける際に、電話で常に Avaya Spaces へのダイレクト番号を選択するように求められるようにするには、ダイレクト番号のプロンプト機能を有効にします。

前提条件

管理者がこの Avaya Spaces 機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [Avaya Spaces] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [ダイレクト番号のプロンプト] までスクロールします。
6. [切り替え] を押してプロンプトを有効/無効にします。
7. [保存] を押します。

退席タイマを有効にする

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [プレゼンス統合] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [退席タイマ] までスクロールします。
6. 退席タイマをオンにするには、[切り替え] を押してタイマーをオンにします。
7. [下矢印] キーを使用して、[退席時間の値] に移動します。
8. 時間を秒単位で入力します。
0 ~ 999 の範囲内で任意の値を入力できます。
9. [保存] を押します。

電話機の自動ロックを有効にする

このタスクについて

使用していないときに電話を自動ロックするように設定できます。アイドル状態の電話は、設定された時間が経過すると自動的にロックされます。

前提条件

[アプリケーション] メニューに [ロック] オプションが表示されない場合は、電話管理者にお問い合わせください。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [ロック] までスクロールします。
5. 時間を分単位で入力します。
0 ~ 999 の範囲内で任意の値を入力できます。
値を入力しない場合、電話機では管理者設定値が使用されます。
6. [保存] を押します。

通話履歴を有効にする

このタスクについて

通話履歴オプションを有効にすると、[履歴] 画面にすべての通話アクティビティを表示できます。電話には、すべての通話アクティビティがリストビューに表示されます。集計された通話ログを表示するには、集計済み通話ログオプションを有効にします。

管理者が通話ログを有効にする機能を設定します。

前提条件

管理者が電話でこの機能のメニューオプションを有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [履歴] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [通話ログ] までスクロールし、[切り替え] を押して通話履歴を有効または無効にします。
6. (オプション) [集計済み通話履歴] までスクロールし、[切り替え] を押して集計済み通話履歴を有効または無効にします。
7. (オプション) [ブリッジ通話ログ] までスクロールし、[切り替え] を押してブリッジ通話ログを有効または無効にします。

8. [保存] を押します。

Microsoft® Exchange アカウント統合

電話を Microsoft® Exchange アカウントと統合すると、Exchange の連絡先とカレンダーを同期できます。電話管理者は電話を Exchange アカウントと統合するか、Microsoft® Exchange 資格情報を入力するためのアクセス権を付与できます。認証が成功すると、Exchange のカレンダーと連絡先が電話に同期されます。

Microsoft® Exchange 統合のベーシック認証を使用する

このタスクについて

ベーシック認証方法を使用して Microsoft® Exchange アカウントと電話を統合します。システム管理者は、Microsoft® Exchange 資格情報を入力するためのアクセス権を付与します。

前提条件

有効な Microsoft® Exchange 資格情報があることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [Exchange 資格情報] までスクロールして、[選択] を押します。
5. (オプション) [切り替え] を押して認証方法を変更します。
6. 認証画面で、次の詳細を入力します。
 - Microsoft® Exchange ユーザー名。
 - Microsoft® Exchange パスワード。
 - Microsoft® Exchange ドメイン。
 - カレンダーアプリケーションにアクセスするたびにプロンプトを表示する [名前/パスワードプロンプト] を選択するには、[切り替え] を押します。
7. [保存] を押します。

結果

認証が成功すると、Microsoft® Exchange のカレンダーと連絡先が電話に同期されます。

Microsoft® Exchange 統合で OAuth 認証を使用する

このタスクについて

OAuth 認証方法を使用して、電話と Microsoft® Exchange アカウントを統合できます。電話管理者が設定した設定に応じて、電話画面に詳細を入力するオプションが表示されます。

前提条件

有効な Exchange 資格情報があることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [Exchange 資格情報] までスクロールして、[選択] を押します。
5. (オプション) [切り替え] を押して認証方法を変更し、[接続] を押します。
電話画面にデバイス検証 QR コードとユーザーコードが表示されます。
6. モバイルデバイスを使用して QR コードをスキャンし、プロンプトが表示されたらユーザーコードを入力します。
電話画面は 15 分後にタイムアウトします。
7. [リンク] を押して検証 URL とユーザーコードを生成し、コンピュータブラウザでデバイスを検証します。
8. Microsoft® アプリケーションのプロンプトに従います。

結果

認証が成功すると、Microsoft® Exchange のカレンダーと連絡先が電話に同期されます。

Microsoft® Exchange の連絡先の統合を有効/無効にする

このタスクについて

電話で Microsoft® Exchange の連絡先を有効にすると、電話と Exchange の連絡先を同期できます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [連絡先] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [Exchange 連絡先を有効にする] までスクロールして、次のいずれかを押します。
 - [切り替え] : Exchange 連絡先を有効/無効にします。
 - [右矢印] キー : Exchange 連絡先を有効にします。
 - [左矢印] キー : Exchange 連絡先を無効にします。
6. [保存] を押します。

カレンダー設定

新しい電話にカレンダーアプリケーションを統合する

このタスクについて

新しい事前定義済みの電話でカレンダーアプリケーションにアクセスした際に Microsoft® Exchange とのカレンダー統合がアクティブでない場合、アプリケーションで Exchange カレ

ンダーを有効にするように求められます。Oauth 認証を使用してカレンダーアプリケーションを統合します。

基本認証を使用する場合は、管理者にお問い合わせください。

前提条件

有効な Exchange 資格情報があることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [カレンダー] までスクロールして、[選択] を押します。

電話画面に次のメッセージが表示されます：

カレンダー統合がアクティブになっていません。アクティブにするには [設定] を押してください。

4. [設定] を押します。
5. [Exchange カレンダーを有効にする] までスクロールして、[切り替え] を押します。
6. [保存] を押します。

電話画面に次のメッセージが表示されます：

Exchange の電子メールアドレスがありません。設定を押して入力してください。

7. [設定] を押します。

結果

電話画面に [Exchange 資格情報] 画面が表示されます。Oauth 認証方法の手順を使用して、カレンダーアプリケーションを統合します。

Exchange カレンダーを有効/無効にする

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [カレンダー] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [Exchange カレンダーを有効にする] までスクロールして、次のいずれかを押します。
 - [切り替え]：Exchange カレンダーを有効/無効にします。
 - [右矢印] キー：Exchange カレンダーを有効にします。
 - [左矢印] キー：Exchange カレンダーを無効にします。
6. [保存] を押します。

関連リンク

[カレンダーアラームを有効/無効にする](#) (131 ページ)

[カレンダーイベントを確認する](#) (88 ページ)

カレンダーアラームを有効/無効にする

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [カレンダー] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [アラームを有効にする] までスクロールして、次のいずれかを押します。
 - [切り替え]：カレンダーのアラームを有効/無効にします。
 - [右矢印] キー：カレンダーのアラームを有効にします。
 - [左矢印] キー：カレンダーのアラームを無効にします。
6. [保存] を押します。

関連リンク

[Exchange カレンダーを有効/無効にする](#) (130 ページ)

[カレンダーイベントを確認する](#) (88 ページ)

カレンダーのアラームトーンを有効/無効にする

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [カレンダー] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [アラームトーン] までスクロールして、次のいずれかを押します。
 - [切り替え]：アラームトーンを有効/無効にします。
 - [右矢印] キー：アラームトーンを有効にします。
 - [左矢印] キー：アラームトーンを無効にします。
6. [保存] を押します。

アラーム時間と再通知間隔を設定する

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [カレンダー] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [アラーム時間] までスクロールして、分数を入力します。

指定できる範囲は、0 から 99 までです。
6. [再通知間隔] までスクロールして、分数を入力します。

指定できる範囲は、0 から 99 までです。

7. [保存] を押します。

カレンダーアラームの曜日を設定する

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [カレンダー] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [週の最初の日] までスクロールします。
6. 以下のいずれかを押します。
 - [切り替え]：曜日を変更します。
 - [右矢印] キー：曜日を昇順で変更します。
 - [左矢印] キー：曜日を降順で変更します。
7. [保存] を押します。

カレンダーリストを設定する

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [アプリケーション] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [カレンダー] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [リストスタイル] までスクロールして、次のいずれかを押します。
 - [展開済み]
 - [最小]
6. 以下のいずれかを押します。
 - [切り替え]
 - [右矢印] キー
 - [左矢印] キー
7. [保存] を押します。

音声

オートマチックゲインコントロールをオン/オフにする

このタスクについて

この機能を使ってオーディオ出力レベルを調整することで、オーディオ品質を改善できます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [オーディオ] 設定までスクロールして、[選択] を押します。
4. [オートマチックゲインコントロール] までスクロールし、[選択] を押します。
5. オートマチックゲインコントロールをオンまたはオフにするには、次のいずれかを選択します。
 - [ハンドセットのオートゲインコントロール]
 - [ヘッドセットのオートゲインコントロール]
 - [スピーカーのオートゲインコントロール]
6. オートマチックゲインコントロールのオン/オフを切り替えるには、[切り替え] を押します。
7. [保存] を押します。

音声パスを選択する

このタスクについて

この手順を使用して、着信通話および発信通話のメイン音声パスを選択します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [オーディオ] 設定までスクロールして、[選択] を押します。
4. [切り替え] を押して、次のオプションのいずれかを選択します。
 - [ヘッドセット]
 - [スピーカー]
5. [保存] を押します。

ボタンのクリック音をオン/オフにする

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。

3. [オーディオ] 設定までスクロールして、[選択] を押します。
4. [キーのプッシュ音] までスクロールし [切り替え] を押して、音声をオン/オフにします。
5. [保存] を押します。

エラートーンをオン/オフにする

このタスクについて

電話の使用中に間違ったアクションを実行した場合のエラートーンアラームをアクティブにできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [オーディオ] 設定までスクロールして、[選択] を押します。
4. エラートーンのオン/オフを切り替えるには、[エラートーン] までスクロールし、[切り替え] を押します。
5. [保存] を押します。

ワイヤレスヘッドセットの双方向シグナリングを有効にする

このタスクについて

[ヘッドセットモード] 設定を使用して、電話に DECT ヘッドセットを設定できます

前提条件

ヘッドセットが電子フックスイッチ (EHS) シグナリングをサポートしているかどうかを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [オーディオ] 設定までスクロールして、[選択] を押します。
4. [ヘッドセットモード] までスクロールします。
5. [切り替え] を押して次のいずれかのオプションを選択します。
 - [無効] : 電話からヘッドセットまでのシグナリングを無効にできます。
 - [スイッチフックと通知音] : [ヘッドセット] を押すとヘッドセットへのリンクをアクティブにできます。電話で着信通話を受信すると、ヘッドセットから通知音が聞こえます。
 - [スイッチフックのみ] : [ヘッドセット] を押すとヘッドセットへのリンクをアクティブにできます。電話で着信通話を受信しても、ヘッドセットから通知音は聞こえません。
6. [保存] を押します。

HAC の設定

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [オーディオ] 設定までスクロールして、[選択] を押します。
4. [ハンドセットプロファイル] までスクロールして、[選択] を押します。
5. 以下のいずれかを押します。
 - [デフォルト]
 - [標準]
 - [増幅]: 標準のオーディオレベルを増大します。最大音量設定で長い時間使用すると耳を損傷する可能性があるため、このオプションを使用する際は注意が必要です。

★ 注

コールが終了すると増幅されたオーディオレベルは通常レベルに戻ります。

- [聴力補助]: 聴力補助の音質を最適化します。
6. [保存] を押します。

ヘッドセットプロファイルを設定する

このタスクについて

この手順を使用して、ヘッドセットのアコースティックプロパティに最適なヘッドセットプロファイルを選択します。

★ 注

ヘッドセットプロファイル 6、7、8 は、ワイヤレスヘッドセットでのみ機能するように設計されています。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [オーディオ] 設定までスクロールして、[選択] を押します。
4. [ヘッドセットプロファイル] までスクロールして、[選択] を押します。
5. ヘッドセットに適したプロファイルまでスクロールします。
6. [選択] を押します。
7. [保存] を押します。

ヘッドセットプロファイルのリスト

ヘッドセットプロファイル	説明
[プロファイル 1]	L100 シリーズヘッドセット
[プロファイル 2]	- Plantronics : SupraPlus® Wideband HW251N/HW261N (HIS) - Sennheiser : SH 330/SH 350、CC 510/CC 550 (CAVA-31)
[プロファイル 3]	- Plantronics : EncorePro® HW291N/HW301N (HIS) - Sennheiser : Circle™ SC 230/260 (CAVA-31)
[プロファイル 4]	- Jabra : BIZ™ 2400 (GN1216) - Sennheiser : Century™ SC 630/660 (CAVA-31) - VXI : CC Pro™ 4010V DC、CC Pro™ 4021V DC (OmniCord-V)
[プロファイル 5]	Jabra : GN2000 (GN1216)
[プロファイル 6]	Jabra : PRO™ 9470 (14201-33)
[プロファイル 7]	Plantronics : - CS500™ Series : CS510、CS520、CS530、CS540 (APV-63) - Savi® 700 Series : W710、W720、W730、W740、W745 (APV-63)
[プロファイル 8]	Sennheiser : - DW Pro1/DW Pro2 SD Pro1/SD Pro2 (CEHS-AV03/AV04) - DW Office、SD Office (CEHS-AV03/AV04)

長期音響保護

Avaya J100 シリーズ IP 電話機 には音響による衝撃からユーザーの耳を保護するために、長期音響保護が搭載されています。この機能では、通話時の会話の大きな音量を許容音響限度まで下げます。許容音響限度は動的または事前定義される静的値に設定できます。動的設定が選択されている場合は、この機能が自動的にアクティブになり、電話での会話の大きな音量が徐々に低減され、損傷を与えるデシベルレベルに達しないようにします。

長期音響保護機能は、OSHA、ETSI、従業員の健康安全要件を満たしています。

❗ 重要

RJ9 コネクタ装備の L100 シリーズヘッドセット ではヘッドセットのプロファイルが [プロファイル 1] に設定されている場合に、長期音響保護がサポートされます。

関連リンク

[長期音響保護を設定する](#) (136 ページ)

長期音響保護を設定する

このタスクについて

長期音響保護機能では、通話時の会話の大きな音量を許容音響限度まで低減し、ヘッドセットの長期騒音保護を設定できます。

前提条件

ヘッドセットプロファイルがプロファイル 1 に設定され、L100 シリーズヘッドセット を使用していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [オーディオ] 設定までスクロールして、[選択] を押します。
4. [長期音響保護] までスクロールし、[選択] を押します。
5. 次のいずれかを選択し [選択] を押します。
 - [デフォルト] : 音響保護値を、管理者が設定した次のいずれかのオプションに設定します。
 - ダイナミック
 - 8 時間
 - 4 時間
 - オフ管理者が設定した値がデフォルト値として選択されます。
 - [オフ] : 音響保護をオフに設定します。
 - [ダイナミック] : 音響機能が [ダイナミック] に設定され、電話での会話の大きな音量が徐々に低減され、損傷を与えるデシベルレベルに達しないようにします。
 - [4 時間] : 音響保護を 4 時間に設定します。
 - [8 時間] : 音響保護を 8 時間に設定します。
6. [保存] を押します。

関連リンク

[長期音響保護](#) (136 ページ)

[ヘッドセットプロファイルを設定する](#) (135 ページ)

ヘッドセットマイクレベルを設定する

このタスクについて

この手順を使用してヘッドセットのパフォーマンスを最適化します。

前提条件

- 通話中であり発信者のオーディオレベルが 50% になっていることを確認します。
- ヘッドセットベンダーの推奨どおりにマイク位置を調整します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [オーディオ] 設定までスクロールして、[選択] を押します。

4. [ヘッドセットマイクレベル] までスクロールして、[選択] を押します。
5. 以下のいずれかを押します。
 - [右] 矢印キー：ゲインレベルを増やします。
 - [左] 矢印キー：ゲインレベルを減らします。
6. (オプション) 既定のゲインレベルを設定するには、[初期値] を押します。

カスタマイズ着信音を設定する

このタスクについて

この手順を使用して、さまざまな用途の着信音を設定します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [オーディオ] 設定までスクロールして、[選択] を押します。
4. [着信音をカスタマイズ] までスクロールして、[選択] を押します。
5. 次のいずれかのオプションまでスクロールします。
 - [プライマリ]
 - [チームキー]
 - [ブリッジ CA]
 - [コールピックアップ]
6. [選択] を押します。
7. 着信音までスクロールして、[選択] を押します。
8. (オプション) 着信音を鳴らすには、[再生] を押します。
9. [保存] を押します。

ハンドセットまたはヘッドセットのサイドトーン

サイドトーンは、電話のハンドセットまたはヘッドセットを使用して話すときにフィードバックとして聞こえる周辺ノイズです。このフィードバックノイズのレベルを調整するには、システム管理者に連絡してください。

表示

表示モード

表示モード機能を使用すると、表示とフォントの色を選択して、電話表示をカスタマイズできます。電話の表示モードを [ダーク] または [ライト] に変更できます。表示モードを [ライト] に設定すると、フォントの色は黒になります。表示モードを [ダーク] に設定すると、フォントの色は白になります。

表示モードを変更すると、次を含むほとんどのスキンに影響します。

- ソフトキー
- 上部ラインの区切り
- カレンダーコンポーネント
- 定義済みの背景とスクリーンセーバー
- ラインの強調表示
- ダイアログ、トースト、スクロールバーのスキン
- 進行状況バー

メイン画面の表示モードを変更すると、セカンダリ画面と接続されている拡張モジュールの表示モードが変更されます。

関連リンク

[電話表示モードを変更する](#) (139 ページ)

電話表示モードを変更する

このタスクについて

表示モード機能を使用すると、電話表示モードを「ダーク」または「ライト」に変更できます。表示モードを「ライト」に設定すると、フォントの色は黒になります。表示モードを「ダーク」に設定すると、フォントの色は白になります。

前提条件

表示モードを変更する設定が表示されない場合は、電話管理者にお問い合わせください。

手順

1. 「メインメニュー」を押します。
2. 「設定」までスクロールして、「選択」を押します。
3. 「表示」までスクロールして、「選択」を押します。
4. 「表示モード」までスクロールして、「選択」を押します。
5. 「切り替え」を押すと、「ライト」と「ダーク」が切り替わります。
6. 「保存」を押します。

関連リンク

[表示モード](#) (138 ページ)

背景画像を変更する

このタスクについて

この手順を使用して、電話のプライマリディスプレイの背景画像を設定します。

手順

1. 「メインメニュー」を押します。
2. 「設定」までスクロールして、「選択」を押します。

3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [背景] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [プライマリディスプレイ] までスクロールして、[選択] を押します。
6. 新しい画像までスクロールします。
7. (オプション) 画像をプレビューするには、[プレビュー] を押してから、[戻る] を押します。
8. [選択] を押します。
9. [保存] を押します。

スクリーンセーバーをアクティブにする

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [アプリケーション] を押します。
3. [スクリーンセーバーをアクティブにする] までスクロールして、[選択] を押します。

スクリーンセーバーの詳細を設定する

このタスクについて

この手順を使用して、次の操作を実行します。

- 電話機にスクリーンセーバーが表示されるまでの経過時間を変更します。
- スクリーンセーバーのクロック表示を有効にします。
- スクリーンセーバーのスライドショーを有効にします。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [スクリーンセーバーの詳細] までスクロールして、[選択] を押します。
5. スクリーンセーバーの時間を変更するには、[タイマー (分)] までスクロールして、時間を分単位で入力します。
0 ~ 999 の範囲内で任意の値を入力できます。
6. スクリーンセーバーでクロックを有効にするには、[クロック] までスクロールして [切り替え] を押します。
7. スクリーンセーバースライドショーを有効にするには、[スライドショー (秒)] までスクロールして、1 ~ 999 の値を入力します。
この値により、電話機がスライドショーの各画像を表示する時間が秒単位で決まります。
8. [保存] を押します。

次のステップ

スクリーンセーバー画像またはスクリーンセーバースライドショー画像を設定します。

関連リンク

[スクリーンセーバーを変更する](#) (141 ページ)

スクリーンセーバーを変更する

このタスクについて

電話機のプライマリディスプレイのスクリーンセーバー画像またはスクリーンセーバースライドショー画像を設定できます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [スクリーンセーバー] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [プライマリディスプレイ] までスクロールして、[選択] を押します。
6. 新しい画像までスクロールします。
7. 画像をプレビューするには、[プレビュー] を押してから、[戻る] を押します。
8. [選択] を押します。
9. (オプション) スクリーンセーバースライドショーが有効になっている場合に複数の画像を選択するには、必要な各画像までスクロールして [トグル] を押します。
10. [保存] を押します。

バックライトタイマーを設定する

このタスクについて

この手順を使用して、バックライトがオフになるまでの時間を設定します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [バックライトタイマー] までスクロールします。
5. 時間を分単位で入力します。
0 から 999 までの値を入力してください。
6. 値を消去するには、[バックスペース] を押します。
7. [保存] を押します。

電話画面の明るさを調整する

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [明るさ] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [プライマリディスプレイ] までスクロールして、[選択] を押します。
6. [電話] で、次のいずれかを押します。
 - [右矢印] キー：明るさを明るくします。
 - [左矢印] キー：明るさを暗くします。

表示言語を設定する

手順

1. [メインメニュー] を押します。
 2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
 3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
 4. [言語] までスクロールして、[選択] を押します。
 5. 使用する言語までスクロールして、[選択] を押します。
 6. 電話機に確認のメッセージが表示されたら、次のいずれかを押します。
 - [確認]
 - [キャンセル]
- [表示] 画面に戻り、選択した言語に変更されます。

電話画面の横幅を設定する

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [電話画面の横幅] までスクロールします。
5. [切り替え] を押して、次のオプションのいずれかを選択します。
 - [フル]
 - [ハーフ]
6. [保存] を押します。

時刻フォーマットを設定する

前提条件

管理者がお使いの電話でこの時刻形式機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [下矢印] キーを使って [時刻フォーマット] 画面に移動します。
5. [切り替え] を押して、次のオプションのいずれかを選択します。
 - [24 時間時刻形式]
 - [12 時間時刻形式]
6. [保存] を押します。

日付フォーマットを設定する

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [日付形式] 画面に移動するには、[下矢印] キーを使用します。

電話機に次のいずれかが表示されます。

- [デフォルト]
 - [mm/dd]
 - [dd/mm]
 - [mm.dd]
 - [dd.mm]
 - [mm-dd]
 - [dd-mm]
 - [mmm dd]
5. いずれかのオプションを選択するには、[切り替え] を押します。
 6. [保存] を押します。

タイムゾーンを表示する

このタスクについて

タイムゾーンの詳細は、電話管理者が設定している場合に表示できます。必要に応じて、電話管理者がタイムゾーンと夏時間の詳細を設定します。

前提条件

電話管理者がタイムゾーンの詳細を設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [タイムゾーン] までスクロールして、[選択] を押します。

電話に次が表示されます。

- [時間]
- [GMT オフセット]
- [タイムゾーン]
- [夏時間]
- [夏時間オフセット]

GMT オフセットを設定する

このタスクについて

この手順を使用して、GMT と異なる時間と分数で GMT オフセット値を設定します。

電話管理者がアクセス権を付与している場合、GMT オフセット値を設定できます。それ以外の場合は、電話に管理者が設定した値が表示されます。

前提条件

管理者が GMT オフセット値を設定するアクセス権を付与していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [タイムゾーン] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [GMT オフセット] までスクロールして、次のいずれかを実行します。
 - [左矢印] / [右矢印] キーを使用します。
 - [-] または [+] ソフトキーを押します。
6. [保存] を押します。

テキストサイズの設定

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。

3. [表示] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [テキストサイズ] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [プライマリディスプレイ] までスクロールして、[選択] を押します。
6. 以下のいずれかを押します。
 - [右] 矢印キー：フォントのサイズを大きくします。
 - [左] 矢印キー：フォントのサイズを小さくします。
7. **(オプション)** デフォルトのフォントサイズに戻すには、[デフォルト] を押します。
8. [保存] を押します。

第 17 章: 電話の更新

電話機を更新する

前提条件

電話機で更新の準備ができている場合は、管理者の設定に応じて、電話画面に電話機の再起動の確認を求めるプロンプトが表示されます。電話機を更新するか更新をキャンセルするかを選択できます。キャンセルすると、電話機は管理者が設定した次の更新サイクルで再びプロンプトを表示します。

前提条件

電話機の再起動を確認するためのアクセス権が管理者から与えられていることを確認します。

手順

1. 電話機のポップアップ画面に新しいファームウェアを利用できます。電話を再起動して変更を適用しますか？と表示されます。
2. [再起動] を押します。

電話機の定期自動更新を確認する

このタスクについて

システム管理者が電話機が自動更新されるように設定します。この手順を使用して、電話機の更新のスケジュールや頻度を確認します。

前提条件

管理者が定期自動更新機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [自動更新] までスクロールして、[選択] を押します。
[自動更新] 画面に次が表示されます。
 - [自動更新ポリシー]：管理者が設定した電話の更新頻度を表示します。
 - [最終更新]：電話の最終更新日時を表示します。
 - [次の更新]：電話の次の更新日時を表示します。

第 18 章: メンテナンス

電話を再起動する

このタスクについて

この手順を使用して、ログイン画面から電話を再起動します。

前提条件

管理者が電話を再起動するオプションを設定していることを確認します。

手順

1. [ログイン] 画面で、[再起動] ソフトキーを押します。

電話にポップアップ画面が表示され、「電話を再起動しますか？」というメッセージが表示されます。

2. [再起動] ソフトキーを押します。

電話が再起動します。

フェイルオーバー中のアクセス制限

電話機の接続や機能は、複数のシステムサーバーを介して提供されます。サーバーから切断されたり別のサーバーに切り替わったりした際には、フェイルオーバーモードに入り動作を維持しながら、代替サーバーへの接続を確立します。電話がどのサーバーを使用しているかに応じて、フェイルオーバー中であることを知らせるアイコンが画面の一行目に表示される場合があります。

フェイルオーバーには複数の段階があります。例えば、電話が新たなサーバーへと移行する間は、不安定な状態となり、機能が制限される場合があります。代替サーバーが作動すると、電話はそのサーバーで利用できる機能を引き継ぎます（元のサーバーの機能とは異なる可能性があります）。元のサーバーが復旧すると、電話はこのサーバーへのフェイルバックを行います。ここでも移行中には機能が制限される場合があります。電話が元のサーバーへと戻ると、通常の機能も回復します。フェイルオーバーとフェイルバックは自動的に行われます。故障モードに対して操作を行うことはできません。

フェイルオーバー中は、電話の特定の機能が限定される場合があることに注意してください。画面の下部にあるソフトキーを確認すると、フェイルオーバー中に実行できる操作を確認できます。

また、[電話] ボタンを押すと、実行できる操作が表示されます。

! 重要

フェイルオーバー中、または元の電話サーバーで通常のサービスが復旧するまでの間は、電話機からログオフしないでください。フェイルオーバー中、代替サーバーへの移行中、代替サーバーからの復旧中、または電話機が代替サーバーでアクティブになっている際にログアウトすると、電話機が使用できなくなる可能性があります。

お使いの電話機がフェイルオーバーモードに入っている場合、以下の症状が見られます。

- 通話中にフェイルオーバーが発生した場合、その通話はアクティブのまま維持されます。電話が代替サーバーへと移行している間は、新たな通話を開始することはできません。
- 代替サーバーへの移行が完了するまでは、一部のソフトキーが表示されなかったり、これに関連した機能を使用できなかったりする場合があります。
- 通話の接続は通常より時間がかかる場合があります。
- 新しいサーバーへの移行中は、アクティブな会議通話、通話転送、保留中の通話は切断される場合があります。着信を受けることができない場合があります。この場合、ボイスメールに転送されます。
- 緊急通話については、フェイルオーバーの段階や代替サーバーの機能に応じて、利用できない場合やできない場合があります。
- メッセージ未読インジケータはクリアになりますが、ボイスメールについては、通話の送信先のボイスメールサーバーがフェイルオーバー中でなければ利用できる場合があります。
- 元のサーバーに戻ると、すべての機能が回復します。

オーディオパラメータを記録する

このタスクについて

この手順を使用して電話機でオーディオパラメータ情報を記録します。

*** 注**

保存されたオーディオパラメータ情報は音声デバッグに使用されます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [オーディオパラメータ] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [録音] ソフトキーを押します。
5. 録音を停止するには、[停止] ソフトキーを押します。

製品 ID を表示する

このタスクについて

製品 ID 情報は、電話機の背面パネルのラベルに記載されています。また、電話画面で製品 ID を表示して確認することもできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [システム] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [製品 ID] までスクロールします。

デバイスタイプを表示する

このタスクについて

システム管理者からデバイスタイプ情報の提供を求められたら、デバイスタイプを表示します。デバイスタイプは Avaya SIP または Open SIP にできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [システム] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [デバイスタイプ] までスクロールします。

セカンダリプロビジョニングサーバーアドレスを表示する

このタスクについて

システム管理者からサーバーの詳細の入力を求められた場合は、セカンダリプロビジョニングサーバーアドレスを表示します。電話管理者は、セカンダリプロビジョニングサーバーを設定して、追加の電話設定を指定できます。

前提条件

管理者が電話にセカンダリプロビジョニングサーバーを設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [IP パラメータ] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [カスタム URL] までスクロールします。

[カスタム URL] フィールドにセカンダリプロビジョニングサーバーの URL が表示されます。

サーバータイプを表示する

このタスクについて

システム管理者からサーバータイプ情報の提供を求められたら、サーバータイプを表示します。サーバータイプは Avaya Aura® または Open SIP のいずれかにできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [システム] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [サーバータイプ] までスクロールします。

Avaya Spaces アプリケーションのステータスを確認する

このタスクについて

電話と Avaya Spaces アプリケーション間の接続ステータスを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [Avaya Spaces] までスクロールして、[選択] を押します。

電話画面に次が表示されます。

- 状態
- ユーザー認証モード

規制情報を表示する

このタスクについて

お使いのデバイスに適用される法律、規制、コンプライアンスに関する完全な情報を確認するには、電話画面で規制画像を表示できます。

前提条件

電話でソフトウェアとハードウェアバージョン 4.1.3.1 以降を使用していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [システム] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [規制] までスクロールして、[選択] を押します。

電話に規制画像が表示されます。ナビゲーションクラスタの [上矢印] と [下矢印] キーを使用して、画像のページをスクロールします。

5. 戻るには、[OK] ボタンを押します。

第 19 章: リソース

ドキュメント

以下の関連ドキュメントについては、<http://support.avaya.com> を参照してください。

タイトル	ドキュメントの使用目的	対象ユーザー
概要		
<i>Avaya Aura® Session Manager Overview and Specification</i>	Avaya Aura® Session Manager に関する機能説明、相互運用性、性能仕様、セキュリティ、ライセンシングの要件などの特性や機能の確認。	Avaya Aura® Session Manager の特徴、機能、容量、制限に関する詳細な知識を必要とするユーザー。
<i>Avaya Aura® Communication Manager Feature Description and Implementation</i>	Avaya Aura® Communication Manager に関する機能説明、相互運用性、性能仕様、セキュリティ、ライセンシングの要件などの特性や機能の確認。	Avaya Aura® Communication Manager の特徴、機能、容量、制限に関する詳細な知識を必要とするユーザー。
Avaya IP Office™ Platform Feature Description	機能説明についての情報の確認。	システム管理タスクを実行するユーザー。
Avaya IP Office™ Platform Solution Description	このソリューションと相互作用する製品およびサービスについての情報の確認。	IP Office の特徴、機能、容量、制限に関する詳細な知識を必要とするユーザー。
実装		
<i>Deploying Avaya Aura® Session Manager</i>	Avaya Aura® Session Manager のインストール手順と初期管理情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager を Avaya Aura® System Platform にインストール、設定、検証するユーザー。
<i>Upgrading Avaya Aura® Session Manager</i>	アップグレードのチェックリストと手順の確認。	Avaya Aura® Session Manager のアップグレードを行うユーザー。

次のページに続く...

タイトル	ドキュメントの使用目的	対象ユーザー
<i>Deploying Avaya Aura® System Manager on System Platform</i>	Avaya Aura® System Manager のインストール手順と初期管理情報の確認。	カスタマーサイトで Avaya Aura® System Manager を Avaya Aura® System Platform にインストール、設定、検証するユーザー。
IP Office SIP Telephone Installation Notes	IP Office SIP 電話機の設置手順と初期管理情報の確認。	SIP 電話機を IP Office に設置、設定、検証するユーザー。
管理		
<i>Administering Avaya Aura® Session Manager</i>	管理ツールの使用方法、データとセキュリティの管理方法、定期メンテナンスタスクの実行方法など、Avaya Aura® Session Manager の管理タスクを実行する方法についての情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager システム管理タスクを実行するユーザー。
<i>Administering Avaya Aura® System Manager</i>	管理ツールの使用方法、データとセキュリティの管理方法、定期メンテナンスタスクの実行方法など、Avaya Aura® System Manager の管理タスクを実行する方法についての情報の確認。	Avaya Aura® System Manager の管理タスクを実行するユーザー。
Administering Avaya IP Office™ Platform with Manager	機能リストの短縮コード設定についての情報の確認。	短縮コードを使って IP Office の機能にアクセスする必要があるユーザー。
Administering Avaya IP Office™ Platform with Web Manager	管理ツールの使用方法、データとセキュリティの管理方法、メンテナンスタスクの実行方法など、IP Office Web Manager の管理タスクを実行する方法についての情報の確認。	IP Office Web Manager の管理タスクを実行するユーザー。
メンテナンス		
<i>Maintaining Avaya Aura® Session Manager</i>	Avaya Aura® Session Manager のメンテナンスタスクに関する情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager のメンテナンスを行うユーザー。
<i>Troubleshooting Avaya Aura® Session Manager</i>	Avaya Aura® Session Manager のトラブルシューティング、アラームの解決、ハードウェアの置換、アラームコード、イベント ID の説明に関する情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager のトラブルシューティングを行うユーザー。
Using IP Office System Status	System Status Application のメンテナンスタスクに関する情報の確認。	System Status Application のメンテナンスを行うユーザー。
Using IP Office System Monitor	SysMonitor のメンテナンスタスクに関する情報の確認。	SysMonitor のメンテナンスを行うユーザー。

Avaya サポート Web サイトでドキュメントを検索

手順

1. <https://support.avaya.com> に進みます。
2. ログインするには、画面上部の [Sign In] をクリックし、プロンプトが表示されたらログイン資格情報を入力します。
3. [Product Support] > [Documents] をクリックします。
4. [Search Product] に製品名を入力し、対象製品を表示されたリストから選択します。
5. [Select Release] で、適切なリリース番号を選択します。

製品のリリースが 1 つしかない場合、このフィールドは使用できません。

6. (オプション) [キーワードを入力] に、検索するキーワードを入力します。
7. [Select Content Type] リストから、1 つ以上のコンテンツタイプを選択します。
例えば、ユーザーガイドのみを表示する場合は、[Select Content Type] リストで [User Guides] をクリックします。
8.  をクリックすると検索結果が表示されます。

Avaya ドキュメントセンターのナビゲーション

多数のプログラムでは、最新のカスタマー向けドキュメントを Avaya ドキュメントセンター Web サイト (<https://documentation.avaya.com>) から入手できます。一部の機能は、Avaya ドキュメントセンターにログインしている場合にのみ使用できます。使用可能な機能は役割によって異なります。

! 重要

探しているドキュメントが Avaya ドキュメントセンターで見つからない場合は、[Avaya サポート Web サイト](#)で見つけることができます。

ドキュメントセンター内を移動している間、画面上部の [Avaya ドキュメントセンター] のロゴをクリックすると、いつでもホームページに戻ることができます。Avaya ドキュメントセンターページで、次を実行できます。

- 上部メニューバーで [Avaya リンク] をクリックすると、Avaya サポート Web サイトなど、他の Avaya の Web サイトにアクセスできます。
- 上部メニューバーの [言語] (🌐) をクリックすると、表示言語を変更し、ローカライズされたドキュメントを表示できます。
- [ドキュメントを検索] フィールドで、キーワードで検索し [フィルタ] をクリックすると、ソリューションカテゴリ、製品、ユーザーの役割でフィルタできます。
各フィルタカテゴリで複数の項目を選択できます。例えば、製品と複数のユーザーの役割を選択できます。
- 上部メニューバーで [ライブラリ] をクリックすると、ドキュメントの完全なライブラリにアクセスできます。フィルタオプションを使用して結果を絞り込みます。
- 検索を実行したり、ライブラリにアクセスした後、検索結果ページでコンテンツを並べ替えることができます。表示する項目を見つけたら、クリックして開きます。

- ドキュメントの目次を使用して、移動できます。ドキュメントタイトルの横にある [<] または [>] をクリックして、前のトピックや次のトピックに移動することもできます。
- [共有] (🔗) をクリックすると、電子メールでトピックを共有するか、URL をコピーできます。
- ドキュメントの現在のトピックの PDF、トピックとそのサブトピック、ドキュメント全体をダウンロードします。
- 表示しているセクションを印刷します。
- [コレクションに追加] (📁) をクリックしてコレクションにコンテンツを追加できます。トピックとそのサブトピックを追加したり、公開情報全体を追加したりできます。
- コレクションのトピックを表示します。コレクションにアクセスするには、上部メニューバーで自分の名前をクリックして [コレクション] をクリックします。

次を実行できます。

- コレクションを作成、名前変更、削除する。
- コレクションをデフォルトまたはお気に入りのコレクションとして設定する。
- 選択したコンテンツの PDF をコレクションに保存し、コンピュータにダウンロードする。
- 電子メールで他のユーザーとコレクションのコンテンツを共有する。
- 他のユーザーと共有したコレクションを受信する。
- [ウォッチ] (👁) をクリックして、トピックをウォッチリストに追加すると、コンテンツが更新または削除された場合に通知されます。
- ウォッチリストを表示および管理するには、上部メニューから [ウォッチリスト] をクリックします。

次を実行できます。

- [電子メール通知] を有効にして電子メールアラートを受信する。
- 選択したコンテンツまたはすべてのトピックのウォッチを解除する。
- トピックのフィードバックを送信します。

Avaya Mentor ビデオを表示する

Avaya Mentor Videos は、Avaya 製品のインストール、設定、およびトラブルシューティングの方法に関する技術的な内容を提供します。

このタスクについて

ビデオは、Avaya サポート Web サイトでビデオドキュメントタイプの下に表示される一覧から、および Avaya が運営する YouTube チャンネルで入手できます。

- Avaya サポート Web サイトでビデオを検索するには、<https://support.avaya.com/> にアクセスして、次の操作のいずれかを実行します。
 - [Search] に、「Avaya Mentor Videos」と入力し、[すべてクリア] をクリックし [Video] の [Select Content Type] を選択します。
 - [Search] で、製品名を入力します。[Search Results] ページで、[すべてクリア] をクリックし [Video] の [Select Content Type] を選択します。

[Video] コンテンツタイプは、その製品でビデオが利用できる場合にのみ表示されません。

ページの右側のペインに、利用可能なビデオのリストが表示されます。

- Avaya Mentor ビデオを YouTube で検索するには、www.youtube.com/AvayaMentor にアクセスして、次の操作のいずれかを実行します。
 - [チャンネルを検索] にキーワード（複数可）を入力して、特定の製品やトピックを検索します。
 - [再生リスト] までスクロールし、トピックの名前をクリックすると、利用可能なビデオのリストが表示されます。（コンタクトセンターなど）。

★ 注

ビデオはすべての製品に提供されているわけではありません。

サポート

最新のドキュメント、製品に関する通知、ナレッジ記事を入手するには、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) にアクセスしてください。リリースノート、ダウンロード、および問題の解決も検索できます。オンラインサービス要求システムを使用して、サービス要求を作成します。ライブエージェントとチャットをして問題の解決を入手するか、問題がさらに専門知識を必要とする場合はサポートチームに接続してもらうようにエージェントに要求します。

索引

A

AADS	
コンタクト	56
AADS 連絡先	
詳細	58
同期	59
Avaya IP 電話機	
物理レイアウト	14
Avaya Spaces	
ステータス	150
ダイレクト番号のプロンプト	126
Avaya サポート Web サイト	156
Avaya Phone	13

E

Exchange アカウント	
グローバル	53
Exchange 資格情報	128
Microsoft®	128
Exchange 認証	
OAuth	128
ベーシック	128
Exchange 連絡先	129

L

LDAP ディレクトリ	
概要	54
コンタクト	53-55

M

Microsoft®	128
------------------	---------------------

P

PIN	
設定する	25

Q

QR コード	
電話へのログイン	21, 22

S

send-nn	111
Send-NN	
一時取得	111
永続的	112
SLA Mon™	115
SSO	
QR コード	21, 22

SSO (続き)	
URL	21
電話へのログイン	21

U

URI ダイアル、電話をかける	47
URL	
電話へのログイン	21

W

WML ブラウザ	
アプリケーションにアクセスする	118
概要	118

あ

アイコン	
MLPP アイコン	33
電話のアイコン	30
プレゼンスアイコン	32
悪意のある通話の追跡	117
アクティブ化する	
LNCC、着信制限	110
アクティブな通話ショートカットキー	
会議通話	93
概要	92
通話を転送する	93
ユーザーを追加する	93
新しい電話機	129
OAuth 認証	129
ベーシック認証	129
アプリケーション	
SSO ゲストログイン	23
カレンダーにアクセスする	87
カレンダーを設定する	87
ゲストログイン	24
スクリーンセーバーをアクティブにする	140
アプリケーションの設定	90
DND がアクティブのときの SAC の有効化	65
Exchange カレンダーを無効にする	130
Exchange カレンダーを有効にする	130
Exchange 連絡先を無効にする	129
Exchange 連絡先を有効にする	129
アラーム時間を設定する	131
カレンダーアラームの平日を設定する	132
カレンダーアラームを無効にする	131
カレンダーアラームを有効にする	131
カレンダーのアラームトーンを無効にする	131
カレンダーのアラームトーンを有効にする	131
カレンダーリストを設定する	132
再通知間隔を設定する	131

い

一時取得	
モード	111
インターコムグループ	47, 48
インターコムグループの呼び出し	47, 48
インターコム通話のダイヤル	47, 48
インターコムを使用して呼び出す	47, 48
インターコム	
自動インターコム	108, 109
ダイヤルインターコム	108, 109
マルチデバイスアクセス	109

う

ウォッチリスト	154
---------	-----

え

永続的	
モード	112
エラートーン	
オフにする	134
オンにする	134
エンタープライズ	
Directory	56, 58, 59

お

応答不可	
応答不可	67
離席	67
オーディオ	
フィードバック	138
オーディオパラメータ情報を記録する	148
オプションのコンポーネント	18
オフフックアラート	51
オフフックでの通話	
発信通話	42
音声設定	
自動ゲイン制御	133
HAC の設定	135
エラートーン	134
ヘッドセットプロファイル	135
ヘッドセットマイクレベルを設定する	137
ボタンクリック	133
優先着信音を設定する	138
オーディオパス	133

か

会議	90
会議通話	
詳細	77
参加者をドロップする	77
設定	76
通話を保留にする	77
保留中の相手を追加	76
会議、保留なしの会議を使用して参加者を追加する	78

概要	13, 51
LNCC、着信制限	110
ハントグループビジー	106
不在転送	68

内線番号	
表示のブロック	95
表示のブロックを解除する	95

拡張不在転送	
ルールを削除する	70
ルールを編集する	70

カスタマイズモード	124
-----------	-----

カレンダー	
Exchange カレンダー	130
アラーム時間	131
アラームトーン	131
アラームの平日を設定する	132
イベントを確認する	88
カレンダーアラーム	131
カレンダーアラームを無効にする	131
月間カレンダーイベント	88
再通知間隔	131
設定	87
電話をかける	88
リストスタイル	132

カレンダー統合	89
新しい電話機	129

カレンダーを管理する	87
管理方法	

ファイルサーバーアドレス	20
プロビジョニングサーバー	20

関連ドキュメント	152
----------	-----

き

危機アラート	
確認	104
確認エラー	106
危機アラート監視者、緊急通話発信者	104
再度確認	106

企業ディレクトリ	
コンタクト	56

規制	
画像	150

規制画像	
電話画面	150

機能	
ウィスパーページで通話に割り込む	107
拡張コールピックアップ	36, 37, 101, 102
拡張不在転送	69, 70
機能にアクセスする	92
コールパーク	100
コールピックアップ	36, 101
指定コールピックアップ	36, 101
自動コールバック	94
自動コールバックを設定する	94
詳細	92
通話転送	103
通話を携帯電話に転送する	71
通話をパーク解除する	100

機能 (続き)			コンタクト (続き)	
通話をパークする	100		企業ディレクトリ	56
ハントグループビジ	106		クイック検索	54
不在転送	68		グループ	58
ブリッジコールアピランス	96		グループから連絡先を削除する	62
プレゼンス	64		グループから連絡先を除外する	62
マルチデバイスアクセス	113		検索	54, 56
優先通話	45		検索中	44, 53
離席機能を有効にする	65		削除する	60
履歴	72		詳細	58, 59
機能実行ターゲット	98		新規連絡先	52
キーの事前設定			スピードダイヤル	43
概要	114		追加する	52
基本的な操作			同期	59
ログイン	24		編集する	59
共有コントロールプロンプトに応答する	116		履歴通話リストから連絡先を追加する	53
共有コントロールプロンプトを拒否する	116		連絡先グループにメンバーを追加する	61
共有コントロールモード	115		連絡先グループを作成する	61
キーをデフォルトに戻す	125		連絡先への着信音の割り当て	62
緊急通話	26		連絡先をグループに追加する	61
緊急	49		連絡先を結合する	60
ステータス画面	48		コンテンツ	
ダイヤルパッド	49		PDF 出力の公開	154
ロック画面	48		アップデートの監視	154
く			共有する	154
グループ,			検索中	154
コールピックアップグループ	36, 101		最終更新日で並べ替え	154
別のグループのコールピックアップ	36, 101		コンテンツの共有	154
グループメンバーの着信	36, 101		コンテンツの検索	154
黒のフォント			さ	
ディスプレイ	139		再生	
け			ボイスメール	117
携帯内線			サイドトーン	
通話を携帯電話に転送する	71		周辺ノイズ	138
通話を転送する	71		削除する	
現在の CA を維持する	120		履歴リストの通話履歴	74
検索			連絡先を削除する	59
モード	56		サーバー	
検索中			Avaya Aura	150
企業データベース	44		Open SIP	150
こ			サポート	156
更新			サポートされている機能	18
電話	146		し	
コール	90		識別	
履歴	73		デバイスタイプ	21
コレクション			シグナリング	134
PDF の生成	154		自動応答	
コンテンツの共有	154		インターコム通話	108
削除	154		自動更新	
編集	154		設定を更新する	146
コンタクト			電話機のファームウェア	146
LDAP ディレクトリ	54, 55		自動ダイヤル	
新しいグループを作成する	61		電話をかける	46
			自動ミュート	
			インターコム通話	108

集計済み	
通話ログ	127
仕様	13
詳細	
コンタクト	59
使用する	
ハントグループビジョ	106
情報	
緊急通話発信者	105
除外	97
シングルサインオン	
ユーザーロック PIN	25
ロック	25

す

推奨設定	90
スクリーンセーバー	141
スクリーンセーバースライドショーを有効にする	140
スクリーンセーバーのクロック	140
スクリーンセーバーのクロックを有効にする	140
スクリーンセーバーの詳細	
スクリーンセーバーの時間	140
スピーカー	
自動ゲイン制御	133
スピード	
ダイヤル	59

せ

製品 ID	
電話	149
セカンダリプロビジョニングサーバーアドレス	149
接続ジャック	16
接続性	
Avaya Spaces	150
設定する	
PIN	25
明るさ	142
オーディオパス	133
カスタマイズキー	125
キー自動繰り返しプロセス	121
言語	142
コールピックアップ通知	123
時刻表示形式	143
スクリーンセーバーを変更する	141
スピードダイヤルの設定	122
タイムゾーン	143, 144
着信ランプ表示	123
長期音響保護	136
通話時間	120
通話履歴	127
電話画面の横幅	142
電話機でカレンダーを設定する	87
電話設定	122, 123, 133, 142
バックライトタイマー	141
日付形式	143
表示設定	141, 142
表示モード	138

設定する (続き)	
履歴を記録	127

た

退席タイマ	
タイマ値	126
タイムゾーン	
設定する	143, 144
表示設定	143, 144
ダイヤルイン番号	90
ダイヤルプラン	
プレフィックス桁	46
ダイヤルモード	
自動ダイヤル	119
手動ダイヤル	119
ダークモード	
設定する	138

ち

チームボタン	80, 81
アイコンと LED ステータス	83
スピードダイヤル	81
電話機の状態を表示する	81
モニター対象電話に通話を転送する	82
着信通話	34
応答不可	67
音声通知	35
拒否	39
着信音を設定する	138
着信通知	35
不在転送を有効にする	68
離席	67
着信通話アラート	38
着信通話のブロック	26, 99
着信ポップアップの無効化	38
着信ランプ表示	123

つ

追加する	
新しい通話ログエントリを連絡先リストへ	53
コンタクト	52
履歴リストの連絡先	53
連絡先の番号	53
通話	
E.164 ダイヤル	44
MWI	123
打ち合わせ付き転送	103
国際	44
再開	50
スピードダイヤル	43
着信通話	35
着信ランプ表示	123
通話のミュート	50
通話のミュート解除	50
通話をパーク解除する	100

通話 (続き)		電話設定 (続き)	
通話をパークする	100	リダイヤルオプションを設定する	121
電話機の切り替え	113	電話の概要	13
ビーコン LED	123	電話のロック	
保留	50	自動ロック	127
マルチデバイスアクセス	113	手動ロック	26
無視	39	設定	99
連絡先を編集する	59	ロック解除	26
通話転送		電話表示	
打ち合わせ付き転送	103	変更する	139
仲介	103	電話へのログイン	
仲介転送	85	シングルサインオン	21, 22
話中表示ユーザー	84		
ブラインド	103	と	
ブラインド転送	84, 103	ドキュメントセンター	154
モニター対象電話へ	82	コンテンツを見つける	154
通話に応答する		ナビゲーション	154
別のコールピックアップグループ	37, 102	ドキュメントセンターでコンテンツを見つける	154
別の通話中	35	ドキュメントの並べ替え	154
通話の追跡	117	ドキュメントの変更	11
通話履歴		ドキュメントポータル	154
表示する	73		
な			
て		ナビゲーション	
定期更新		選択	28
電話機のファームウェア	146	ナビゲーションクラスタ	28
停止		ナビゲーションクラスタ	
音声通知	105	左矢印、右矢印、上矢印、下矢印	28
着信通知	105		
通知表示	105	は	
ディスプレイ		発信する	
規制画像	150	オートダイヤル	41
ディスプレイの明るさ	142	企業データベースリスト	44
テキスト入力		緊急通話	48, 49
入力、編集	29	手動ダイヤル	41
デバイスタイプ		ダイヤルパッド	44
Avaya SIP	149	ダイヤルプラン	46
Open SIP	149	ダイヤルモード	41
転送先番号		ダイヤルモードを使用する	41
ターゲットを選択する	98	メインメニュー	44
電話		優先順位	45
アウトバウンド	42	優先通話	45, 46
インバウンド	34	履歴	73
オフフック	119	ローカルの連絡先リスト	44
起動	21	発信通話	
再起動	147	国際	44
通話	34, 42	内線番号表示のブロック	95
ロック	99	内線番号表示のブロック解除	95
電話機からログアウトする	25	話中表示	
電話機の問題	147	アイコンと LED ステータス	85
電話設定		会議通話を行う	84
オフフックモード	119	概要	83
キーリポートの遅れ	121	通話転送	84, 85
ダイヤルモード	119	通話を転送する	84
通話時間	120	発信する	84
通話履歴	127	番号に発信する	
電話キーをカスタマイズする	124		
ミュート通知を設定する	122		

番号に発信する (続き)			プレゼンスステータス (続き)		
自動ダイヤルを使用する	46		退席タイマ	126	
番号のリダイヤル	42		プロビジョニングサーバーの設定		
番号を編集する			ファイルサーバーアドレス	20	
発信する前に	43		プロビジョニングサーバー	20	
発信前に	43				
ハントグループビジー			へ		
使用する	106		ヘッドセット		
ハンドセット			自動ゲイン制御	133	
自動ゲイン制御	133		プロファイル設定	135	
プロファイル	135		マイクレベル	137	
補聴器対応	135		ヘッドセットプロファイル	136	
			変更する		
ひ			電話表示	139	
非アクティブ化する			編集する		
LNCC、着信制限	110		コンタクト	59	
ピックアップグループメンバー宛ての通話に応答する			連絡先の詳細	59	
.....	36, 101				
ビデオ	155		ほ		
表示する			ボイスメッセージを取得する	117	
製品 ID	149		ボイスメール		
表示設定			ボイスメッセージ	117	
言語	142		ボイスメール	117	
時刻表示形式	143		他の内線の監視	82	
スクリーンセーバーの時間を設定する	140		他の人からのブリッジコールの割込みを拒否する	97	
タイムゾーン	143, 144		保護		
テキストサイズを設定する	144		長期音響	136	
背景画像を変更する	139		ボタンクリック		
日付形式	143		オフにする	133	
表示モード			オンにする	133	
設定する	138		ホットライン	109	
			保留		
ふ			会議通話を保留にする	77	
フェイルオーバー	147		保留なしの会議	78	
フェイルオーバー中のアクセス制限	147		保留なしの会議、参加者を追加する	78	
不在着信					
詳細を表示する	38		ま		
不在転送			マルチキャストページング		
話中転送	68		概要	113	
不応答転送	68		マルチキャストページを送信する	114	
無効	68		マルチデバイスアクセス		
有効	68		会議の処理	113	
ブラインド転送	103		制限	113	
ブリッジ	97		通話の処理	113	
ブリッジコールアピランス					
ブリッジ回線で電話をかける	96		む		
ブリッジ回線の通話に応答する	96		無効		
ブリッジ回線のコールに参加する	97		send NN	112	
ブリッジコールに参加する	97		無視		
プレゼンス			着信通話	39	
応答不可	65				
プレゼンスステータスの変更	64		め		
プレゼンスステータスを手動で変更	64		メインメニュー	30	
プレゼンス統合	65		言語	142	
連絡先のプレゼンスステータスを有効にする	64				
連絡先のプレゼンスを表示する	64				
プレゼンスステータス					

も

モニター中の内線番号でアクティブ通話に応答する[81](#)

や

夜間モード
設定する[138](#), [139](#)

ゆ

有効
ダイレクト番号のプロンプト[126](#)
有効にする
send NN[112](#)
Send-NN[111](#)
優先順位の高い回線の選択[120](#)
優先通話[46](#)
発信する[45](#)

ら

ラインキー[29](#)

り

離席
応答不可[67](#)
履歴
詳細を表示する[73](#)
すべてクリア[75](#)
全エントリのクリア[75](#)
通話履歴[72](#)
通話履歴を削除する[74](#)
通話ログ[72](#)
発信する[73](#)
不在着信[38](#)

ろ

ログ
暗号化[72](#)
通話[72](#)
ログイン
SSO なし[24](#)
ロック
電話[25](#)
ロック解除[26](#)
PIN のロック解除
パスワード[26](#)

わ

ワイヤレスヘッドセットを有効にする[134](#)